

(様式第10)

愛大医総第242号

令和 6年 10月 5日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人愛媛大学

学長 仁科 弘重

愛媛大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒790-8577 松山市道後樋又10番13号
氏名	国立大学法人愛媛大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

愛媛大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒791-0295 東温市志津川454
電話(089)964-5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
・「5神経内科」については、(5)その他に標榜している診療科「4脳神経内科」「5臨床薬理内科」にて医療を提供している。 ・「11リウマチ科」については、(5)その他に標榜している診療科「1膠原病・リウマチ内科」にて医療を提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
・「3乳腺外科」「7内分泌外科」については、(5)その他に標榜している診療科「11乳腺・内分泌外科」にて医療を提供している。 ・「4心臓外科」「5血管外科」については、「6心臓血管外科」にて医療を提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	膠原病・リウマチ内科	2	高血圧内科	3	糖尿病内科	4	脳神経内科	5	臨床薬理内科
6	総合診療科	7	消化器腫瘍外科	8	食道・胃・大腸外科	9	内視鏡外科	10	肝胆膵・移植外科
11	乳腺・内分泌外科	12	形成外科	13	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	14	病理診断科	15	リハビリテーション科
16	臨床検査科	17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40	2	-	-	602	644

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	237	208	393.8	看護補助者	46	診療エックス線技師	0
歯科医師	8	10	15.4	理学療法士	16	臨床検査技師	51
薬剤師	48	0	48	作業療法士	6	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	6	その他	0
助産師	21	0	21	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	650	25	666.6	臨床工学士	21	医療社会事業従事者	13
准看護師	0	0	0	栄養士	0	その他の技術員	27
歯科衛生士	8	0	8	歯科技工士	2	事務職員	155
管理栄養士	11	2	12.5	診療放射線技師	36	その他の職員	16

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	63	眼科専門医	16
外科専門医	41	耳鼻咽喉科専門医	20
精神科専門医	13	放射線科専門医	19
小児科専門医	28	脳神経外科専門医	14
皮膚科専門医	9	整形外科専門医	20
泌尿器科専門医	10	麻酔科専門医	25
産婦人科専門医	18	救急科専門医	5
		合計	301

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (杉山 隆 任命年月日 令和 3 年 4 月 1 日

平成27年4月1日に産婦人科の教授に就任後、診療科長として医療安全管理委員会の委員となり、令和3年4月1日に病院長に就任し、病院長に就任後は医療安全管理委員会の委員長を務めている。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	466.8 人	13.9 人	480.7 人
1日当たり平均外来患者数	1204.8 人	69.6 人	1274.4 人
1日当たり平均調剤数	844		剤
必要医師数	118.59		人
必要歯科医師数	5.22		人
必要薬剤師数	17		人
必要(准)看護師数	284		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数			
集中治療室	431 m ²	鉄筋コンクリート	22 床	有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	290 m ²		病床数	15 床
	[移動式の場合]	台数		台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積			20	m ²
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	392 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動蛍光抗体法分析装置 全自動化学発光免疫測定装置		
細菌検査室	266 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	微生物感受性分析装置 リアルタイム濁度測定装置		
病理検査室	175 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	液状化検体細胞診標本作成装置 IHC/ISH自動染色装置		
病理解剖室	360 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	剖検台、局所排気装置		
研究室	199 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	パソコン、プリンタ、顕微鏡		
講義室	734 m ²	鉄筋コンクリート	室数	18 室	収容定員	660 人
図書室	99 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	蔵書数	42,285 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	98.1	%	逆紹介率	80.1	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		13391		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		11232		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		361		人
	D: 初診の患者の数		14022		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
中西 徳彦	愛媛県立中央病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
大熊 伸定	弁護士法人 松山中央弁護士事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
河野 和博	愛媛県難病等患者団体 連絡協議会／愛媛県腎 臓病患者連絡協議会		医療を受ける者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
愛媛大学ホームページの情報公開のページ内に、「附属病院における医療安全管理について」という事項を設け、監査委員会規程及び委員会名簿(選定理由を含む)を公表している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数 (人)
ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	37人
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断(PCR法)	6人
タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養	45人
ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術	17人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
	0人
先進医療の種類合計数	4
取扱い患者数の合計(人)	105人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要 該当なし	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	
医療技術名	取扱患者数
当該医療技術の概要	

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
取扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	11	56	ベーチェット病	133
2	筋萎縮性側索硬化症	38	57	特発性拡張型心筋症	49
3	脊髄性筋萎縮症	15	58	肥大型心筋症	18
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	2
5	進行性核上性麻痺	10	60	再生不良性貧血	48
6	パーキンソン病	188	61	自己免疫性溶血性貧血	15
7	大脳皮質基底核変性症	12	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	34
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トウス病	1	65	原発性免疫不全症候群	11
11	重症筋無力症	136	66	IgA腎症	41
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	30
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	174	68	黄色靱帯骨化症	17
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	32	69	後縦靱帯骨化症	84
15	封入体筋炎	11	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クロー・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	87
17	多系統萎縮症	26	72	下垂体性ADH分泌異常症	45
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	42	73	下垂体性TSH分泌亢進症	8
19	ライソゾーム病	10	74	下垂体性PRL分泌亢進症	8
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	4
21	ミトコンドリア病	20	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	46	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	49
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	116
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	8	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	4
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	83	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	101
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	91
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	17
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5
34	神経線維腫症	51	89	リンパ脈管筋腫症	7
35	天疱瘡	52	90	網膜色素変性症	27
36	表皮水疱症	7	91	バッド・キアリ症候群	5
37	膿疱性乾癬(汎発型)	28	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	66
39	中毒性表皮壊死症	3	94	原発性硬化性胆管炎	25
40	高安動脈炎	68	95	自己免疫性肝炎	42
41	巨細胞性動脈炎	20	96	クローン病	84
42	結節性多発動脈炎	21	97	潰瘍性大腸炎	141
43	顕微鏡的多発血管炎	161	98	好酸球性消化管疾患	6
44	多発血管炎性肉芽腫症	58	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	95	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	2	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	4	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	9	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	474	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	265	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	212	106	クリオピリン関連周期熱症候群	7
52	混合性結合組織病	92	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	1
53	シェーグレン症候群	64	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	71	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	34	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	50
113	筋ジストロフィー	20	163	特発性後天性全身性無汗症	13
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	4	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	1
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	10
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	1
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	4
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	5
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	6

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
212	三尖弁閉鎖症	6	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	3	274	骨形成不全症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
215	ファロー四徴症	53	276	軟骨無形成症	2
216	両大血管右室起始症	2	277	リンパ管腫症/ゴーム病	4
217	エプスタイン病	3	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
218	アルポート症候群	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
220	急速進行性糸球体腎炎	7	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	12
221	抗糸球体基底膜腎炎	3	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
222	一次性ネフローゼ症候群	46	283	後天性赤芽球癆	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
224	紫斑病性腎炎	5	285	ファンコニ貧血	0
225	先天性腎性尿崩症	7	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	287	エプスタイン症候群	0
227	オスラー病	0	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	9
228	閉塞性細気管支炎	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
230	肺胞低換気症候群	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸型)	0
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0	292	総排泄腔外反症	0
232	カーニー複合	3	293	総排泄腔遺残	0
233	ウォルフラム症候群	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
235	副甲状腺機能低下症	1	296	胆道閉鎖症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	297	アラジール症候群	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	298	遺伝性瘰癧	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	4	299	嚢胞性線維症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	300	IgG4関連疾患	33
240	フェニルケトン尿症	0	301	黄斑ジストロフィー	1
241	高チロシン血症1型	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
242	高チロシン血症2型	0	303	アッシャー症候群	0
243	高チロシン血症3型	0	304	若年発症型両側性感音難聴	1
244	メープルシロップ尿症	0	305	遅発性内リンパ水腫	1
245	プロピオン酸血症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	69
246	メチルマロン酸血症	1	307	カナバン病	0
247	イソ吉草酸血症	0	308	進行性白質脳症	0
248	グルコーストランスporter-1欠損症	0	309	進行性ミオクローヌステんかん	0
249	グルタル酸血症1型	0	310	先天異常症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
251	尿素サイクル異常症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	313	先天性肺静脈狭窄症	1
253	先天性葉酸吸収不全	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
254	ポルフィリン症	0	315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	316	カルニチン回路異常症	1
256	筋型糖原病	0	317	三頭酵素欠損症	0
257	肝型糖原病	0	318	シトリン欠損症	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
260	シトステロール血症	0	321	非ケト-シス型高グリシン血症	0
261	タンジール病	0	322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
263	脳髄黄色腫症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
264	無 β リポタンパク血症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
265	脂肪萎縮症	0	326	大理石骨病	0
266	家族性地中海熱	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
267	高IgD症候群	0	328	前眼部形成異常	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

268	中條・西村症候群	0	329	無虹彩症	2
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	22
271	強直性脊椎炎	11	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
			333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
			334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低βリポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	131
合計患者数(人)	4540

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
地域歯科診療支援病院歯科初診料	患者サポート体制充実加算
歯科外来診療医療安全対策加算2	重症患者初期支援充実加算
歯科外来診療感染対策加算3	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
特定機能病院入院基本料 一般	ハイリスク妊娠管理加算
特定機能病院入院基本料の注10に規定する入院栄養管理体制加算	ハイリスク分娩管理加算
特定機能病院入院基本料 精神	後発医薬品使用体制加算1
救急医療管理加算	病棟薬剤業務実施加算1
超急性期脳卒中加算	病棟薬剤業務実施加算2
診療録管理体制加算2	データ提出加算2
医師事務作業補助体制加算1	入退院支援加算1
急性期看護補助体制加算	入院時支援加算3
夜間急性期看護補助体制加算	せん妄ハイリスク患者ケア加算
夜間看護体制加算	精神疾患診療体制加算
看護職員夜間配置加算	精神科急性期医師配置加算2のイ
看護補助加算	地域医療体制確保加算
療養環境加算	特定集中治療室管理料4
重症者等療養環境特別加算	特定集中治療室管理料4 算定上限日数に関する基準
無菌治療室管理加算1	特定集中治療室管理料4 小児加算
無菌治療室管理加算2	特定集中治療室管理料4 早期離床・リハビリテーション加算
放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	特定集中治療室管理料4 早期栄養介入管理加算
緩和ケア診療加算	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
精神科身体合併症管理加算	新生児特定集中治療室管理料1
精神科リエゾンチーム加算	新生児治療回復室入院医療管理料
摂食障害入院医療管理加算	一類感染症患者入院医療管理料
栄養サポートチーム加算	小児入院医療管理料2(3-2F)
医療安全対策加算1	小児入院医療管理料2(1-6F)
感染対策向上加算1	小児入院医療管理料2(1-6F)プレイルーム加算イ

感染対策向上加算1 指導強化加算	小児入院医療管理料2(1-6F)無菌治療管理加算1
感染対策向上加算1 抗菌薬適正使用体制加算	小児入院医療管理料2(1-6F)無菌治療管理加算2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
歯科治療時医療管理料	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
ウイルス疾患指導料の注2	人工中耳植込術
外来栄養食事指導料の注2	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
外来栄養食事指導料の注3	人工内耳用材料
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V至(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る)
糖尿病合併症管理料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
がん性疼痛緩和指導管理料	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
がん患者指導管理料ロ	内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
がん患者指導管理料ハ	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
がん患者指導管理料ニ	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来緩和ケア管理料	喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
糖尿病透析予防指導管理料	内視鏡下甲状腺部分切除、甲状腺摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腫腫過形成手術
小児運動器疾患指導管理料	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
婦人科特定疾患治療管理料	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
一般不妊治療管理料	乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
生殖補助医療管理料1	乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
二次性骨折予防継続管理料1	乳癌悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
二次性骨折予防継続管理料3	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
下肢創傷処置管理料	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ニコチン依存症管理料	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料1	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
外来腫瘍化学療法診療料の注6に規定する連携充実加算	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
がん治療連携計画策定料	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除又は肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
肝炎インターフェロン治療計画料	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)

ハイリスク妊産婦連携指導料1	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
こころの連携指導料(Ⅱ)	長道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
薬剤管理指導料	腹腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
医療機器安全管理料1	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) 高速回転式経皮経管アテレクトミーカテーテルによるもの
医療機器安全管理料2	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの) アテローム切除アブレーション式血管形成術用カテーテルによるもの
医療機器安全管理料(歯科)	胸腔鏡下弁形成術
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2	胸腔鏡下弁形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算	経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的動脈弁置換術)
在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	胸腔鏡下弁置換術
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	経皮的僧帽弁クリップ術
持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術
遺伝学的検査	不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
染色体検査の注2に規定する基準	経皮的中隔心筋焼灼術
骨髄微小残存病変量測定	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
BRCA1/2遺伝子検査	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
がんゲノムプロファイリング検査	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
角膜ジストロフィー遺伝子検査	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
有床義歯咀嚼機能検査1のイ	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極植込術
有床義歯咀嚼機能検査2のイ	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体	大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
精密触覚機能検査	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
先天性代謝異常症検査	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)(小児)
抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	補助人工心臓
HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	小児補助人工心臓
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	植込型補助人工心臓(非拍動流型)
ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	同種心移植術
検体検査管理加算(Ⅰ)	経皮的下肢動脈形成術
検体検査管理加算(Ⅳ)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)

国際標準検査管理加算	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
遺伝カウンセリング加算	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
胎児心エコー法	腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
ヘッドアップティルト試験	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
長期継続頭蓋内脳波検査	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
神経学的検査	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
補聴器適合検査	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
全視野精密網膜電図	腹腔鏡下肝切除術
ロービジョン検査判断料	腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
コンタクトレンズ検査料1	移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
小児食物アレルギー負荷検査	生体部分肝移植術
内服・点滴誘発試験	同種死体肝移植術
経頸静脈的肝生検	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
CT透視下気管支鏡検査加算	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
画像診断管理加算4	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
遠隔画像診断	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
CT撮影及びMRI撮影	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
冠動脈CT撮影加算	内視鏡的小腸ポリープ切除術
心臓MRI撮影加算	腹腔鏡下直腸切除・切断術(切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
乳房MRI撮影加算	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
頭部MRI撮影加算	腹腔鏡下胃悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
全身MRI撮影加算	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
肝エラストグラフィ加算	腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	同種死体腎移植術
外来化学療法加算1	生体腎移植術
無菌製剤処理料	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)

心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
初期加算 急性期リハビリテーション加算	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	尿道狭窄グラフト再建術
初期加算 急性期リハビリテーション加算	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰莖手術及び陰嚢腫手術(鼠径部切開によるもの)
運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	精巣温存手術
初期加算 急性期リハビリテーション加算	精巣内精子採取術
呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
初期加算 急性期リハビリテーション加算	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
がん患者リハビリテーション料	腹腔鏡下仙骨腫固定術
リンパ浮腫複合的治療料	腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
歯科口腔リハビリテーション料2	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
認知療法・認知行動療法1	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
精神科作業療法	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
医療保護入院等診療料	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
硬膜外自家血注入	胎児胸腔・羊水腔シャント術
エタノールの局所注入(甲状腺)	胎児輸血術及び臍帯穿刺
エタノールの局所注入(副甲状腺)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
導入期加算1	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
ストーマ合併症加算	輸血管管理料Ⅰ
人工膵臓療法	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	歯根端切除手術の注3
手術用顕微鏡加算	歯周組織再生誘導手術
歯科技工士連携加算1	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	レーザー機器加算
歯科技工加算1及び2	麻酔管理料(Ⅰ)
皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	麻酔管理料(Ⅱ)
自家脂肪注入	周術期薬剤管理加算
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	放射線治療専任加算
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	外来放射線治療加算

骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	高エネルギー放射線治療
後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	1回線量増加加算
椎間板内酵素注入療法	強度変調放射線治療(IMRT)
脳腫瘍覚醒下マッピング加算	画像誘導放射線治療(IGRT)
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	体外照射呼吸性移動対策加算
内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	定位放射線治療
頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	定位放射線治療呼吸性移動対策加算 動体追尾法
脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	定位放射線治療呼吸性移動対策加算 その他
癒着性脊椎くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	画像誘導密封小線源治療加算
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	保険医療機関間の連携による病理診断
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	病理診断管理加算1
角結膜悪性腫瘍切除術	デジタル病理画像による病理診断
治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。))	悪性腫瘍病理組織標本加算
角膜移植術(内皮移植加算)	口腔病理診断管理加算1
羊膜移植術	クラウン・ブリッジ維持管理料
緑内障手術(流出路再建術(眼内法))及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	歯科矯正診断料
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	看護職員処遇改善評価料63
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	外来・在宅ベースアップ評価料(I)
網膜再建術	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)
耳管用補綴材挿入術	入院ベースアップ評価料 75

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
 (注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<input checked="" type="radio"/> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 <input type="radio"/> 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	43回	
剖 検 の 状 況	剖検症例数(例)	10
	剖検率(%)	7.2

) 1 「臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況」欄については、選択肢の1・2どちらかを選択する(○で囲む等)こ
 (注) 2 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
骨格筋生物学とケミカルバイオロジーで代謝遺伝子発現機構を解明し、健康増進を目指す	細川 元靖	医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
脳の高次遺伝子発現制御機構の分子基盤の解明とその破綻による神経疾患の分子病態解明	武内 章英	医学系研究科	7,566,239	補委 日本学術振興会
反復性軽度外傷性脳損傷の白質初期病変解明	朱 鵬翔	医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
血清細胞外小胞へのLOXL2局在を標的とした頭頸部がん転移の新規診断・治療の開発	矢野 元	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
サルコペニア治療標的としてのRNA結合タンパク質Acin1の機能解析	青戸 守	医学系研究科	1,950,000	補委 日本学術振興会
筋の健全性維持システムにおけるレニン・アンジオテンシン系の役割と筋疾患治療応用	岩波 純	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
アンジオテンシンによる脳血管老化機序の解明と認知症治療への展開	関 莉娟	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
筋ジストロフィー胎児治療の可能性を探る	金川 基	医学系研究科	2,600,000	補委 日本学術振興会
新規リポールリン酸修飾の分子基盤の解明と筋ジストロフィー治療法開発への展開	金川 基	医学系研究科	6,760,000	補委 日本学術振興会
SARS-CoV-2感染におけるマスト細胞の関与と重症化機序解明に向けた研究	茂木 正樹	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
虚血肢病変におけるMuscle regenerative microRNAの担う役割の解明	外山 研介	医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会
Wntシグナル経路を基軸とする気管支随伴リンパ組織-BALT-の顕在化機構の解明	原口 竜摩	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
メチル化DNAの塩基配列特異的in situ 検出技術の開発研究	北澤 荘平	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
エピジェネティクス変化と包括的転写ネットワーク解析による骨疾患の病態解明	北澤 荘平	医学系研究科	3,120,000	補委 日本学術振興会
T細胞機能の異常が誘発する肺の恒常性破綻の分子機構とその制御機構の解明	桑原 誠	医学系研究科	1,170,000	補委 日本学術振興会
リソソームCa ²⁺ 恒常性維持を介したT細胞老化制御機構の解明	鈴木 淳平	医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
T細胞老化の生理学・病態生理学的意義とその分子基盤の解明	山下 政克	医学系研究科	7,150,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
世代別うつ症状と関連する環境要因及び遺伝的要因と環境要因の交互作用に関する疫学研究	三宅 吉博	医学系研究科	5,720,000	補委 日本学術振興会
死後経過時間推定のための組織学的・分子細胞学的検討	中林 ゆき	医学系研究科	1,690,000	補委 日本学術振興会
ホルマリン固定臓器による急性薬物中毒診断の可能性探索	浅野 水辺	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
一本鎖抗体を応用してシグナルを制御する次世代型サイトカインの作製と臨床応用	越智 俊元	医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会
次世代ヒト化患者腫瘍組織移植モデルによる高精度治療創薬支援プラットフォームの確立	竹中 克斗	医学系研究科	5,460,000	補委 日本学術振興会
左房ストレインを用いた新たなHFpEFリスク層別化の構築	井上 勝次	医学系研究科	2,340,000	補委 日本学術振興会
心筋細胞のheterogeneityとその特性解明に基づいた心疾患の包括的理解	山口 修	医学系研究科	8,320,000	補委 日本学術振興会
肝細胞がんの発がんおよび進展に関わるPKR関連分子eIF2の標的治療の可能性	日浅 陽一	医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
B細胞活性化因子による肥満の病態制御機構の解明	阿部 雅則	医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
肝硬変患者における低栄養と膵外分泌能との関連	今村 良樹	医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
間歇型一酸化炭素中毒の病態解明及び治療の究明	越智 紳一郎	医学系研究科	1,128,212	補委 日本学術振興会
細胞老化現象に着目した高齢者の精神神経疾患研究	伊賀 淳一	医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会
精神障害での睡眠異常の治療による時計遺伝子の末梢血遺伝子発現との相関	尾崎 優樹	医学系研究科	1,690,000	補委 日本学術振興会
3つの集団ベースおよびモデル動物を利用した認知症の一酸化窒素系に注目した解析研究	上野 修一	医学系研究科	2,210,000	補委 日本学術振興会
小児特発性ネフローゼ症候群におけるSMPDL-3bの意義の解明	渡邊 祥二郎	医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
ミクログリアに注目した注意欠陥多動性障害の病態生理解明と新規治療法の開発	城賀本 敏宏	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
乳児白血病の発症プロセスの解明と早期診断・発症予防の試み	江口 真理子	医学系研究科	1,820,000	補委 日本学術振興会
Invasion nicheの酸素環境制御による腫瘍幹細胞破綻メカニズムの解明	渡邊 英昭	医学系研究科	1,040,000	補委 日本学術振興会
悪性グリオーマに対する腫瘍特異的5-ALA併用超音波力学療法—既存薬との相乗効果	末廣 諭	医学系研究科	1,040,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
老化に伴う脳腫瘍悪性化の脳内分子メカニズムの解明と新規治療戦略	山下 大介	医学系研究科	1,040,000	補委 日本学術振興会
ディープラーニングを用いた人工知能による皮膚病分類システムとデジタルバイオブシー	藤澤 康弘	医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
自家移植を目指した機能性エクリン汗腺を含有する三次元培養表皮の開発	亀田 健治	医学系研究科	910,000	補委 日本学術振興会
非平衡大気圧プラズマを用いた新規経皮的ドラッグデリバリーシステムの開発	村上 正基	医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会
無菌性膿疱形成メカニズムにおけるS1P受容体を介した脂質メディエーターの役割	八束 和樹	医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会
非平衡大気圧プラズマを用いた還元型HMGB1による新しい創傷治療薬の開発	森 秀樹	医学系研究科	5,070,000	補委 日本学術振興会
アンドロゲン減少による骨格筋外組織からの骨格筋量の制御メカニズムの基盤的研究	雑賀 隆史	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
VR/MR技術を利用した眼窩部手術手技トレーニング	三谷 亜里沙	医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
転写因子ZFP521を応用した角膜透明治癒に向けた治療戦略の確立	白石 敦	医学系研究科	2,080,000	補委 日本学術振興会
多角的評価による嚥下障害の病態診断法および治療アルゴリズムの確立とその臨床応用	西窪 加緒里 (田中加緒里)	医学系研究科	520,000	補委 日本学術振興会
顔面神経再生治療を目的とした鼓室内投与法における神経保護効果の検討	山田 啓之	医学系研究科	1,170,000	補委 日本学術振興会
圧縮センシングを応用した冠動脈MRA高速撮像法の開発	城戸 倫之	医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
ダイナミックCTP画像に3次元トラッキング技術を適応した冠動脈血流指標の確立	松田 卓也	医学系研究科	910,000	補委 日本学術振興会
胸部IMRT施行症例における心臓MRIを用いた心毒性評価と心臓線量制約の確立	鶴岡 慎太郎	医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会
心筋テリトリーマップを活用した新たな心筋血流評価法の開発と応用	城戸 輝仁	医学系研究科	2,990,000	補委 日本学術振興会
交感神経活性化が引き起こすB細胞減少による術後感染メカニズムの解明	阿部 尚紀	医学系研究科	1,820,000	補委 日本学術振興会
マイクログリアに発現するドーパミンD1受容体を介した新規せん妄治療戦略の開発	西原 佑	医学系研究科	3,510,000	補委 日本学術振興会
レジスチンを標的としたプロモーターSNP・白血球特異的遺伝子発現相乗効果の解明	川村 良一	医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
SNP配列特異的エンハンサーRNAを統合したレジスチン遺伝子発現調節機構の解明	大澤 春彦	医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ドライバー遺伝子変異の監視による口腔潜在的悪性疾患(OPMDs)の新規治療戦略	内田 大亮	医学系研究科	780,000	補委 日本学術振興会
敗血症モデルマウスを用いた骨格筋萎縮機序解明と急性期栄養介入法の探索	佐藤 格夫	医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会
眼症状を伴う遺伝性神経筋疾患の新規疾患単位の確立	三浦 史郎	医学系研究科	1,170,000	補委 日本学術振興会
アルツハイマー病のインスリンシグナリング標的治療:モデルマウスにおける解析	大八木 保政	医学系研究科	1,820,000	補委 日本学術振興会
腫瘍浸潤リンパ球の動態を考慮した食道癌新規術前療法の開発	押切 太郎	医学系研究科	1,930,351	補委 日本学術振興会
International translational research for clinical applications of novel biodegradable ASD occluder device using large animals	黒部 裕嗣	医学系研究科	4,550,000	補委 日本学術振興会
単一細胞レベルでの大動脈弁石灰化機構の統合的理解	坂上 倫久	医学系研究科	3,900,000	補委 日本学術振興会
新規脂質染色と組織透明化を組み合わせた断端がんの3次元病理診断法の開発	川上 良介	医学系研究科	1,040,000	補委 日本学術振興会
革新的イメージング技術と一細胞解析を駆使したOA線維化の病態解明と制御法の確立	今村 健志	医学系研究科	5,070,000	補委 日本学術振興会
T細胞早期老化モデルマウスを用いたワクチン有効率改善方法の検討	松本 哲	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
T細胞の代謝プログラミング遮断によるアレルギー性皮膚炎病態制御の試み	大森 深雪	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
CA I ノックアウト炎症性腸疾患モデルを用いたCA I免疫療法の治療効果	丹下 和洋	医学系研究科	1,040,000	補委 日本学術振興会
アンチエイジングドックにおける軽度認知機能障害の画像診断の開発	伊賀瀬 圭二	医学系研究科	1,430,000	補委 日本学術振興会
川崎病後冠動脈瘤由来の血栓症に対するXa阻害薬を用いた新たな治療戦略の創出	稲葉 慎二	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
末梢血濾胞性ヘルパーT細胞を利用した視神経脊髄炎の多面的免疫モニタリング法の開発	越智 博文	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
頬粘膜を用いた自閉スペクトラム症の生物学的指標の検証および早期診断システムの開発	堀内 史枝	医学系研究科	1,560,000	補委 日本学術振興会
リフレクティブサイクルを活用した看護倫理教育の継続性の検証	相原 ひろみ	医学系研究科	565,726	補委 日本学術振興会
「アドヒアランス」を焦点とした看護診断の根拠レベルの向上	永田 明	医学系研究科	1,170,000	補委 日本学術振興会
誤嚥性肺炎を見据えた在宅高齢者のオーラルフレイルの予防的看護介入プログラムの開発	藤村 一美	医学系研究科	910,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
小児1型糖尿病患者のためのデジタル版移行期手帳の開発と有用性の評価	野本 美佳	医学系研究科	910,000	補委 日本学術振興会
更年期女性の不定愁訴及び行動特性の客観的評価とヘルスリテラシーとの関連	城賀本 晶子	医学系研究科	390,000	補委 日本学術振興会
シェーグレン症候群患者の睡眠の質と疲労改善を目指した遠隔支援プログラムの開発	宮内 清子	医学系研究科	1,760,096	補委 日本学術振興会
コロナ禍で新規発症した1型糖尿病患者児と家族への糖尿病初期教育支援プログラムの開発	薬師神 裕子	医学系研究科	1,300,000	補委 日本学術振興会
意味性認知症の人と家族における発症初期からの介入支援モデルの開発	柴 珠実	医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
介護医療院の生活の視点を取り入れた快適な排便ケア実践のための教育プログラムの開発	小岡 亜希子	医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
多職種統合チームによる在宅緩和ケア実践評価尺度の開発とその実用性の検証	吉田 美由紀	医学系研究科	2,340,000	補委 日本学術振興会
児童虐待予防に向けた行政の組織横断的な家族支援プログラムの開発	西嶋 真理子	医学系研究科	1,170,000	補委 日本学術振興会
加齢性難聴高齢者のフレイル予防に向けた前向きコホート調査	達川 まどか	医学系研究科	2,210,000	補委 日本学術振興会
高齢者排泄ケアの継続性を可能にする施設間連携システム構築に関する研究	陶山 啓子	医学系研究科	650,000	補委 日本学術振興会
免疫寛容型樹状細胞の解析と膠原病疾患への応用	松本 卓也	医学部附属病院	1,300,000	補委 日本学術振興会
CAR-T細胞・BiTEの直接比較に基づく前臨床スクリーニングモデルの構築	丸田 雅樹	医学部附属病院	1,560,000	補委 日本学術振興会
血栓形成における新たな機構解明のためのGPR25遺伝子解析	山之内 純	医学部附属病院	1,560,000	補委 日本学術振興会
難治性血管炎の新たな寛解維持・腎予後予測マーカーおよび分子標的治療の臨床応用	石崎 淳	医学部附属病院	2,210,000	補委 日本学術振興会
細胞骨格制御に着目した尿毒症物質による心血管障害の病態解明	牧田 愛祐	医学部附属病院	650,000	補委 日本学術振興会
横紋筋融解症に伴う急性腎障害に対するメガリンASOの有用性の検討	莖田 昌敬	医学部附属病院	1,430,000	補委 日本学術振興会
費用対効果分析を用いた我が国における心不全至適治療戦略の基盤構築	川上 大志	医学部附属病院	1,560,000	補委 日本学術振興会
シングルセルオミックス解析で同定した新規心不全標的分子の機能解明	中尾 恭久	医学部附属病院	2,730,000	補委 日本学術振興会
新規エコーシートによる超音波診断法の確立	廣岡 昌史	医学部附属病院	780,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
B型慢性肝炎に対するHBs抗原の消失を目指したワクチン治療の開発	吉田 理	医学部附属病院	1,040,000	補委	日本学術振興会
骨格筋と新たな組織診断によるフォンタン術後肝合併症の予後不良因子のスクリーニング	小泉 洋平	医学系研究科	910,000	補委	日本学術振興会
高脂肪食摂取により誘導される細胞外ATPを介した脂肪肝炎、肝癌発症機序の解明	三宅 映己	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
PERKを介した小胞体ストレスによる肝星細胞の活性化と肝細胞癌進展機序の解明	今井 祐輔	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
NASH肝癌におけるB細胞活性化因子の役割と腫瘍免疫への影響	中村 由子	医学部附属病院	1,950,000	補委	日本学術振興会
自閉症スペクトラム障害におけるExosome-miRNAの変化、及び病的意義	吉野 祐太	医学部附属病院	1,040,000	補委	日本学術振興会
統合失調症における神経細胞由来エクソソームmiRNAの変化	山崎 聖広	医学部附属病院	2,210,000	補委	日本学術振興会
小学生におけるインターネット依存予防介入プログラムの効果検証と支援モデル構築	河邊 憲太郎	医学系研究科	1,820,000	補委	日本学術振興会
ガスリー濾紙血を用いた小児白血病の早期診断法の開発	江口 峰斉	医学部附属病院	1,690,000	補委	日本学術振興会
ジストロフィン異常症における腎機能の推移と腎機能障害合併時の誘因に関する検討	元木 崇裕	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
低酸素微小環境の制御による膠芽腫幹細胞の浸潤・増殖の抑制に基づいた治療法の確立	井上 明宏	医学部附属病院	1,794,000	補委	日本学術振興会
酸素環境制御に基づくInvasion niche由来膠芽腫幹細胞破綻療法の確立	重川 誠二	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
MRSによるInvasion nicheを標的とした膠芽腫幹細胞の機能解析と破綻環境の探索	西川 真弘	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
ミクログリア除去ラットを用いた脳梗塞の病態解明	松本 調	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
エピゲノムを介した骨棘形成と変形性膝関節症発症メカニズムの解明	忽那 辰彦	医学部附属病院	1,560,000	補委	日本学術振興会
女性ホルモン欠乏による難治性皮膚疾患に対する糖鎖関連治療薬の開発と作用機序解明	武藤 潤	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
非平衡大気圧プラズマを用いた尋常性乾癬に対する新規治療法の開発	白石 研	医学部附属病院	910,000	補委	日本学術振興会
非平衡大気圧プラズマを用いた皮弁虚血再灌流障害の新規治療法の開発	戸澤 麻美	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
前立腺癌関連血管内皮細胞におけるPSMAの発現制御機構及び、その分子機能の解明	三浦 徳宣	医学部附属病院	1,560,000	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
非破壊工学技術を応用した非侵襲的腎盂内圧測定の新規開発	西村 謙一	医学部附属病院	1,950,000	補委 日本学術振興会
シングルセル解析による腫瘍微小環境を介した前立腺神経内分泌腫瘍発生機序の解明	渡辺 隆太	医学部附属病院	1,170,000	補委 日本学術振興会
腎癌関連血管内皮細胞におけるPSMAの発現制御機構及び、その分子機能の解明	菊川 忠彦	医学部附属病院	1,300,000	補委 日本学術振興会
シングルセル解析による前立腺癌の新規ドライバー遺伝子同定に関する国際共同研究	菊川 忠彦	医学部附属病院	5,200,000	補委 日本学術振興会
ビッグデータ解析を用いた転移性膀胱癌に対する新規治療標的分子の探索	新井 欧介	医学部附属病院	1,560,000	補委 日本学術振興会
音響性聴器障害モデルにおける内耳シナプスの易障害性のメカニズムを探る	寺岡 正人	医学部附属病院	520,000	補委 日本学術振興会
認知症モデルマウスにおける聴覚障害の検討	岡田 昌浩	医学部附属病院	1,430,000	補委 日本学術振興会
一過性内耳虚血後のCochlear synaptopathyの検討	麻生 沙和	医学部附属病院	1,820,000	補委 日本学術振興会
頭頸部扁平上皮癌におけるCLICsの機能解明と新規抗悪性腫瘍薬への展開	細川 裕貴	医学部附属病院	1,950,000	補委 日本学術振興会
Mixed reality技術を用いた咽頭癌に対する経口的手術の支援システム開発	佐藤 恵里子	医学部附属病院	3,120,000	補委 日本学術振興会
人工知能を用いたSynthetic MRIでの乳腺病変の新たな良悪性判定法の開発	松田 恵 (武智 恵)	医学部附属病院	520,000	補委 日本学術振興会
Image-based navigationを用いた3D遅延造影撮像法の開発	中村 壮志	医学部附属病院	520,000	補委 日本学術振興会
甲状腺癌放射性ヨード内用療法における放射線宿酔のリスク因子の解明	高田 紀子	医学部附属病院	130,000	補委 日本学術振興会
4D-similarity filter を応用した低侵襲心筋 CTP 開発	吉田 和樹	医学部附属病院	910,000	補委 日本学術振興会
CTストレイン解析を応用した新たな左房機能定量評価法の開発	田邊 裕貴	医学部附属病院	520,000	補委 日本学術振興会
口腔癌リンパ節転移節外進展における脂肪細胞の役割	栗林 恭子	医学部附属病院	780,000	補委 日本学術振興会
歯周病は妊娠糖尿病のリスク因子か？	日野 聡史	医学部附属病院	780,000	補委 日本学術振興会
口腔扁平上皮癌における CXCL13 の発現局在と役割	桐原 祐喜	医学部附属病院	1,430,000	補委 日本学術振興会
サルコペニア・動脈硬化・認知機能低下の新規治療標的としてのAGEsの探究	越智 雅之	医学系研究科	1,040,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
SNPを標的とした早期インスリン抵抗性・動脈硬化症の個別化先制医療の確立	高門 美沙季	医学部附属病院	1,560,000	補委	日本学術振興会
レジスチンSNPを標的としたサルコペニア肥満進展の分子メカニズムの統合的解明	池田 陽介	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
パーキンソン病におけるGDF15測定の有用性の検討と神経炎症に及ぼす作用の解析	宮上 紀之	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
患者予後と医療経済を改善する超小型非侵襲的臓器血流測定装置新規開発への挑戦	吉田 素平	医学部附属病院	390,000	補委	日本学術振興会
MMP14を阻害する新たな分子CLIC2をもとにした癌転移抑制剤の開発	桑原 淳	医学部附属病院	2,080,000	補委	日本学術振興会
アロマターゼ阻害薬による乳癌治療関連骨量減少症のメカニズム解明	亀井 義明	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
乳癌細胞株におけるHER2特異的phosphataseの同定と分子機構の解明	西山 加那子	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
肺癌微小環境を構築する間質細胞を標的とした新たな肺癌治療戦略	桐山 洋介	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
Neutrophil extracellular trapsを介した心膜癒着メカニズムの解明とその制御法の開発	薦田 宗則	医学部附属病院	1,560,000	補委	日本学術振興会
転写制御因子を標的とした新規肺虚血再灌流障害制御法の開発と臨床応用	大谷 真二	医学部附属病院	1,430,000	補委	日本学術振興会
胸膜癒着の機序解明とその制御法の開発	藻利 優	医学系研究科	1,560,000	補委	日本学術振興会
IGF-1によるT細胞機能調節を介した集中治療患者の長期予後改善	小西 周	医学部附属病院	1,950,000	補委	日本学術振興会
造影剤を用いたデジタルPET/CTによる心サルコイドーシス診断方法の開発と応用	川口 直人	医学部附属病院	650,000	補委	日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎に対する小腸脂肪酸輸送体を標的とした新規治療法の開発	山本 安則	医学部附属病院	1,300,000	補委	日本学術振興会
老人性骨粗鬆症の病態解析:DNAメチル化による破骨細胞分化の制御	北澤 理子	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
自己免疫性神経疾患における血管内皮機能障害の解析と治療標的の検討	岡田 陽子	医学部附属病院	1,170,000	補委	日本学術振興会
睡眠改善の促進妨害要因の解析と集団特性に応じた新たな睡眠教育プログラムの構築	岡 靖哲	医学部附属病院	5,070,000	補委	日本学術振興会
ドライアイ結膜上皮モデルに対するPAX6による再教育の試み	竹澤 由起	医学部附属病院	1,820,000	補委	日本学術振興会
がん微小環境が造り出す浸潤転移性がん細胞発生メカニズムの解明	塩川 大介	医学部附属病院	2,209,917	補委	日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
T細胞老化制御による抗腫瘍活性増強法の確立	松岡 祐子	医学部附属病院	2,210,000	補委 日本学術振興会
線維筋痛症患者における認知行動療法の増強要因の検討	小手川 雄一	医学部附属病院	390,000	補委 日本学術振興会
滑膜マクロファージに着目した関節リウマチ病態の性差メカニズムの解明	佐伯 法学	学術支援センター	1,690,000	補委 日本学術振興会
プロテオフォームの包括的解析を可能にする高深度トップダウンプロテオミクス法の開発	武森 信暁	学術支援センター	9,360,000	補委 日本学術振興会
可溶性ポリアクリルアミドゲル電気泳動を活用したミドルダウンプロテオミクス法の開発	武森 信暁	学術支援センター	1,820,000	補委 日本学術振興会
変異インフルエンザウイルス感染防御に有効な記憶B細胞活性化機構の解明	新中須 亮	学術支援センター	5,330,000	補委 日本学術振興会
マラリア原虫の受精に関与する雄分子PyMiGSと相互作用する雌性生殖体分子の同定	橘 真由美	プロテオサイエンスセンター	1,300,000	補委 日本学術振興会
赤血球期マラリア原虫における滑走運動の分子機序の解明	矢幡 一英	プロテオサイエンスセンター	5,980,000	補委 日本学術振興会
疾患特異的タンパク質の分解誘導システムの開発・応用	東山 繁樹	プロテオサイエンスセンター	6,370,000	補委 日本学術振興会
DNA障害型抗がん剤感受性増強因子SLFN11を標的とした創薬	村井 純子	プロテオサイエンスセンター	1,744,172	補委 日本学術振興会
CRL3依存性プロテオスタシスを基盤とした髄芽腫新生血管の特性解析	田手 壮太	プロテオサイエンスセンター	1,300,000	補委 日本学術振興会
RhoB-CNKSR1複合体によるHER1/2不活性化機構解析と制御剤開発・応用	東山 繁樹	プロテオサイエンスセンター	5,330,000	補委 日本学術振興会
SLFN11の分子メカニズムから解き明かすDNA障害型抗がん剤の真の作用機序	村井 純子	プロテオサイエンスセンター	7,020,000	補委 日本学術振興会
若年女性アスリートのエストロゲン分泌異常による骨代謝障害の機序解明	池戸 葵	プロテオサイエンスセンター	1,040,000	補委 日本学術振興会
無細胞タンパク合成技術を駆使した抗GPCR抗体作製による難治性がん治療法開発	今井 祐記	プロテオサイエンスセンター	3,250,000	補委 日本学術振興会
エストロゲンを基軸にしたサルコペニア・骨粗鬆症併発における筋骨連関メカニズム解明	今井 祐記	プロテオサイエンスセンター	5,460,000	補委 日本学術振興会
液液相分離異常による病理学的疾患概念の確立と責任標的分子の同定	増本 純也	プロテオサイエンスセンター	3,250,000	補委 日本学術振興会
インフラマソーム活性化の心不全への寄与の病理学的解明	倉田 美恵	プロテオサイエンスセンター	2,080,000	補委 日本学術振興会
包括的疾患インタラクトームとモデルマウスによる自己炎症疾患の多様性と周期性の解明	増本 純也	プロテオサイエンスセンター	8,580,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ブロック拠点病院のない自治体における中核拠点病院の機能評価と体制整備のための研究～オール四国の体制の整備～	高田 清式	医学部附属病院	9,000,000	補 委	厚生労働省
小児慢性特定疾病児童等自立支援に資する研究	檜垣 高史	医学系研究科	12,000,000	補 委	厚生労働省
大規模データの利活用研究の加速のための研究	木村 映善	医学系研究科	5,439,591	補 委	厚生労働省
B型肝炎患者のドラッグフリーを目指した免疫治療法の開発	日浅 陽一	医学系研究科	6,500,000	補 委	日本医療研究開発機構
病原性メモリーTh2細胞を標的とした難治性アレルギー治療薬の探索	山下 政克	医学系研究科	12,000,000	補 委	日本医療研究開発機構
学童・思春期のプレコンセプションケアを促進するデジタルツールの研究開発	檜垣 高史	医学系研究科	8,089,380	補 委	日本医療研究開発機構
超磁歪素子を用いた高齢者向け骨固定式補聴器に関する研究開発	羽藤 直人	医学系研究科	12,756,900	補 委	日本医療研究開発機構
下肢閉塞性動脈疾患に対する血管新生治療薬の検証	外山 研介	医学系研究科	6,358,000	補 委	日本医療研究開発機構

計177件

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Kinoshita T, Hino K, Kutsuna T, et al.	診療科 整形外科	Rotational Soft-Tissue Balance Is Highly Correlated with Rotational Kinematics in Total Knee Arthroplasty	J Knee Surg. 2023 Jan;36(1):47-53. doi: 10.1055/s-0041-1729619.	Original Article
2	Ogura T, Eguchi T, Nakahara K, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical impact of recombinant thrombomodulin administration on disseminated intravascular coagulation due to severe acute cholangitis (Recover-AC)	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2023 Feb;30(2):221-228. doi: 10.1002/jhbp.998. Epub	Original Article
3	Suzuki K, Yamanaka M, Minamiguchi Y, et al.	基盤・実践看護学	Details of Cancer Education Programs for Adolescents and Young Adults and Their Effectiveness: A Scoping Review	J Adolesc Young Adult Oncol. 2023 Feb;12(1):9-33. doi:	Original Article
4	Yagi S, Furukawa S, Shiraishi K, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	The albumin to globulin ratio is associated with clinical outcome in Japanese patients with ulcerative colitis	Ann Coloproctol. 2023 Apr;39(2):155-163. doi: 10.3393/ac.2021.01032.0147.	Original Article
5	Toda K, Ako J, Hirayama A, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Three-year experience of catheter-based micro-axial left ventricular assist device, Impella, in Japanese patients: the first interim analysis of Japan registry for	J Artif Organs. 2023 Mar;26(1):17-23. doi: 10.1007/s10047-022-	Original Article
6	Ishizu A, Kawakami T, Kanno H, et al.	(PROS)病理学部門	Expert perspectives on pathological findings in vasculitis	Mod Rheumatol. 2023 Jan 3;33(1):1-11. doi: 10.1093/mr/roac043.	Original Article
7	Otsubo T, Kobayashi S, Sano K, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	A nationwide certification system to increase the safety of highly advanced hepatobiliary-pancreatic surgery	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2023 Jan;30(1):60-71. doi: 10.1002/jhbp.1186. Epub	Original Article
8	Hiraoka A, Kumada T, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Does first-line treatment have prognostic impact for unresectable HCC?- Atezolizumab plus bevacizumab versus lenvatinib	Cancer Med. 2023 Jan;12(1):325-334. doi: 10.1002/cam4.4854. Epub	Original Article
9	Higaki A, Kawaguchi N, Kurokawa T, et al.	診療科 放射線科	Content-based image retrieval for the diagnosis of myocardial perfusion imaging using a deep convolutional autoencoder	J Nucl Cardiol. 2023 Apr;30(2):540-549. doi: 10.1007/s12350-022-	Original Article
10	Okada T, Kawaguchi N, Miyagawa M, et al.	診療科 放射線科	Clinical features and prognosis of isolated cardiac sarcoidosis diagnosed using new guidelines with dedicated FDG PET/CT	J Nucl Cardiol. 2023 Feb;30(1):280-289. doi: 10.1007/s12350-022-	Original Article
11	Miyae N, Yabe H.	診療科 臨床薬理神経内科	Polysomnographic and Clinical Parameters before and after Zonisamide Therapy for Parkinson's Disease	Intern Med. 2023 Feb 15;62(4):527-531. doi: 10.2169/internalmedicine.00	Original Article
12	Funahashi Y, Yoshino Y, Iga JI, Ueno SI.	精神神経科学	Impact of clozapine on the expression of miR-675-3p in plasma exosomes derived from patients with schizophrenia	World J Biol Psychiatry. 2023 Apr;24(4):303-313. doi: 10.1080/15622975.2022.210	Original Article
13	Ozaki I, Nishijima M, Konishi M.	地域健康システム看護学	Reasonability and Acceptability of Policies and Environmental Strategies for Improving Physical Activity and Healthy Eating in Japanese Small and Medium Communities	J Occup Environ Med. 2023 Jan 1;65(1):39-47. doi: 10.1097/JOM.00000000000000	Original Article
14	Kubota K, Oguchi T, Fujimori N, et al.	中央診療施設 総合臨床研修センター	Steroid therapy was an acceptable role as the initial treatment in autoimmune pancreatitis patients with pancreatic cyst formation: Based on a Japanese nationwide (SMPIC) PIP-SPIC/CI as part of the	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2023 May;30(5):664-677. doi: 10.1002/jhbp.1227.	Original Article
15	Takahashi K, Sasaki D, Uemura S, et al.	地域救急医療学講座	diagnostic workup of left ventricular apical aneurysm in a patient with hypertrophic cardiomyopathy	J Nucl Cardiol. 2023 Oct;30(5):2198-2203. doi: 10.1007/s12350-022-	Original Article
16	Tokinobu A, Tanaka K, Arakawa M, Miyake Y.	疫学・公衆衛生学	Pre- and postnatal maternal narrow eye use and risk of wheeze and asthma in 5-year-old Japanese children: the Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study	Int J Environ Health Res. 2023 Dec;33(12):1697-1705. doi:	Original Article
17	Hiraoka A, Nakai M, Hara N, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical features of patients with chronic liver disease in Japan related to alcohol use: Nationwide examination using alcohol use disorders identification test	Hepatol Res. 2023 Jan;53(1):43-50. doi: 10.1111/hepr.13835. Epub	Original Article
18	Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Development and validation of a modified albumin-bilirubin grade and α -fetoprotein score (mALF score) for hepatocellular carcinoma patients receiving atezolizumab	Hepatol Int. 2023 Feb;17(1):86-96. doi: 10.1007/s12072-022-	Original Article
19	Mori H, Sumitomo N, Tsutsui K, et al.	地域小児保健医療学講座	Efficacy of Subcutaneous implantable cardioverter-defibrillators in ≤ 18 year-old CHILDREN: SAVE-CHILDREN registry	Int J Cardiol. 2023 Jan 15;371:204-210. doi: 10.1016/j.ijcard.2022.09.008.	Original Article
20	Inoue, A., H. Watanabe, et al.	診療科 脳神経外科	Usefulness of intraoperative rapid immunohistochemistry in the surgical treatment of brain tumors.	Neuropathology 43(3): 209-220.	Original Article
21	Hirooka M, Koizumi Y, Nakamura Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Spleen stiffness in patients with chronic liver disease evaluated by 2-D shear wave elastography with ultrasound multiparametric	Hepatol Res. 2023 Feb;53(2):93-103. doi: 10.1111/hepr.13841. Epub	Original Article
22	Hatanaka T, Naganuma A, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	The hepatocellular carcinoma modified Gustave Roussy Immune score (HCC-GRIm score) as a novel prognostic score for	Cancer Med. 2023 Feb;12(4):4259-4269. doi: 10.1002/cam4.5294. Epub	Original Article
23	Kawasaki E, Shimada A, Imagawa A, et al.	糖尿病内科学	Comparing the clinical significance and antigen specificity of insulinoma-associated antigen-2 autoantibodies between	J Diabetes Investig. 2023 Jan;14(1):58-66. doi: 10.1111/jdi.13910. Epub	Original Article
24	Miyake Y, Tanaka K, Nagata C, et al.	医療情報学	trans and polyunsaturated fatty acid intake and Carotid Intima-Media Thickness in Japan: the Aida Cohort Study in Yamagata, Iwate, Seiro, and Aomori	J Atheroscler Thromb. 2023 Aug 1;30(8):934-942. doi: 10.5551/jat.63781. Epub	Original Article
25	Tsuboi T, Takaesu Y, Hasegawa N, et al.	診療科 精神科	Effects of electroconvulsive therapy on the use of anxiolytics and sleep medications: a propensity score-matched analysis	Psychiatry Clin Neurosci. 2023 Jan;77(1):30-37. doi: 10.1111/pcn.13489. Epub	Original Article
26	Sugihara T, Uchida HA, Yoshifuji H, et al.	診療科 第一内科	Association between the patterns of large-vessel lesions and treatment outcomes in patients with large-vessel giant cell arteritis	Mod Rheumatol. 2023 Nov 1;33(6):1145-1153. doi: 10.1093/mr/roac122.	Original Article
27	Ogawa, H., Konishi, et al.	血液・免疫・感染症内科学	Phase I trial of myeloablative conditioning with 3-day total marrow and lymphoid irradiation for leukemia.	Cancer Sci. 114(2): 596-605, 2023 Feb	Original Article
28	Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Comparative efficacy and safety of atezolizumab and bevacizumab between hepatocellular carcinoma patients with viral and non-viral infection: A Japanese	Cancer Med. 2023 Mar;12(5):5293-5303. doi: 10.1002/cam4.5337. Epub	Original Article

29	Takakado M, Kido T, Ogawa R, et al.	診療科 放射線科	Free-breathing cardiovascular cine magnetic resonance imaging using compressed-sensing and retrospective motion correction: comprehensive data of bioprosthetic valve	Jpn J Radiol. 2023 Feb;41(2):142-152. doi: 10.1007/s11604-022-	Original Article
30	Sakamoto K, Beppu T, Honda G, et al.	診療科 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	Comprehensive data of 4502 patients newly diagnosed with colorectal liver metastasis between 2015 and 2017, and prognostic data of 2427 patients newly diagnosed with	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2023 May;30(5):570-590. doi: 10.1002/jhbp.1252.	Original Article
31	Mori Y, Uchida N, Harada T, et al.	造血細胞移植センター	Predictors of impaired antibody response after SARS-CoV-2 mRNA vaccination in hematopoietic cell transplant recipients: A Japanese multicenter observational study	Am J Hematol. 2023 Jan;98(1):102-111. doi: 10.1002/ajh.26769. Epub	Original Article
32	Nagaoka T, Sakamoto K, Ogawa K, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Intramuscular Adipose Tissue Content as a Predictor of Incisional Hernia after Hepatic Resection	World J Surg. 2023 Jan;47(1):260-268. doi: 10.1007/s00268-022-	Original Article
33	Tsuruoka S, Kataoka M, Uwatsu K, et al.	放射線医学	Prognostic value of human epidermal growth factor receptor 2 status and systemic therapy in breast cancer with brain metastases: a retrospective cohort study	Asia Pac J Clin Oncol. 2023 Jun;19(3):347-354. doi: 10.1111/ajco.13881. Epub	Original Article
34	Beppu T, Yamamura K, Sakamoto K, et al.	診療科 肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	validation study of the JSHBS nomogram for patients with colorectal liver metastases who underwent hepatic resection in the recent era - a nationwide survey in Japan	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2023 May;30(5):591-601. doi: 10.1002/jhbp.1256.	Original Article
35	Ogata T, Yamada K, Miura H, et al.	関節機能再建学	Feasibility and applicability of locomotive syndrome risk test in elderly patients who underwent total knee arthroplasty	Mod Rheumatol. 2023 Nov 1;33(6):1197-1203. doi: 10.1093/mr/roac131.	Original Article
36	Kanemitsu E, Zhao X, Iwaisako K, et al.	生体構造医学	Antagonist of sphingosine 1-phosphate receptor 3 reduces cold injury of rat donor hearts for transplantation	Transl Res. 2023 May;255:26-36. doi: 10.1016/j.trsl.2022.11.003.	Original Article
37	Takahashi K, Morioka H, Sasaki D, et al.	分子病理学	Two autopsy cases of wild-type transthyretin cardiac amyloidosis who died 10 days after technetium-99m-pyrophosphate scintigraphy	J Nucl Cardiol. 2023 Oct;30(5):2215-2221. doi: 10.1007/s12350-022-	Original Article
38	Yamada M, Tanaka K, Nagata C, et al.	疫学・公衆衛生学	Sex differences in the association between smoking exposure and prevalence of wheeze and asthma in 3-year-old children	J Asthma. 2023 Jul;60(7):1369-1376. doi: 10.1080/02770903.2022.214	Original Article
39	Takahashi K, Aono J, Nakao Y, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	LOX-1 deficiency increases ruptured abdominal aortic aneurysm via thinning of adventitial collagen	Hypertens Res. 2023 Jan;46(1):63-74. doi: 10.1038/s41440-022-	Original Article
40	Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Correction to: Development and validation of a modified albumin-bilirubin grade and α -fetoprotein score (mALF score) for hepatocellular carcinoma patients receiving	Hepatol Int. 2023 Feb;17(1):271-273. doi: 10.1007/s12072-022-	Original Article
41	Fukumoto K, Kodaka F, Hasegawa N, et al.	診療科 精神科	Development of an individual fitness score (IFS) based on the depression treatment guidelines of in the Japanese Society of Mood Disorders	Neuropsychopharmacol Rep. 2023 Mar;43(1):33-39. doi: 10.1002/npr2.12301. Epub	Original Article
42	Yoshida O, Akbar SMF, Imai Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	intranasal therapeutic vaccine containing HBsAg and HBcAg for patients with chronic hepatitis B; 18 months follow-up results of phase IIa clinical study	Hepatol Res. 2023 Mar;53(3):196-207. doi: 10.1111/hepr.13851. Epub	Original Article
43	Usami K, Matsumoto R, Korzeniewska A, et al.	脳神経外科学	The dynamics of cortical interactions in visual recognition of object category: living versus nonliving	Cereb Cortex. 2023 Apr 25;33(9):5740-5750. doi: 10.1093/cercor/bhac456.	Original Article
44	Mulorz J, Spin JM, Mulorz P, et al.	薬理学	E-cigarette exposure augments murine abdominal aortic aneurysm development: role of Chill	Cardiovasc Res. 2023 May 2;119(3):867-878. doi: 10.1093/cvr/cvac173.	Original Article
45	Ginjiro Kato, Hidemichi Mitome, Kenichiro Teshima, et al.	薬剤部	Study on the Use of Ozone Water as a Chemical Decontamination Agent for Antineoplastic Drugs in Clinical Settings	Ann Work Expo Health. 2023 Feb 13;67(2):241-251. doi:	Original Article
46	Suzuki T, Maruyama D, Machida R, et al.	診療科 第一内科	Prognostic impact of the CR Myeloma Research Alliance Risk Profile in transplant-ineligible patients with multiple myeloma who in situ sequence-specific visualization of	Hematol Oncol. 2023 Aug;41(3):590-593. doi: 10.1002/hon.3103. Epub	Original Article
47	Kitazawa S, Haraguchi R, Takaoka Y, Kitazawa R.	分子病理学	single methylated cytosine on tissue sections using ICON probe and rolling-circle amplification	Histochem Cell Biol. 2023 Mar;159(3):263-273. doi: 10.1007/s00418-022-	Original Article
48	Iida H, Okada T, Nemoto K, et al.	精神神経科学	Satisfaction with web-based courses on clinical practice guidelines for psychiatrists: Findings from the "Effectiveness of Guidelines for Discontinuation and Education	Neuropsychopharmacol Rep. 2023 Mar;43(1):23-32. doi: 10.1002/npr2.12300. Epub	Original Article
49	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Nutritional Status is Associated with Prognosis in Patients with Advanced Unresectable Hepatocellular Carcinoma Treated with Atezolizumab plus	Oncology. 2023;101(4):270-282. doi: 10.1159/000527676. Epub	Original Article
50	Takeda H, Yoshimura Y, Takagi M, et al.	分子細胞生理学	Bromovalerylurea modulates GABA(A) receptor-mediated inhibitory neurotransmission while inducing sleep	Biochem Biophys Res Commun. 2023 Jan 1;638:176-183. doi:	Original Article
51	Ohte N, Kikuchi S, Iwahashi N, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Unfavourable outcomes in patients with heart failure with higher preserved left ventricular ejection fraction	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2023 Feb 17;24(3):293-300. doi:	Original Article
52	Takahashi K, Hiratsuka Y, Sasaki D, et al.	分子病理学	^{99m} Tc-Pyrophosphate Scintigraphy Can Image Tracer Uptake in Skeletal Trunk Muscles of Transthyretin Cardiac Amyloidosis	Clin Nucl Med. 2023 Jan 1;48(1):18-24. doi: 10.1097/RLU.0000000000000000	Original Article
53	Yukumi S, Ishimaru K, Suzuki H, et al.	先進呼吸器外科学講座	Duration of antimicrobial therapy after video-assisted thoracoscopic surgery for thoracic empyema and complicated parapneumonic effusion: A single-center	Respir Investig. 2023 Jan;61(1):110-115. doi:	Original Article
54	Abe Y, Toyama K, Shinohara A, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Message to researchers: the characteristic absence of a posterior communicating artery is easily lost in the gerbil	Anat Sci Int. 2023 Jul;98(3):426-433. doi: 10.1007/s12565-022-	Original Article
55	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	new prognostic system based on inflammation and liver function predicts prognosis in patients with advanced unresectable hepatocellular carcinoma	Cancer Med. 2023 Mar;12(6):6980-6993. doi: 10.1002/cam4.5495. Epub	Original Article
56	Matsubara K, Otani S, Yamamoto H, et al.	中央診療施設 呼吸器センター	The impact of prognostic nutrition index on the waitlist mortality of lung transplantation	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2023 May;71(5):306-312. doi: 10.1007/s11748-	Original Article
57	Yagi S, Furukawa S, Miyake T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association between Mucosal Healing and Lipid Profiles in Patients with Ulcerative Colitis: A Cross-Sectional Study	Digestion. 2023;104(2):129-136. doi: 10.1159/000527353. Epub	Original Article
58	Fuji S, Sugita J, Najima Y, et al.	血液・免疫・感染症内科学	Low- versus standard-dose post-transplant cyclophosphamide as GVHD prophylaxis for haploidentical transplantation	Br J Haematol. 2023 Nov 30. doi: 10.1111/bjh.19228. Online ahead of print.	Original Article
59	Persano M, Rimini M, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical outcomes with atezolizumab plus bevacizumab or lenvatinib in patients with hepatocellular carcinoma: a multicenter real-world study	J Cancer Res Clin Oncol. 2023 Aug;149(9):5591-5602. doi: 10.1007/s00432-022-	Original Article

60	Inoue T, Shinnakasu R, Kawai C, et al.	医科学研究支援部門	Antibody feedback contributes to facilitating the development of Omicron-reactive memory B cells in SARS-CoV-2 mRNA vaccines	J Exp Med. 2023 Feb 6;220(2):e20221786. doi: 10.1084/jem.20221786. Epub	Original Article
61	Hosokawa R, Kawabe K, Nakachi K, et al.	精神神経科学	Effects of social media on body dissatisfaction in junior high school girls in Japan	Eat Behav. 2023 Jan;48:101685. doi: 10.1016/j.eatbeh.2022.10168	Original Article
62	Kida H, Kawakami R, Sakai K, et al.	分子病態医学	Motor training promotes both synaptic and intrinsic plasticity of layer V pyramidal neurons in the primary motor cortex	J Physiol. 2023 Jan;601(2):335-353. doi: 10.1113/JP283755. Epub	Original Article
63	Ushida T, Katayama Y, Hiasa Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Mirogabain for Central Neuropathic Pain After Spinal Cord Injury: A Randomized, Double-Blind, Placebo-Controlled, Phase 3 Study in Asia	Neurology. 2023 Mar 14;100(11):e1193-e1206. doi: 10.1212/WNL.00000000000020	Original Article
64	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Adverse events as potential predictive factors of therapeutic activity in patients with unresectable hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab	Cancer Med. 2023 Apr;12(7):7772-7783. doi: 10.1002/cam4.5535. Epub	Original Article
65	Fujisawa T, Kawakami H, Nagai T, et al.	診療科 第二内科	Premature atrial contraction immediately after catheter ablation was associated with late recurrence of atrial fibrillation	Pacing Clin Electrophysiol. 2023 Feb;46(2):152-160. doi: 10.1111/pace.14648. Epub	Original Article
66	Hirooka M, Koizumi Y, Nakamura Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Deep attenuation transducer to measure liver stiffness in obese patients with liver disease	J Med Ultrason (2001). 2023 Jan;50(1):63-72. doi: 10.1007/s10396-022-	Original Article
67	Sugiura J, Uchita S, Kojima A, et al.	地域小児・周産期学	Is the QRS duration useful for determining the optimal timing of pulmonary valve replacement after tetralogy of Fallot repair?	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2023 Aug;71(8):437-446. doi: 10.1007/s11748-	Original Article
68	Casadei-Gardini A, Rimini M, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Atezolizumab plus bevacizumab versus lenvatinib for unresectable hepatocellular carcinoma: a large real-life worldwide population	Eur J Cancer. 2023 Feb;180:9-20. doi: 10.1016/j.ejca.2022.11.017.	Original Article
69	Shaochuan Zhang, Bisei Ohkawara, Mikako Ito, et al.	生体構造医学講座	A mutation in DOK7 in congenital myasthenic syndrome forms aggregates in cultured cells, and reduces DOK7 expression and MuSK phosphorylation in significant association between HLA-B*35:01 and onset of drug-induced liver injury caused by Kampo medicines in Japanese patients	Hum Mol Genet. 2023 Apr 20;32(9):1511-1523.	Original Article
70	Nakamura R, Arakawa N, Tanaka Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Periostin increased by mechanical stress upregulates interleukin-6 expression in the ligamentum flavum	Hepatol Res. 2023 May;53(5):440-449. doi: 10.1111/hepr.13874. Epub	Original Article
71	Yabu A, Suzuki A, Hayashi K, et al.	(PROS)病態生理解析部門	Effect of hormonal therapy on the otoconial changes caused by estrogen deficiency	FASEB J. 2023 Feb;37(2):e22726. doi: 10.1096/fj.202200917RR.	Original Article
72	Takahiro Nakata, Masahiro Okada, Eriko Nishihara, et al.	診療科 耳鼻咽喉科	The use of certolizumab pegol to successfully treat generalized pustular psoriasis combined with psoriatic uveitis	Sci Rep . 2022 Dec 30;12(1):22596. doi: 10.1038/s41598-022-	Original Article
73	Yatsuzuka K, Matsumoto T, Sakane Y, et al.	皮膚科学	Peroral Endoscopic Myotomy for Infantile Esophageal Achalasia: The First Case Treated With an Ultrathin Endoscope	J Dermatol. 2023 Jun;50(6):e175-e176. doi: 10.1111/1346-8138.16704.	Original Article
74	Tomida H, Ikeda Y, Tange K, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Comparison between the CASIA SS-1000 and Pentacam in measuring corneal curvatures and corneal thickness maps	Am J Gastroenterol. 2023 Jan 1;118(1):19. doi: 10.14309/ajg.00000000000000	Original Article
75	Feldman RM, Kim G, Chuang AZ, et al.	眼科学	Anti-inflammatory effects of dopamine on microglia and a D1 receptor agonist ameliorates neuroinflammation of the brain in a rat delirium model	BMC Ophthalmol. 2023 Jan 5;23(1):10. doi: 10.1186/s12886-023-	Original Article
76	Nishikawa Y, Choudhury ME, Mikami K, et al.	診療科 麻酔科蘇生科	Expression of factor XIII originating from synovial fibroblasts and macrophages induced by interleukin-6 signaling	Neurochem Int. 2023 Feb;163:105479. doi: 10.1016/j.neuint.2023.10547	Original Article
77	Watanabe H, Mokuda S, Tokunaga T, et al.	(PROS)病理学部門	Highly concentrated trehalose induces prohealing senescence-like state in fibroblasts via CDKN1A/p21	Inflamm Regen. 2023 Jan 6;43(1):2. doi: 10.1186/s41232-022-	Original Article
78	Muto J, Fukuda S, Watanabe K, et al.	(PROS)細胞増殖・腫瘍制御部門	Potential relationship between high wall shear stress and plaque rupture causing acute coronary syndrome	Commun Biol. 2023 Jan 6;6(1):13. doi: 10.1038/s42003-022-	Original Article
79	Fukuyama Y, Otake H, Seike F, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Interactive effect of serum uric acid and handgrip strength on all-cause mortality among Japanese community-dwelling people	Heart Vessels. 2023 May;38(5):634-644. doi: 10.1007/s00380-022-	Original Article
80	Kawamoto R, Kikuchi A, Ninomiya D, Kumagi T.	地域医療学	Mediators between canagliflozin and renoprotection vary depending on patient characteristics: Insights from the CREDENCE trial	Metabol Open. 2022 Dec 29;17:100227. doi: 10.1016/j.metop.2022.10022	Original Article
81	Doi Y, Hamano T, Yamaguchi S, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Serum Mac-2 Binding Protein Glycosylation Isomer Concentrations Are Associated With Incidence of Type 2 Diabetes	Diabetes Obes Metab. 2023 Oct;25(10):2944-2953. doi: 10.1111/dom.15191. Epub	Original Article
82	Higashioka M, Hirakawa Y, Hata J, et al.	糖尿病内科学	Association between perioperative management of antiplatelet agents and risk of post-endoscopic submucosal dissection bleeding in early gastric cancer: analysis of a cohort study	J Clin Endocrinol Metab. 2023 Jun 16;108(7):e425-e433. doi: 10.1016/j.jcie.2022.12.025.	Original Article
83	Miura Y, Tsuji Y, Yoshio T, et al.	光学医療診療部	Impact of concomitant use of opicapone during levodopa-carbidopa intestinal gel treatment	Gastrointest Endosc. 2023 May;97(5):889-897. doi: 10.1016/j.gie.2022.12.025.	Original Article
84	Miyae N, Ito YH, Ochi C, et al.	診療科 臨床薬理神経内科	Do postoperative infectious complications really affect long-term survival in colorectal cancer surgery? A multicenter retrospective cohort study	J Neurol Sci. 2023 Feb 15;445:120549. doi: 10.1016/j.jns.2023.120549.	Original Article
85	Matsuda A, Maruyama H, Akagi S, et al.	地域低侵襲消化器医療学講座	Analysis of Circulating DNA to Assess Prognoses for Metastatic Colorectal Cancer Patients Treated with Regorafenib Dose-Escalation Therapy: A Retrospective Study	Ann Gastroenterol Surg. 2022 Aug 31;7(1):110-120. doi: 10.1002/ags3.12615.	Original Article
86	Ohta R, Yamada T, Nakamura M, et al.	地域低侵襲消化器医療学講座	Evolution of the Prognostic Nutritional Index: Role of the Prognostic Nutritional Index in Predicting Survival in Advanced Hepatocellular Carcinoma Treated with Atezolizumab Plus Bevacizumab	Digestion. 2023;104(3):233-242. doi: 10.1159/000528283. Epub	Original Article
87	Persano M, Rimini M, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	CMV reactivation after allogeneic HCT is associated with a reduced risk of relapse in acute lymphoblastic leukemia	Oncology. 2023;101(5):283-291. doi: 10.1159/000528818. Epub	Original Article
88	Akahoshi Y, Nakasone H, Takenaka K, et al.	血液・免疫・感染症内科学	Clinical efficacy of Dakenchuto (DK1: 1J-100) for gastrointestinal symptoms in patients with a history of colon and rectocele	Blood Adv. 2023 Jun 27;7(12):2699-2708. doi: 10.1182/bloodadvances.2022	Original Article
89	Sada H, Sawada H, Tokunaga M, et al.	診療科 消化器腫瘍外科	Promotes Microglial Invasion: A Link to Microgliosis in the Parkinson's Disease Brain	Surg Today. 2023 Aug;53(8):873-881. doi: 10.1007/s00595-022-	Original Article
90	Choudhury ME, Ozaki S, Miyae N, et al.	診療科 臨床薬理神経内科		Brain Sci. 2023;13:55. doi: 10.3390/brainsci13010055.	Original Article

91	Ikeda Y, Ako J, Toda K, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Short-Term Outcomes of Impena Support in Japanese Patients With Cardiogenic Shock Due to Acute Myocardial Infarction - Japanese Registry for Percutaneous Coronary Intervention	Circ J. 2023 Apr 25;87(5):588-597. doi: 10.1253/circj.CJ-22-0476.	Original Article
92	Inoue, A., S. Matsumoto, et al.	診療科 脳神経外科	What is the Best Preoperative Quantitative Indicator to Differentiate Primary Central Nervous System Lymphoma from Glioblastoma?	World Neurosurg 172: e517-e523	Original Article
93	Kawasaki E, Shimada A, Imagawa A, et al.	糖尿病内科学	Bivalent GAD autoantibody ELISA improves clinical utility and risk prediction for adult autoimmune diabetes	J Diabetes Investig. 2023 Apr;14(4):570-581. doi: 10.1111/jdi.13980. Epub	Original Article
94	Taniguchi Y, Suemori K, Tanaka K, et al.	疫学・公衆衛生学	Long-term transition of antibody titers in healthcare workers following the first to fourth doses of mRNA COVID-19 vaccine: Comparison of two automated SARS-CoV-2	J Infect Chemother. 2023 May;29(5):534-538. doi: 10.1016/j.jiac.2023.01.007.	Original Article
95	Yamagata H, Tsunedomi R, Kamishikiro Y, et al.	精神神経科学	Interferon signaling and hypercytokinemia-related gene expression in the blood of antidepressant non-responders	Heliyon. 2023 Jan 16;9(1):e13059. doi: 10.1016/j.heliyon.2023.e13059	Original Article
96	Murakami M, Kawakami R, Niko Y, et al.	皮膚科学	Research letter: A new fluorescent three-dimensional and deep-imaging technique for histological identification of individual tumor cells in cryostat: a feasibility study on	Exp Dermatol. 2023; 32(5):712-714.	Original Article
97	Nakanishi T, Saito T, Aoki D, et al.	産科婦人科学	neoadjuvant chemotherapy followed by debulking surgery for clinically diagnosed FIGO stage IVb endometrial cancer: a phase II study (WJOG2319L) to assess the efficacy of osimertinib in patients with EGFR mutation-positive NSCLC in whom systemic disease (T790M-negative)	Int J Clin Oncol. 2023 Mar;28(3):436-444. doi: 10.1007/s10147-022-	Original Article
98	Takeda M, Shimokawa M, Nakamura A, et al.	中央診療施設 腫瘍センター	A phase II study (WJOG2319L) to assess the efficacy of osimertinib in patients with EGFR mutation-positive NSCLC in whom systemic disease (T790M-negative)	Lung Cancer. 2023 Mar;177:44-50. doi: 10.1016/j.lungcan.2023.01.011	Original Article
99	Mukai N, Okada M, Konishi S, et al.	診療科 耳鼻咽喉科	Cricotracheostomy for patients with severe COVID-19: A case control study	Front Surg. 2023 Jan 17;10:1082699. doi: 10.3389/fsurg.2023.1082699.	Original Article
100	Kawasaki M, Arata N, Sugiyama T, et al.	産科婦人科学	Risk of fetal undergrowth in the management of gestational diabetes mellitus in Japan	J Diabetes Investig. 2023 Apr;14(4):614-622. doi: 10.1111/jdi.13977. Epub	Original Article
101	Oie Y, Sugita S, Yokokura S, et al.	地域眼科学	Clinical Trial of Autologous Cultivated Limbal Epithelial Cell Sheet Transplantation for Patients with Limbal Stem Cell Deficiency	Ophthalmology. 2023 Jun;130(6):608-614. doi: 10.1016/j.ophtha.2023.01.011	Original Article
102	Fujii K, Tanaka S, Ishihara M, et al.	中央診療施設 呼吸器センター	Donor's long-term quality of life following living-donor lobar lung transplantation	Clin Transplant. 2023 Apr;37(4):e14927. doi: 10.1111/ctr.14927. Epub	Original Article
103	Ishimaru K, Kakuto H, Yukumi S, et al.	消化器腫瘍外科	Imaging Classification of Constipation	J Anus Rectum Colon. 2023 Jan 25;7(1):25-29. doi: 10.23922/jarc.2022-039.	Original Article
104	Ogi Y, Egi H, Ishimaru K, et al.	消化器腫瘍外科	Cadaveric and CT angiography study of vessels around the transverse colon mesentery	World J Surg Oncol. 2023 Feb 6;21(1):36. doi: 10.1186/s12957-023-	Original Article
105	Fujimura T, Furudate S, Maekawa T, et al.	皮膚科学	Cutaneous angiosarcoma treated with taxane-based chemoradiotherapy: A multicenter study of 90 Japanese cases	Skin Health Dis. 2022 Nov 8;3(1):e180. doi: 10.1002/ski.2180.	Original Article
106	Okazaki M, Suzawa K, Shien K, et al.	中央診療施設 呼吸器センター	Surgical outcome of ipsilateral anatomical resection for lung cancer after pulmonary lobectomy	Eur J Cardiothorac Surg. 2023 Mar 1;63(3):ezad048. doi: 10.1093/ejcts/ezad048.	Original Article
107	Kumagi T, Terao T, Kuroda T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Patients with Chronic Liver Disease under Surveillance for Hepatocellular Carcinoma Have a Favorable Long-Term Outcome for Resectable Cancer Due to Early Diagnosis	Cancers (Basel). 2023 Jan 17;15(3):561. doi: 10.3390/cancers15030561.	Original Article
108	Kanemitsu-Okada K, Abe M, Nakamura Y, et al.	地域生活習慣病・内分泌学	Role of B Cell-Activating Factor in Fibrosis Progression in a Murine Model of Non-Alcoholic Steatohepatitis	Int J Mol Sci. 2023 Jan 28;24(3):2509. doi: 10.3390/ijms24032509.	Original Article
109	Konishi, T., Sadato, et al.	血液・免疫・感染症内科学	Impact of gene alterations on clinical outcome in young adults with myelodysplastic syndromes.	Sci Rep. 13(1): 2641, 2023 Feb	Original Article
110	Toshimori W, Matsuda M, Tsuda T, et al.	診療科 放射線科	Comparisons of Hepatobiliary Phase Imaging Using Combinations of Parallel Imaging and Variable Degrees of Compressed Sensing With Use of Parallel Imaging Alone	J Comput Assist Tomogr. 2023 Jul-Aug 01;47(4):524-529. doi: 10.1007/s11404-023-00529-0	Original Article
111	Sanada S, Maekawa M, Tate S, et al.	(PROS)細胞増殖・腫瘍制御部門	SPOP is essential for DNA replication licensing through maintaining translation of CDT1 and CDC6 in HaCaT cells	Biochem Biophys Res Commun. 2023 Apr 9;651:30-38. doi: 10.1016/j.bbrc.2023.03.038.	Original Article
112	Yamamoto T, Kurata M, Kaneko N, Masumoto J.	(PROS)病理学部門	Intestinal edema induced by LPS-induced endotoxemia is associated with an inflammasome adaptor ASC	PLoS One. 2023 Feb 17;18(2):e0281746. doi: 10.1371/journal.pone.0281746	Original Article
113	Kiyoi T, Liu S, Takemasa E, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Intermittent environmental exposure to hydrogen prevents skin photoaging through reduction of oxidative stress	Geriatr Gerontol Int. 2023 Apr;23(4):304-312. doi: 10.1111/ggi.14562. Epub	Original Article
114	Makita K, Hamamoto Y, Kanzaki H, et al.	診療科 放射線科	Factors Affecting Survival and Local Control in Patients with Bone Metastases Treated with Radiotherapy	Med Sci (Basel). 2023 Feb 3;11(1):17. doi: 10.3390/medsci11010017.	Original Article
115	Hosokawa T, Kawakami H, Tanabe Y, et al.	診療科 放射線科	Left atrial strain assessment using cardiac computed tomography in patients with hypertrophic cardiomyopathy	Jpn J Radiol. 2023 Aug;41(8):843-853. doi: 10.1007/s11604-023-	Original Article
116	Edahiro A, Okamura T, Arai T, et al.	地域健康システム看護学	Initial symptoms of early-onset dementia in Japan: nationwide survey	Psychogeriatrics. 2023 May;23(3):422-433. doi: 10.1111/psyg.12949. Epub	Original Article
117	Kawano T, Aiba M, Ishizu M, et al.	糖尿病内科学	Molecular composition of adiponectin in urine is a useful biomarker for detecting early stage of diabetic kidney disease	J Med Invest. 2023;70(3.4):464-470. doi: 10.2152/jmi.70.464.	Original Article
118	Al Mahtab M, Akbar SMF, Aguilar JC, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Safety, efficacy, antiviral capacity, and liver protection of a nasal therapeutic vaccine in patients with chronic hepatitis B: Five-year follow-up of a phase IIb randomized controlled trial	Front Med (Lausanne). 2023 Feb 8;10:1032531. doi: 10.3389/fmed.2023.1032531.	Original Article
119	Ikeda N, Kubota H, Suzuki R, et al.	免疫学	Immature myeloid dendritic cells aberrantly differentiate into immunoregulatory monocytes during	Cell Rep. 2023 Mar 28;42(3):112165. doi: 10.1016/j.celrep.2023.112165	Original Article
120	Izawa M, Tanaka N, Murakami T, et al.	分子病態医学	Single-Cell Phenotyping of CD73 Expression Reveals the Diversity of the Tumor Immune Microenvironment and Reflects the Prognosis of Bladder Cancer	Lab Invest. 2023 Apr;103(4):100040. doi: 10.1016/j.labinv.2022.100040	Original Article
121	Maki K, Ohara T, Hata J, et al.	精神神経科学	CKD, Brain Atrophy, and White Matter Lesion Volume: The Japan Prospective Studies Collaboration for Aging and Dementia	Kidney Med. 2022 Dec 23;5(3):100593. doi: 10.1016/j.xkme.2022.100593.	Original Article

122	Ochi H, Hiraoka A, Tanaka T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical role of radiofrequency ablation for early-stage hepatocellular carcinoma in an advanced aging society	Hepatol Res. 2023 Jul;53(7):641–648. doi: 10.1111/hepr.13896. Epub	Original Article
123	Ikeda Y, Kawamura R, Takata Y, et al.	中央診療施設 検査部	Resistin G-A haplotype at SNP-420/-358 is associated with the latent sarcopenic obesity index in the toon genome study	J Diabetes Investig. 2023 May;14(5):686–694. doi: 10.1111/jdi.13998. Epub	Original Article
124	Kinoshita M, Saito M, Inoue K, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Role of the right ventricular contractile reserve during low-load exercise in predicting heart failure readmission	J Cardiol. 2023 Jul;82(1):43–50. doi: 10.1016/j.jicc.2023.03.001.	Original Article
125	Otsuru M, Yanamoto S, Yamada SI, et al.	口腔顎顔面外科学	Radiotherapy Plus Cetuximab for Squamous Cell Carcinoma of the Oral Cavity: A Multicenter Retrospective Study of 79 Patients in Japan	Int J Environ Res Public Health. 2023 Mar 3;20(5):4545. doi:	Original Article
126	Saeki N, Imai Y.	医科学研究支援部門	Isolation and Culture of Primary Synovial Macrophages and Fibroblasts from Murine Arthritis Tissue	J Vis Exp. 2023 Feb 24;(192). doi: 10.3791/65196.	Original Article
127	Kawamoto R, Kikuchi A, Ninomiya D, Kumagi T.	地域医療学	Change in Serum Uric Acid is a Useful Predictor of All-Cause Mortality among Community-Dwelling Persons	Int J Anal Chem. 2023 Mar 4;2023:7382320. doi: 10.1155/2023/7382320.	Original Article
128	Sonoda R, Kuramoto E, Minami S, et al.	脳神経内科・老年医学	Reduced Autophagy in Aged Trigeminal Neurons Causes Amyloid β Diffusion	J Dent Res. 2023 Jul;102(8):938–946. doi: 10.1177/0022034523115609	Original Article
129	Rimini M, Persano M, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Rear-world Data for Atezolizumab Plus Bevacizumab in Unresectable Hepatocellular Carcinoma: How Does Adherence to the IMbrave150 Trial Inclusion Criteria Impact Treatment for taxane-resistant cutaneous angiosarcoma: A multicenter study of 50 Japanese cases	Target Oncol. 2023 Mar;18(2):221–233. doi: 10.1007/s11523-023-	Original Article
130	Fujimura T, Maekawa T, Kato H, et al.	皮膚科学	Treatment for taxane-resistant cutaneous angiosarcoma: A multicenter study of 50 Japanese cases	J Dermatol. 2023 Jul;50(7):912–916. doi: 10.1111/1346-8138.16786.	Original Article
131	Hashine K, Yamashita N, Tachou T, et al.	泌尿器科学	Radical prostatectomy trends between 2010 and 2020 in Ehime, Japan, identified using data from the Medical Investigation Cancer Network (MIGAN) study	Int J Urol. 2023 Jun;30(6):547–553. doi: 10.1111/iju.15178. Epub	Original Article
132	Kinoshita T, Hino K, Kutsuna T, et al.	整形外科	Progression of varus deformity in osteoarthritic knees induces anterior paradoxical motion of the femur during early knee flexion	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2023 Sep;31(9):3898–3905. doi:	Original Article
133	Shiba T, Yamakawa M, Endo Y, et al.	地域健康システム看護学	Communication-related experiences of individuals in the early phase of semantic dementia and their families: an interview study	Psychogeriatrics. 2023 May;23(3):466–474. doi: 10.1111/psyg.12956. Epub	Original Article
134	Takagi T, Mitani S, Aoishi K, et al.	診療科 耳鼻咽喉科	Development of a proficiency-based training curriculum for beginners in endoscopic endonasal surgery	Auris Nasus Larynx. 2023 Dec;50(6):887–894. doi: 10.1016/j.anl.2023.03.002.	Original Article
135	Kato H, Saeki N, Imai M, et al.	産科婦人科学	LIM1 contributes to the malignant potential of endometrial cancer	Front Oncol. 2023 Mar 10;13:1082441. doi: 10.3389/fonc.2023.1082441.	Original Article
136	Higaki A, Watanabe Y, Akazawa Y, et al.	難病・高齢医療学講座	Automated categorization of virtual reality studies in cardiology based on the device usage: a bibliometric analysis (2010–2022)	Eur Heart J Digit Health. 2023 Feb 2;4(2):119–124. doi: 10.1093/ehjdh/ztd008.	Original Article
137	Rimini M, Persano M, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Survival outcomes from atezolizumab plus bevacizumab versus Lenvatinib in Child Pugh B unresectable hepatocellular carcinoma	J Cancer Res Clin Oncol. 2023 Aug;149(10):7565–7577. doi: 10.1007/s00432-	Original Article
138	Nandate H, Takasaki Y, Nakata Y, et al.	中央診療施設 集中治療部	Incidence and characteristics of early elevation of cardiac troponin I after intrathoracic surgery: A single-center retrospective observational study	Medicine (Baltimore). 2023 Mar 31;102(13):e33361. doi: 10.1097/MD.000000000000033	Original Article
139	Kawamoto R, Kikuchi A, Ninomiya D, et al.	地域医療学	Serum uric acid to creatinine ratio is a useful predictor of all-cause mortality among hypertensive patients	Clin Hypertens. 2023 Apr 1;29(1):10. doi: 10.1186/s40885-023-	Original Article
140	Hayashi Y, Nakayama J, Yamamoto M, et al.	(PROS)細胞増殖・腫瘍制御部門	Aberrant accumulation of NIK promotes tumor growth by dysregulating translation and post-translational modifications in hepatocellular carcinoma	Cancer Cell Int. 2023 Apr 1;23(1):57. doi: 10.1186/s12935-023-	Original Article
141	Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Association of proton pump inhibitor and antibiotic use with the clinical outcomes of hepatocellular carcinoma patients receiving atezolizumab and bevacizumab: A retrospective study	Hepatol Res. 2023 Aug;53(8):737–748. doi: 10.1111/hepr.13905. Epub	Original Article
142	Kato M, Okada Y, Nakano W, et al.	脳神経内科・老年医学	Bioimpedance phase angle is independently associated with myosteatosis: The Shizuoka study	Clin Nutr. 2023 May;42(5):793–799. doi: 10.1016/j.clnu.2023.03.016.	Original Article
143	Okamoto M, Omori-Miyake M, Kuwahara M, et al.	免疫学	The Inhibition of Glycolysis in T Cells by a Jak Inhibitor Ameliorates the Pathogenesis of Allergic Contact Dermatitis in Mice	J Invest Dermatol. 2023 Oct;143(10):1973–1982.e5. doi:	Original Article
144	Takeda H, Nakajima Y, Yamaguchi T, et al.	分子細胞生理学	The anti-inflammatory and anti-oxidative effect of a classical hypnotic bromovalerylurea mediated by the activation of NRE2	J Biochem. 2023 Jul 31;174(2):131–142. doi: 10.1093/jb/mvad030.	Original Article
145	Edahiro Y, Ochiai T, Hashimoto Y, et al.	輸血・細胞治療部	Clinical characteristics of Japanese patients with myelodysplastic/myeloproliferative neoplasm with ring sideroblasts and thrombocytosis	Int J Hematol. 2023 Jul;118(1):47–53. doi: 10.1007/s12185-023-	Original Article
146	Makita K, Kanzaki H, Hamamoto Y, et al.	地域小児・周産期学	Prognostic assessment of patients who receive radiotherapy for bone metastases from breast cancer	Oncol Lett. 2023 Mar 28;25(5):188. doi: 10.3892/ol.2023.13775.	Original Article
147	Noda H, Suzuki J, Matsuoka Y, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	The histone demethylase Utx controls CD8(+) T-cell-dependent antitumor immunity via epigenetic regulation of the effector function	Cancer Sci. 2023 Jul;114(7):2787–2797. doi: 10.1111/cas.15814. Epub	Original Article
148	Tabara Y, Okada Y, Ochi M, et al.	脳神経内科・老年医学	Associations between adiponectin and leptin levels and skeletal muscle mass and myosteatosis in older adults: The Shimanami Health Promoting Program study	Geriatr Gerontol Int. 2023 Jun;23(6):444–449. doi: 10.1111/ggi.14582. Epub	Original Article
149	Tanaka M, Nakamura S, Sakaue T, et al.	(PROS)細胞増殖・腫瘍制御部門	BCL6B Contributes to Ocular Vascular Diseases via Notch Signal Silencing	Arterioscler Thromb Vasc Biol. 2023 Jun;43(6):927–942. doi:	Original Article
150	Komine-Aizawa S, Yamada N, Haruyama Y, et al.	産科婦人科学	The Factors Influencing Pregnant Women's Selection of Media Sources to Obtain Information on COVID-19 in Japan in 2021	Vaccines (Basel). 2023 Apr 6;11(4):805. doi: 10.3390/vaccines11040805.	Original Article
151	Ushida T, Katayama Y, Hiasa Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Mirogabalin for Central Neuropathic Pain: A Multinational, Phase 3, 52-Week, Open-Label Study in Acidic exercise	Pain Ther. 2023 Aug;12(4):963–978. doi: 10.1007/s40122-023-	Original Article
152	Yamamoto Y, Furukawa S, Miyake T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Exercise habits that include exercise partners and irritable bowel syndrome in a young Japanese population: a cross-sectional study	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2023 Jun 1;35(6):641–645. doi:	Original Article

153	Kensuke Yoshida, Shinichi Watanabe, Naoto Hoshino, et al.	薬剤部	Hospital pharmacist interventions for the management of oral mucositis in patients with head and neck cancer receiving chemotherapy: a multicenter	Support Care Cancer . 2023 May 3;31(5):316. doi: 10.1007/s00520-023-	Original Article
154	Kumon H, Yoshino Y, Ozaki T, et al.	精神神経科学	Gestational exposure to haloperidol changes Cdkn1a and Apaf1 mRNA expressions in mouse hippocampus	Brain Res Bull. 2023 Jul;199:110662. doi: 10.1016/j.brainresbull.2023.1	Original Article
155	Khan S, Takeuchi A, Nabeka H, et al.	生体構造医学	Administration of prosaposin-derived neurotrophic factor to neural tube defects facilitates regeneration and restores neurological functions	iScience. 2023 Feb 28;26(4):106277. doi: 10.1016/j.isci.2023.106277.	Original Article
156	Inaba S, Nakao Y, Ikeda S, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Simple Symptom-Based Prediction of COVID-19: A Single-Center Study of Outpatient Fever Clinic in Japan	Cureus. 2023 Mar 24;15(3):e36614. doi: 10.7759/cureus.36614.	Original Article
157	Nakao Y, Kawakami H, Miyazaki S, et al.	診療科 第二内科	Evaluation of health utility in trial-based cost-utility analyses for major cardiovascular disease: protocol for a systematic review	BMJ Open. 2023 May 9;13(5):e067045. doi: 10.1136/bmjopen-2022-	Original Article
158	Kobayashi D, Mami K, Fujishiro S, et al.	精神神経科学	Online training of Covid-19 infection prevention and control for healthcare workers in psychiatric institutes	BMC Psychiatry. 2023 May 9;23(1):325. doi: 10.1186/s12888-023-	Original Article
159	Nakamura J, Kamao T, Mitani A, et al.	視機能再生学	Accuracy of the Lacrimal Syringing Test in Relation to Dacryocystography and Dacryoendoscopy	Clin Ophthalmol. 2023 May 3;17:1277-1285. doi: 10.2147/OPTH.S409662.	Original Article
160	Shiraishi K, Tohyama M, Sayama K.	皮膚科学	Topical steroid-induced prurigo-like folliculitis in children: a case series of 10 patients	Eur J Dermatol. 2023 Feb 1;33(1):43-45. doi: 10.1684/ejd.2023.4412.	Original Article
161	Nishikawa T, Miyoshi T, Inoue K, et al.	中央診療施設 睡眠医療センター	Tendon Cord Rupture of Tricuspid Valve During Chemotherapy for Primary Cardiac Diffuse Large B-Cell Lymphoma	Circ Rep. 2023 Apr 18;5(5):229-230. doi: 10.1253/circrep.CR-23-	Original Article
162	Konishi F, Miyake T, Watanabe T, et al.	地域医療学	Association of abnormal glucose tolerance with liver-related disease and cardiovascular diseases in patients with chronic hepatitis C	Hepatol Res. 2023 Sep;53(9):806-814. doi: 10.1111/hepr.13925. Epub	Original Article
163	Takata N, Miyagawa M, Okada T, et al.	診療科 放射線科	Effect of preparation method for radioactive iodine therapy on serum electrolytes.	Jpn J Radiol. 2023 Nov;41(11) : 1247-1254.doi: 10.1007/s11604-023-	Original Article
164	Yoshida K, Tanabe Y, Nishiyama H, et al.	整形外科科学	Feasibility of Bone Mineral Density and Bone Microarchitecture Assessment Using Deep Learning With a Convolutional Neural Network	J Comput Assist Tomogr. 2023 May-Jun 01;47(3):467-474. doi: 10.1007/s11604-023-	Original Article
165	Kakuda T, Suzuki J, Matsuoka Y, et al.	泌尿器科学	Senescent CD8(+) T cells acquire NK cell-like innate functions to promote antitumor immunity	Cancer Sci. 2023 Jul;114(7):2810-2820. doi: 10.1111/cas.15824. Epub	Original Article
166	Morikawa T, Takahashi M, Izumi Y, et al.	診療科 脳神経内科	Oleic Acid-Containing Phosphatidylinositol Is a Blood Biomarker Candidate for SPG28	Biomedicines. 2023 Apr 4;11(4):1092. doi: 10.3390/biomedicines110410	Original Article
167	Murata S, Yamashita H, Kido S, et al.	救急医学	DYNAMIC METABOLIC CHANGES OBSERVED IN AN LPS-INDUCED SYSTEMIC INFLAMMATION RAT MODEL USING CONTINUOUS LONG-TERM Human TMLM2 is not a catalytic	Shock. 2023 Jul 1;60(1):130-136. doi: 10.1097/SHK.0000000000000000	Original Article
168	Sato S, Miyazaki M, Fukuda S, et al.	(PROS)細胞増殖・腫瘍制御部門	hyaluronidase, but a regulator of hyaluronan metabolism via HYBID (KIAA1199/CEMIP) and HAS2 expression	J Biol Chem. 2023 Jun;299(6):104826. doi: 10.1016/j.jbc.2023.104826.	Original Article
169	Hiraoka A, Ohama H, Tada F, et al.	地域生活習慣病・内分泌学	Simple method for predicting muscle volume loss using geriatric nutritional risk index in hepatocellular carcinoma patients	J Cachexia Sarcopenia Muscle. 2023 Aug;14(4):1906-1911. doi: 10.1016/j.csm.2023.100000	Original Article
170	Mori H, Yoshino Y, Iga JI, et al.	精神神経科学	Aberrant Expression of GABA-Related Genes in the Hippocampus of 3xTg-AD Model Mice from the Early to End Stages of Alzheimer's Disease	J Alzheimers Dis. 2023;94(1):177-188. doi: 10.3233/JAD-230078.	Original Article
171	Makita K, Hamamoto Y, Kanzaki H, et al.	診療科 放射線科	Factors affecting local control of bone metastases from radioresistant tumors treated with palliative external beam radiotherapy	Discov Oncol. 2023 May 22;14(1):74. doi: 10.1007/s12672-023-	Original Article
172	Nishikawa Y, Ikeda Y, Murakami H, et al.	光学医療診療部	mucosal patterns change after Helicobacter pylori eradication: Evaluation using blue laser imaging in patients with atrophic gastritis	World J Gastroenterol.2023 May 7;29(17):2657-2665.doi: 10.3748/wjg.v29.i17.2657.	Original Article
173	Murai J, Ceribelli M, Fu H, et al.	(PROS)細胞増殖・腫瘍制御部門	Schlafen 11 (SLFN11) Kills Cancer Cells Undergoing Unscheduled Re-replication	Mol Cancer Ther. 2023 Aug 1;22(8):985-995. doi: 10.1158/1535-7163.MCT-2023-0000	Original Article
174	Onitsuka T, Okada T, Hasegawa N, et al.	精神神経科学	Combination Psychotropic Use for Schizophrenia With Long-Acting Injectable Antipsychotics and Oral Antipsychotics: A Nationwide Real-World Study in Japan	J Clin Psychopharmacol. 2023 Jul-Aug 01;43(4):365-368. doi: 10.1097/JCP.0000000000000000	Original Article
175	Shirabe Matsumoto, Hirotohi Imamura, Ariel Takayanagi, et al.	診療科 脳神経外科	First-in-human trial of Center Wire for neuroendovascular therapy to avoid guidewire-related complications	Interv Neuroradiol.	Original Article
176	Inaba S, Yamamoto K, Kaga T, et al.	地域胸部疾患治療学講座	Protocol for development of an assessment tool for competency of ECG interpretation: expert consensus by the RAND/UCLA appropriateness method and cross-sectional	BMJ Open. 2023 May 23;13(5):e072097. doi: 10.1136/bmjopen-2023-	Original Article
177	Otani M, Shiino T, Hachiya A, et al.	地域医療支援センター	Association of demographics, HIV co-infection, HIV-1 subtypes and genetic clustering with late HIV diagnosis: a retrospective analysis from the Japanese	J Int AIDS Soc. 2023 May;26(5):e26086. doi: 10.1002/jia2.26086.	Original Article
178	Ohata H, Shiokawa D, Sakai H, et al.	先端医療創生センター	PROX1 induction by autophagosomal activity stabilizes persister-like state of colon cancer via feedback repression of the NOX1-TORC1 pathway	Cell Rep. 2023 Jun 27;42(6):112519. doi: 10.1016/j.celrep.2023.11251	Original Article
179	Sugihara T, Yoshifuji H, Uchida HA, et al.	診療科 第一内科	Establishing clinical remission criteria for giant cell arteritis: Results of a Delphi exercise carried out by an expert panel of the Japan Research Committee of the	Mod Rheumatol. 2023 May 24;road046. doi: 10.1093/mr/road046. Online	Original Article
180	Nakanishi N, Otake Y, Hiasa Y, et al.	整形外科科学	Decomposition of musculoskeletal structures from radiographs using an improved CycleGAN framework	Sci Rep. 2023 May 25;13(1):8482. doi: 10.1038/s41598-023-	Original Article
181	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Impact of first-line systemic therapy with atezolizumab plus bevacizumab in patients with hepatocellular carcinoma	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Aug;38(8):1389-1397. doi: 10.1111/jgh.16225. Epub	Original Article
182	Ogura M, Yamamoto K, Morishima Y, et al.	臨床腫瘍学	Long-term follow-up after R-High CHOP/CHASER/LEED with Auto-PBSCT in untreated mantle cell lymphoma-Final analysis of JCOG0406	Cancer Sci. 2023 Aug;114(8):3461-3465. doi: 10.1111/cas.15849. Epub	Original Article
183	Terui T, Okubo Y, Kobayashi S, et al.	皮膚科学	Efficacy and safety of Apremilast for the Treatment of Japanese Patients with Palmoplantar Pustulosis: Results from a Phase 2, Randomized, Placebo-Controlled	Am J Clin Dermatol. 2023 Sep;24(5):837-847. doi: 10.1007/s40257-023-	Original Article

184	Watanabe R, Miura N, Kurata M, et al.	泌尿器科学	Spatial Gene Expression Analysis Reveals Characteristic Gene Expression Patterns of De Novo Neuroendocrine Prostate Cancer Coexisting with Androgen Receptor Pathway	Int J Mol Sci. 2023 May 18;24(10):8955. doi: 10.3390/ijms24108955.	Original Article
185	Al-Mahtab M, Akbar SMF, Yoshida O, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Antiviral response across Genotypes after Treatment of Chronic Hepatitis B Patients with the Therapeutic Vaccine NASVAC or Pooled Interferon	Vaccines (Basel). 2023 May 9;11(5):962. doi: 10.3390/vaccines11050962.	Original Article
186	Koizumi S, Okada Y, Miura S, et al.	脳神経先端医学講座	Ingestion of a collagen peptide containing high concentrations of prolyl-hydroxyproline and hydroxyprolyl-glycine reduces advanced glycation end products levels in the skin and	Biosci Biotechnol Biochem. 2023 Jul 24;87(8):883-889. doi: 10.1093/bbb/zbad065.	Original Article
187	Furukawa S, Takeshita E, Miyake T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Disease activity and erectile dysfunction in Japanese patients with ulcerative colitis	Sex Med. 2023 May 26;11(2):qfad024. doi: 10.1093/sexmed/qfad024.	Original Article
188	Imamura T, Kinugawa K, Nishimura T, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Novel Scoring System to Risk Stratify Patients Receiving Durable Left Ventricular Assist Device From J-MACS Registry Data	Circ J. 2023 Jul 25;87(8):1103-1111. doi: 10.1253/circj.CJ-23-0264.	Original Article
189	Inoue, A., H. Watanabe, et al.	診療科 脳神経外科	Clinical utility of new bone imaging using zero-echo-time sequence in neurosurgical procedures: Can zero-echo-time be used in clinical practice in neurosurgery?	Neuroradiol J 36(3): 289-296	Original Article
190	Nakaya Y, Higaki A, Yamaguchi O.	難病・高齢医療学講座	ChatGPT's ability to classify virtual reality studies in cardiology	Eur Heart J Digit Health. 2023 Apr 17;4(3):141-142. doi: 10.1093/ehjdh/ztd026.	Original Article
191	Watanabe T, Tokumoto Y, Joko K, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Simple new clinical score to predict hepatocellular carcinoma after sustained viral response with direct-acting antivirals	Sci Rep. 2023 Jun 2;13(1):8992. doi: 10.1038/s41598-023-	Original Article
192	Tomioka Y, Tanaka S, Otani S, et al.	中央診療施設 呼吸器センター	Elderly lung transplant recipients show acceptable long-term outcomes for lung transplantation: A propensity score-matched analysis	Surg Today. 2023 Nov;53(11):1286-1293. doi: 10.1007/s00595-023-	Original Article
193	Mózes FE, Lee JA, Vali Y, et al.	総合診療サポートセンター	Performance of non-invasive tests and histology for the prediction of clinical outcomes in patients with non-alcoholic fatty liver disease: an individual participant	Lancet Gastroenterol Hepatol. 2023 Aug;8(8):704-713. doi: 10.1016/S2468-	Original Article
194	Nagaoka T, Ogawa K, Sakamoto K, et al.	疫学・公衆衛生学	The impact of cystic duct tube on the onset time of postoperative bile leakage after hepatectomy: A propensity score-matched analysis	Asian J Surg. 2023 Dec;46(12):5444-5448. doi: 10.1016/j.asjsur.2023.05.112.	Original Article
195	Hiraoka A, Kumada T, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Geriatric nutritional risk index as an easy-to-use assessment tool for nutritional status in hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab	Hepatol Res. 2023 Oct;53(10):1031-1042. doi: 10.1111/hepr.13934. Epub	Original Article
196	Hiraoka A, Kumada T, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Lenvatinib as Second-Line Treatment after Atezolizumab plus Bevacizumab for Unresectable Hepatocellular Carcinoma: Clinical Results Show Importance of Hepatic	Oncology. 2023;101(10):624-633. doi: 10.1159/000531316. Epub	Original Article
197	Takeuchi A, Tsuchiya H, Setsu N, et al.	整形外科	What Are the Complications, Function, and Survival of Tumor-devitalized Autografts Used in Patients With Limb-sparing Surgery for Bone and Soft Tissue Tumors? A	Clin Orthop Relat Res. 2023 Nov 1;481(11):2110-2124. doi:	Original Article
198	Kaneko K, Tsutsumi S, Fujita D, et al.	地域小児・周産期学	intravenous immunoglobulin treatment for obstetric antiphospholipid syndrome refractory to conventional therapy: a single-arm and open-labelled multicentre clinical	Mod Rheumatol. 2023 Jun 21:road062. doi: 10.1093/mr/road062. Online	Original Article
199	Kochi K, Sei H, Tanabe Y, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	The dynamics of deglutition during head rotation using dynamic 320-row area detector computed tomography	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2023 May 25;8(3):746-753. doi:	Original Article
200	Kawakami H, Saito M, Fujisawa T, et al.	診療科 第二内科	A cost-effectiveness analysis of remote monitoring after pacemaker implantation for bradycardia in Japan	J Cardiol. 2023 Nov;82(5):388-397. doi: 10.1016/j.jjcc.2023.06.003.	Original Article
201	Tasaka T, Inaba S, Kono T, et al.	地域胸部疾患治療学疾患医療学	Fatal Disease Causing Secondary Pericarditis	Circ J. 2023 Feb 24;87(3):466. doi: 10.1253/circj.CJ-22-0602.	Original Article
202	Yamada H, Deguchi M, Saito S, et al.	地域小児・周産期学	High doses of intravenous immunoglobulin stimulate regulatory T cell and suppress natural killer cell in women with recurrent preterm losses	J Reprod Immunol. 2023 Aug;158:103977. doi: 10.1016/j.jri.2023.103977.	Original Article
203	Fujiwara T, Shien K, Matsuura M, et al.	先進呼吸器外科学講座	EGFR mutation is a prognostic factor in Lung Cancer Patients with Pleural Dissemination Detected During or After Surgery	Ann Surg Oncol. 2023 Oct;30(11):6697-6702. doi: 10.1245/s10434-023-	Original Article
204	Kato T, Miyoshi S, Hamada C, et al.	中央診療施設 呼吸器センター	Associations between Comorbidities and Acute Exacerbation of Interstitial Lung Disease after Primary Lung Cancer Surgery	Acta Med Okayama. 2023 Jun;77(3):301-309. doi: 10.18926/AMO/65495.	Original Article
205	Matsunuma M, Kan R, Yamada Y, et al.	医化学・細胞生物学	Chain-specificity of laminin α 1-5 LG45 modules in the recognition of carbohydrate-linked receptors and intramolecular binding	Sci Rep. 2023 Jun 27;13(1):10430. doi: 10.1038/s41598-023-	Original Article
206	Saitou T, Imamura T.	分子病態医学	Extended Depth of Focus Two-Photon Light-Sheet Microscopy for In Vivo Fluorescence Imaging of Large Multicellular Organisms at Cellular Resolution	Int J Mol Sci. 2023 Jun 15;24(12):10186. doi: 10.3390/ijms241210186.	Original Article
207	Hashimoto N, Yasui-Furukori N, Hasegawa N, et al.	精神神経科学	Change of prescription for patients with schizophrenia or major depressive disorder during admission: real-world prescribing survey from the effectiveness of guidelines sequential therapies after atezolizumab plus	BMC Psychiatry. 2023 Jun 28;23(1):473. doi: 10.1186/s12888-023-	Original Article
208	Persano M, Rimini M, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	bevacizumab or lenvatinib first-line treatments in hepatocellular carcinoma patients	Eur J Cancer. 2023 Aug;189:112933. doi: 10.1016/j.ejca.2023.05.021.	Original Article
209	Miyoshi T, Izutani H, Yamaguchi O.	中央診療施設 睡眠医療センター	Pathologic findings of aortic valve leaflet injury via IMPELLA insertion	Eur Heart J. 2023 Mar 7;44(10):902. doi: 10.1093/eurheartj/ehac806.	Original Article
210	Hirooka M, Koizumi Y, Nakamura Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	B-mode shear wave elastography can be an alternative method to vibration-controlled transient elastography according to a moderate-scale population study	J Med Ultrason (2001). 2023 Oct;50(4):473-483. doi: 10.1007/s10396-023-	Original Article
211	Ueda K, Murase T, Kawakita D, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	The Landscape of MYB/MYBL1- and Peri-MYB/MYBL1-Associated Rearrangements in Adenoid Cystic Carcinoma	Mod Pathol. 2023 Oct;36(10):100274. doi: 10.1016/j.modpat.2023.1002	Original Article
212	Yamamoto S, Higaki A.	中央診療施設 腫瘍センター	Visual Turing test is not sufficient to evaluate the performance of medical generative models	Eur Radiol Exp. 2023 Jul 10;7(1):31. doi: 10.1186/s41747-023-	Original Article
213	Hadate T, Kawamura R, Tabara Y, et al.	中央診療施設 検査部	Positive association between serum resistin and smoking was strongest in homozygotes of the G-A haplotype at c.-420 C>G and G-358 C>A in RETN promoter: the T500	J Hum Genet. 2023 Nov;68(11):745-750. doi: 10.1038/s10038-023-	Original Article
214	Nishio M, Atagi S, Goto K, et al.	地域胸部疾患治療学講座	biomarker analysis of the phase II T500 study comparing erlotinib with or without bevacizumab in first-line advanced EGFR(+)/non-small-cell lung cancer	Transl Lung Cancer Res. 2023 Jun 30;12(6):1167-1184. doi: 10.21037/tlcr-22-	Original Article

215	Edahiro Y, Kirito K, Gotoh A, et al.	血液・免疫・感染症内科学	A cross-sectional survey of symptoms and daily living among patients with polycythemia vera and their treating physicians in Japan.	Hematology. 2023 Dec;28(1):2227817. doi: 10.1080/16078454.2023.222	Original Article
216	Hirabayashi N, Honda T, Hata J, et al.	精神神経科学	Association Between Frequency of Social Contact and Brain Atrophy in Community-Dwelling Older People Without Dementia: The IPSC-AD Study.	Neurology. 2023 Sep 12;101(11):e1108-e1117. doi: 10.1212/WNL.00000000000020	Original Article
217	Toyama K, Spin JM, Tsao PS, et al.	糖尿病内科学	Serum microRNA-501-3p is a potential diagnostic tool for detecting mild cognitive impairment: Ehime genome study	J Neurochem. 2023 Sep;166(6):960-971. doi: 10.1111/jnc.15911. Epub	Original Article
218	Dai X, Shiraishi K, Muto J, et al.	皮膚科学	Nuclear IL-33 Plays an Important Role in EGFR-Mediated Keratinocyte Migration by Regulating the Activation of Signal Transducing Inhibitor of Transcription 2	JID Innov. 2023 Apr 28;3(4):100205. doi: 10.1016/j.xjidi.2023.100205.	Original Article
219	Matsumoto H, Annen S, Mukai N, et al.	救急医学	Associated with Chronological Coagulofibrinolytic Responses and the Development of Disseminated Intravascular	J Clin Med. 2023 Jun 29;12(13):4386. doi: 10.3390/jcm12134386.	Original Article
220	Kubo A, Matsubara K, Matsubara Y, et al.	産科婦人科学	The Influence of Nicotine on Trophoblast-Derived Exosomes in a Mouse Model of Pathogenic Preeclampsia	Int J Mol Sci. 2023 Jul 5;24(13):11126. doi: 10.3390/ijms241311126.	Original Article
221	Ohama H, Hiraoka A, Tada F, et al.	地域生活習慣病・内分泌学	Usefulness of aMIR Risk Score for Predicting Recurrence after Curative Treatment for Hepatocellular Carcinoma within Milan Criteria	Oncology. 2023;101(9):575-583. doi: 10.1159/000530987. Epub	Original Article
222	Harada Y, Mizote Y, Suzuki T, et al.	(PROS)細胞増殖・腫瘍制御部門	Metabolic clogging of mannose triggers dNTP loss and genomic instability in human cancer cells	Elife. 2023 Jul 18;12:e83870. doi: 10.7554/eLife.83870.	Original Article
223	Shide K, Takenaka K, Kitanaka A, et al.	血液・免疫・感染症内科学	Nationwide prospective survey of secondary myelofibrosis in Japan: superiority of DIPSS-plus to MYSEC-PM as a survival risk model	Blood Cancer J. 2023 Jul 19;13(1):110. doi: 10.1038/s41408-023-	Original Article
224	Liu C, Cao Z, Yan H, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Correction to: A Novel SAVE Score to Stratify Decompensation Risk in Compensated Advanced Chronic Liver Disease (CHESS2102): An International	Am J Gastroenterol. 2023 Jul 20. doi: 10.14309/ajg.00000000000000	Original Article
225	Dajti E, Ravaioli F, Zykus R, et al.	総合診療サポートセンター	Accuracy of spleen stiffness measurement for the diagnosis of clinically significant portal hypertension in patients with compensated advanced chronic liver disease: a systematic	Lancet Gastroenterol Hepatol. 2023 Sep;8(9):816-828. doi: 10.1016/S2468-	Original Article
226	Kario K, Hoshide S, Mogi M, et al.	地域消化器免疫医療学講座	What impacts do the new ESH 2023 guidelines have on the management of hypertension in Japan?	Hypertens Res. 2023 Oct;46(10):2257-2261. doi: 10.1038/s41440-023-	Original Article
227	Sakamoto K, Ogawa K, Tamura K, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Early Postoperative varicella-zoster virus Encephalitis After Adult ABO-Incompatible Living Donor Liver Transplantation: A Case Report	Transplant Proc. 2023 Oct;55(8):1956-1958. doi: 10.1016/j.transproceed.2023.	Original Article
228	Yoshida T, Mori T, Shimizu H, et al.	精神神経科学	Analysis of factors related to cognitive impairment in a community-based, complete enumeration survey in Japan: the Nakayama study	Psychogeriatrics. 2023 Sep;23(5):876-884. doi: 10.1111/psyg.13012. Epub	Original Article
229	Takahashi K, Hiratsuka Y, Iwamura T, et al.	分子病理学	Technetium-99m pyrophosphate imaging-based computed tomography-guided core-needle biopsy of internal oblique muscle in wild-type transthyretin cardiac amyloidosis	Amyloid. 2023 Jul 24:1-10. doi: 10.1080/13506129.2023.223	Original Article
230	Shimoda H, Teshima M, Murase T, et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Prognostic scores for patients with salivary adenoid cystic carcinoma without lymph node metastasis	Oral Oncol. 2023 Oct;145:106491. doi: 10.1016/j.oraloncology.2023.	Original Article
231	Matsumoto H, Ishimaru K, Kikuchi S, et al.	救急医学	Efficacy of Coagulation/Thrombotic Markers for Postoperative Prediction of Venous Thromboembolism in Colorectal Surgery Patients: A Retrospective Observational	J Anus Rectum Colon. 2023 Jul 25;7(3):140-149. doi: 10.23922/jarc.2022-077.	Original Article
232	Yano R, Hirooka M, Koizumi Y, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Lymphatic drainage dysfunction via narrowing of the lumen of cisterna chyli and thoracic duct after luminal dilation	Hepatol Int. 2023 Dec;17(6):1557-1569. doi: 10.1007/s12072-023-	Original Article
233	Ishitoku M, Mokuda S, Araki K, et al.	(PROS)病理学部門	Tumor Necrosis Factor and Interleukin-1 β Upregulate NRP2 Expression and Promote SARS-CoV-2 Proliferation	Viruses. 2023 Jul 3;15(7):1498. doi: 10.3390/v15071498.	Original Article
234	Sakamoto K, Iwamoto Y, Ogawa K, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Impact of the inferior vena cava morphology on fluid dynamics of the hepatic veins	Surg Today. 2024 Feb;54(2):205-209. doi: 10.1007/s00595-023-	Original Article
235	Fujiwara T, Shien K, Matsuura M, et al.	先進呼吸器外科学講座	ASO visual Abstract. EGFR Mutation is a Prognostic Factor in Lung Cancer Patients with Pleural Dissemination Detected During or After Surgery	Ann Surg Oncol. 2023 Oct;30(11):6705-6706. doi: 10.1245/s10434-023-	Original Article
236	Muto Y, Kambayashi Y, Kato H, et al.	皮膚科学	Adverse events associated with postoperative outcomes of adjuvant anti-PD-1 antibody therapy in both acral and non-acral cutaneous melanomas: A	J Dermatol. 2023 Jul 30. doi: 10.1111/1346-8138.16912. Online ahead of print.	Original Article
237	Kawabe K, Horiuchi F, Hosokawa R, et al.	児童精神医学	School teachers' awareness of internet addiction in elementary school students: a regional survey in Japan	Front Psychiatry. 2023 Jul 13;14:1187387. doi: 10.3389/fpsyg.2023.1187387.	Original Article
238	Matsubara K, Otani S, Yamamoto H, et al.	中央診療施設 呼吸器センター	Restrictive allograft dysfunction rather than bronchiolitis obliterans syndrome had a major impact on the overall survival after living-donor lobar lung transplantation	Surg Today. 2023 Jul 31. doi: 10.1007/s00595-023-02729-2. Online ahead of	Original Article
239	Sugihara R, Taneike M, Murakawa T, et al.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Lysophosphatidylserine induces necrosis in pressure overloaded male mouse hearts via G protein coupled receptor 34	Nat Commun. 2023 Jul 31;14(1):4494. doi: 10.1038/s41467-023-	Original Article
240	Tada F, Hiraoka A, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Efficacy and safety of atezolizumab plus bevacizumab treatment for unresectable hepatocellular carcinoma patients with esophageal-gastric varices	J Gastroenterol. 2023 Nov;58(11):1134-1143. doi: 10.1007/s00535-023-	Original Article
241	Ito C, Haraguchi R, Ogawa K, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Demethylation in promoter region of severely damaged hepatocytes enhances chemokine receptor CXCR4 gene expression	Histochem Cell Biol. 2023 Nov;160(5):407-418. doi: 10.1007/s00418-023-	Original Article
242	Bun S, Suzuki K, Niimura H, et al.	精神神経科学	Gender and age influence the association between gait speed and mild cognitive impairment in community-dwelling Japanese older adults from the Japan Prospective	Psychogeriatrics. 2023 Nov;23(6):918-929. doi: 10.1111/psyg.13013. Epub	Original Article
243	Makita K, Hamamoto Y, Kanzaki H, et al.	泌尿器科学	administration on the survival of patients with bone metastatic castration-resistant	Med Int (Lond). 2023 Jul 11;3(4):38. doi: 10.3892/mi.2023.98.	Original Article
244	Tachibana A, Iga JI, Tatewaki Y, et al.	診療科 精神科	Late-Line High Blood Pressure and Emerged Perivascular Spaces in the Putaminal Regions of Community-Dwelling Japanese Older Persons	J Geriatr Psychiatry Neurol. 2024 Jan;37(1):61-72. doi: 10.1177/0891988723119523	Original Article
245	Sakaue T, Koyama T, Nakamura Y, et al.	(PROS)細胞増殖・腫瘍制御部門	Bioprosthetic Valve Deterioration: Accumulation of Circulating Proteins and Macrophages in the Valve Interstitium	JACC Basic Transl Sci. 2023 May 10;8(7):862-880. doi:	Original Article

246	Takemori A, Kaulich PT, Konno R, et al.	医科学研究支援部門	GeLC-FAIMS-MS workflow for in-depth middle-down proteomics.	Proteomics. 2024 Feb;24(3-4):e2200431. doi: 10.1002/pmic.202200431.	Original Article
247	Ohama H, Hiraoka A, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Comparison between Atezolizumab Plus Bevacizumab and Lenvatinib for Hepatocellular Carcinoma in Patients with Child-Pugh Class B in Real-World Clinical	Oncology. 2023;101(9):542-552. doi: 10.1159/000530028. Epub	Original Article
248	Nouso K, Shiota S, Fujita R, et al.	総合診療サポートセンター	Effect of butyrate-producing enterobacteria on advanced hepatocellular carcinoma treatment with atezolizumab and bevacizumab	Cancer Med. 2023 Sep;12(17):17849-17855. doi: 10.1002/cam4.6416.	Original Article
249	Yamamoto Y, Furukawa S, Miyake T, et al.	地域消化器免疫医療学講座	Severity of Nocturia and Constipation in Patients With Ulcerative Colitis	Urology. 2023 Nov;181:119-123. doi: 10.1016/j.urology.2023.07.03	Original Article
250	Horiuchi-Hirose M, Fukuoka T, Saeki Y.	地域健康システム看護学	Integration of anatomy and physiology into nursing practice as perceived by undergraduate students and registered nurses: a scoping review	BMC Nurs. 2023 Aug 17;22(1):270. doi: 10.1186/s12912-023-	Original Article
251	Hattori M, Egi H, Hasunuma N.	診療科 消化器腫瘍外科	Conscientiousness Counts: How Personality Traits Impact Laparoscopic Surgical Skill Improvement in Medical Students	J Surg Educ. 2023 Oct;80(10):1412-1417. doi: 10.1016/j.jsurg.2023.07.015.	Original Article
252	Yamanaka S, Furihata H, Yanagihara Y, et al.	(PROS)病態生理解析部門	Lenalidomide derivatives and proteolysis-targeting chimeras for controlling neosubstrate degradation	Nat Commun. 2023 Aug 18;14:4683.	Original Article
253	Sakata R, Mizoue S, Yoshikawa K, et al.	眼科学	Additive effects of brimonidine tartrate 0.1%/brinzolamide 1% fixed-dose combination in prostaglandin analog-treated relationship of atezolizumab plus	Jpn J Ophthalmol. 2023 Nov;67(6):668-677. doi: 10.1007/s10384-023-	Original Article
254	Hiraoka A, Kumada T, Tada T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Bevacizumab Treatment with Muscle Volume Loss in Unresectable Hepatocellular Carcinoma Patients: Multicenter Analysis	Liver Cancer. 2022 Dec 8;12(3):209-217. doi: 10.1159/000527402.	Original Article
255	Tsuda T, Hino K, Kutsuna T, et al.	整形外科	Difference in implant design affects midflexion rotational laxity in cruciate-retaining total knee arthroplasty: a computer navigation study	J Exp Orthop. 2023 Aug 21;10(1):85. doi: 10.1186/s40634-023-	Original Article
256	Nogami N, Nakamura A, Shiraiwa N, et al.	地域胸部疾患治療学講座	Effectiveness of crizotinib in patients with ROS1-positive non-small-cell lung cancer: real-world evidence in Japan	Future Oncol. 2023 Dec;19(37):2453-2463. doi: 10.2217/fon-2023-0109.	Original Article
257	Kitahata S, Michitaka K, Kinebuchi M, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Renal Cell Carcinoma and Hepatocellular Carcinoma in a Patient with Wilson's Disease: A Case Report	Intern Med. 2023 Aug 23. doi: 10.2169/internalmedicine.20	Original Article
258	Kay FU, Lumby C, Tanabe Y, et al.	放射線医学	Detection of Low Blood Hemoglobin Levels on Pulmonary CT Angiography: A Feasibility Study Combining Dual-Energy CT and Machine Learning	Tomography. 2023 Aug 18;9(4):1538-1550. doi: 10.3390/tomography904012	Original Article
259	Nakashiro KI, Tokuzen N, Saika M, et al.	口腔顎顔面外科学	MicroRNA-1289 Functions as a Novel Tumor Suppressor in Oral Squamous Cell Carcinoma	Cancers (Basel). 2023 Aug 17;15(16):4138. doi: 10.3390/cancers15164138.	Original Article
260	Ginjiro Kato, Hidemichi Mitome, Yusura Miyauchi, et al.	薬剤部	A study on the chemical stability of cholesterol-lowering drugs in concomitant simple suspensions with magnesium oxide	J Pharm Health Care Sci. 2023 Aug 29;9(1):32. doi: 10.1186/s40780-023-	Original Article
261	Takahashi Y, Oishi N, Yamao Y, et al.	脳神経外科学	Voxel-based clustered imaging by multiparameter diffusion tensor images for predicting the grade and proliferative activity of meningioma	Brain Behav. 2023 Oct;13(10):e3201. doi: 10.1002/brb3.3201. Epub	Original Article
262	Matsuo R, Ikeda A, Tomooka K, et al.	糖尿病内科学	Longitudinal Changes in Arterial Stiffness Associated with Physical Activity Intensity: The Toon Health Study	J Atheroscler Thromb. 2024 Feb 1;31(2):171-179. doi: 10.5551/jat.64173. Epub	Original Article
263	Nakanishi R, Okubo R, Sobue Y, et al.	地域消化器免疫医療学講座	Rationale and design of the INVICTOS Registry: (Multicenter Registry of Invasive and Non-Invasive imaging modalities to compare Coronary Computed Tomography	J Cardiovasc Comput Tomogr. 2023 Nov-Dec;17(6):401-406. doi:	Original Article
264	Kusakabe, K., A. Inoue, et al.	診療科 脳神経外科	Perioperative perampanel administration for early seizure prophylaxis in brain tumor patients.	Surg Neurol Int 14: 287.	Original Article
265	Hasegawa N, Yasuda Y, Yasui-Furukori N, et al.	診療科 精神科	Effect of education regarding treatment guidelines for schizophrenia and depression on the treatment behavior of psychiatrists: A multicenter study	Psychiatry Clin Neurosci. 2023 Oct;77(10):559-568. doi: 10.1111/pcn.13578.	Original Article
266	Tanaka K, Tsuji K, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Usefulness of Tumor Marker Score for Predicting the Prognosis of Hepatocellular Carcinoma Patients Treated with Atezolizumab Plus Bevacizumab: A	Cancers (Basel). 2023 Aug 31;15(17):4348. doi: 10.3390/cancers15174348.	Original Article
267	Iimori H, Nishina S, Hieda O, et al.	診療科 眼科	Clinical presentations of acquired comitant esotropia in 5-35 years old Japanese and digital device usage: a multicenter registry data analysis study	Jpn J Ophthalmol. 2023 Nov;67(6):629-636. doi: 10.1007/s10384-023-	Original Article
268	Ogawa K, Tamura K, Sakamoto K, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Living Donor Liver Transplantation in Patients with Preformed Donor-Specific Anti-Human Leukocyte Antigen Antibodies Using Transfusion Desensitization Therapy	Ann Transplant. 2023 Sep 12;28:e941346. doi: 10.12659/AOT.941346.	Original Article
269	Hosokawa M, Mikawa R, Hagiwara A, et al.	生体構造医学	Cryptotanshinone is a candidate therapeutic agent for interstitial lung disease associated with a BRICHOS-domain mutation of SETDC	iScience. 2023 Aug 25;26(10):107731. doi: 10.1016/j.isci.2023.107731.	Original Article
270	Furukawa S, Yamamoto Y, Miyake T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Menstrual status is associated with the prevalence of irritable bowel syndrome in a Japanese young population: a cross-sectional study	Dig Dis. 2023;41(6):845-851. doi: 10.1159/000533264. Epub 2023 Sep 14.	Original Article
271	Mukohda M, Yano T, Matsui T, et al.	薬理学	Treatment with Lignactobacillus murinus lowers blood pressure and intestinal permeability in spontaneously hypertensive rats	Sci Rep. 2023 Sep 14;13(1):15197. doi: 10.1038/s41598-023-	Original Article
272	Miyaue N, Kaneko K, Takahashi T, Nagai M.	診療科 臨床薬理神経内科	A case of MOG antibody-associated disease with selective positivity in cerebrospinal fluid using IgG-Fc cell-based assay	Acta Neurol Belg. 2023 Sep 15. doi: 10.1007/s13760-023-02379-8. Online ahead	Original Article
273	Shimane T, Koike K, Fujita S, et al.	診療科 歯科口腔外科・矯正歯科	Positive impact of perioperative oral management on the risk of surgical site infections after abdominal surgery: Sixteen universities in Japan	Medicine (Baltimore). 2023 Sep 15;102(37):e35066. doi: 10.1097/MD.000000000000035	Original Article
274	Yoshimoto T, Ishiyama H, Hattori Y, et al.	脳神経内科・老年医学	Association of thyroïd peroxidase antibody with the RNF213 p.R4810K variant in ischemic stroke/transient ischemic attack	Atherosclerosis. 2023 Oct;382:117281. doi: 10.1016/j.atherosclerosis.20	Original Article
275	S.Iwata, R kitazawa, S Kitazawa, N Hato	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	Glomangiopericytoma with CTNNB1 mutation	BMJ Case Rep. 2023 Sep 18;16(9):e256787. doi: 10.1136/bcr-2023-	Original Article
276	Uemura K, Otake Y, Takashima K, et al.	整形外科	Development and validation of an open-source tool for opportunistic screening of osteoporosis from hip CT images	Bone Joint Res. 2023 Sep 20;12(9):590-597. doi: 10.1302/2046-	Original Article

277	Burden AD, Bissonnette R, Navarini AA, et al.	皮膚科学	Spesolimab Efficacy and Safety in Patients with Moderate-to-Severe Palmoplantar Pustulosis: A Multicentre, Double-Blind, Randomised, Placebo-Controlled, Phase III Trial	Dermatol Ther (Heidelb). 2023 Oct;13(10):2279–2297. doi: 10.1007/s13555-023-	Original Article
278	Ochi S, Roy B, Prall K, et al.	診療科 精神科	Strong associations of telomere length and mitochondrial copy number with suicidality and abuse history in adolescent depressed individuals	Mol Psychiatry. 2023 Sep;28(9):3920–3929. doi: 10.1038/s41380-023-	Original Article
279	Konishi T, Ochi T, Maruta M, et al.	血液・免疫・感染症内科学	Reinforced antimyeloma therapy via dual-lymphoid activation mediated by a panel of antibodies armed with bridging-BiTE	Blood. 2023 Nov 23;142(21):1789–1805. doi: 10.1182/blood.2022019082.	Original Article
280	Miyau N, Yabe H, Nagai M.	診療科 臨床薬理神経内科	Serum GDF-15 Levels in Patients with Parkinson's Disease, Progressive Supranuclear Palsy, and Multiple System Atrophy	Neurol Int. 2023 Aug 30;15(3):1044–1051. doi: 10.3390/neurolint15030066.	Original Article
281	Inoue, A., T. Ohnishi, et al.	診療科 脳神経外科	Identification of CD44 as a Reliable Biomarker for Glioblastoma Invasion: Based on Magnetic Resonance Imaging and Serum Analysis	Biomedicines 11(9)	Original Article
282	Shiraishi K, Yoshida O, Imai Y, et al.	地域医療学	Intranasal HBsAg/150Ag-Containing Vaccine Induces Neutralizing Anti-HBs Production in Hepatitis B Vaccine Non-Responders	Vaccines (Basel). 2023 Sep 12;11(9):1479. doi: 10.3390/vaccines11091479.	Original Article
283	Yamamoto N, Maruyama K, Saito I, et al.	糖尿病内科学	Latent profile analysis approach to the relationship between daily ambulatory activity patterns and metabolic syndrome in middle-aged and older Japanese	Environ Health Prev Med. 2023;28:57. doi: 10.1265/ehpm.23-00110.	Original Article
284	Jono A, Yanagihara Y, Kinoshita T, et al.	整形外科	Establishment of a uniform histological evaluation method for early stage osteophytes in the destabilization of the non-invasive measurement of intervertebral disc degeneration model	Osteoarthritis Cartil Open. 2023 Sep 17;5(4):100409. doi: 10.1016/j.jfbs.2023.100409.	Original Article
285	Yoshinaka H, Shimomura M, Egi H, et al.	診療科 消化器腫瘍外科	Double or Triple Antimetabolic Propylaxis for Nausea and Vomiting Induced by Trastuzumab Deruxtecan: an Open-Label, Randomized, and Multicenter Exploratory Study	Br J Surg. 2023 Nov 9;110(12):1769–1773. doi: 10.1093/bjs/znad315.	Original Article
286	Gu Y, Otake Y, Uemura K, et al.	整形外科	Bone mineral density estimation from a plain X-ray image by learning decomposition into projections of bone-segmented computed tomography	Med Image Anal. 2023 Dec;90:102970. doi: 10.1016/j.media.2023.102970.	Original Article
287	Iihara H, Shimokawa M, Bando H, et al.	中央診療施設 乳腺センター	Comparison of prognostic impact of atezolizumab plus bevacizumab versus lenvatinib in patients with intermediate-stage hepatocellular carcinoma	J Cancer. 2023 Aug 28;14(14):2644–2654. doi: 10.7150/jca.87169.	Original Article
288	Tada T, Kumada T, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	High-hip ratio is significantly associated with all-cause mortality among Japanese community-dwelling men	Liver Int. 2024 Jan;44(1):113–124. doi: 10.1111/liv.15753. Epub 2023 Oct 10.	Original Article
289	Kawamoto R, Kikuchi A, Ninomiya D, Kumagi T.	地域医療学	Clinical Characteristics and Long-term Outcomes of Spinal Pilocytic Astrocytomas: A Multicenter Retrospective Study by the Neurological Society of Japan	PLoS One. 2023 Oct 5;18(10):e0292287. doi: 10.1371/journal.pone.0292287.	Original Article
290	Muto J, Murata H, Shigekawa S, et al.	中央診療施設 脊椎センター	Multicenter Evaluation of the Feasibility of Clinical Implementation of SPECT Myocardial Blood Flow Measurement: Intersite Variability and Imaging Time	Neurospine. 2023 Sep;20(3):774–782. doi: 10.14245/ns.2346450.225.	Original Article
291	Wells RG, Bengel FM, Camoni L, et al.	診療科 放射線科	The Japanese Breast Cancer Society Clinical Practice Guidelines for systemic treatment of breast cancer, 2022 edition	Circ Cardiovasc Imaging. 2023 Oct;16(10):e015009. doi: 10.1161/circimaging.123.001509.	Original Article
292	Terada M, Ito A, Kikawa Y, et al.	中央診療施設 乳腺センター	Primary Intramedullary Lymphoma with a Long Spinal Cord Lesion	Breast Cancer. 2023 Nov;30(6):872–884. doi: 10.1007/s12282-023-	Original Article
293	Okabe H, Ochi M, Matsumoto S, Ohyagi Y.	脳神経内科・老年医学	Machine learning in diastolic dysfunction: Left atrial strain trace superior to single points for estimation of filling pressure†	Intern Med. 2023 Oct 6. doi: 10.2169/internalmedicine.2621-23. Online ahead of print.	Original Article
294	Remme EW, Inoue K, Smiseth OA.	循環器・呼吸器・腎高血圧内科学	Simple scoring system for esophagogastroduodenoscopy varices prediction in hepatocellular carcinoma patients without liver stiffness evaluation	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2023 Dec 21;25(1):27–28. doi: 10.1093/ehj/ehad315.	Original Article
295	Hiraoka A, Tada F, Ohama H, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Posttreatment liver function, but not baseline liver function stratifies patient survival after direct-acting antiviral treatment in decompensated cirrhosis with cholelithiasis	Oncology. 2023 Oct 11. doi: 10.1159/000533672.	Original Article
296	Sakamoto A, Funamizu N, Shine M, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Geriatric Nutritional Risk Index Predicts Tolerability of S-1 as Adjuvant Chemotherapy for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Pancreas. 2023 Mar 1;52(3):e196–e202. doi: 10.1097/MPA.0000000000000000.	Original Article
297	Tahata Y, Hikita H, Mochida S, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Unimodal waveforms spanning from the S1 to TP segments only observed in certain limb leads of the standard 12-lead electrocardiogram due to Aelange's sign	J Gastroenterol. 2023 Dec;58(12):1211–1221. doi: 10.1007/s00535-023-	Original Article
298	Takahashi K, Yamamura N, Yoshino M, et al.	地域救急医療学講座	Comparison of surgical outcomes between stent-inject W implantation and microhook ab interno trabeculotomy in combination with phacolytic glaucoma	J Geriatr Cardiol. 2023 Sep 28;20(9):693–696. doi: 10.26599/1671-	Original Article
299	Onoe H, Hirooka K, Namiguchi K, et al.	視機能再生学講座(南松山病院)	Effects of gestational haloperidol exposure on mRNA expressions related to glutamate and GABA receptors in offspring	Front Med (Lausanne). 2023 Sep 29;10:1266532. doi: 10.3389/fmed.2023.1266532.	Original Article
300	Murakami Y, Morino T, Hino M, et al.	整形外科	Skeletal Hyperostosis (pre-DISH): Analysis of Progression of Ligament Ossification Over 5 Years by Computed Tomography	Spine Surg Relat Res. 2023 Apr 21;7(5):443–449. doi: 10.1007/s10147-023-	Original Article
301	Kumon H, Yoshino Y, Funahashi Y, et al.	精神神経科学	Effects of gestational haloperidol exposure on mRNA expressions related to glutamate and GABA receptors in offspring	IBRO Neurosci Rep. 2023 Oct 2;15:281–286. doi: 10.1016/j.ibneur.2023.09.012.	Original Article
302	Yamamoto Y, Furukawa S, Miyake T, et al.	地域消化器免疫医療学講座	Serum albumin levels as a useful complementary marker for erectile dysfunction in ulcerative colitis: A cross-sectional study	Int J Urol. 2024 Feb;31(2):154–159. doi: 10.1111/iju.15327. Epub 2023 Oct 10.	Original Article
303	Horita M, Yasuhira A, Hirakawa M, et al.	診療科 麻酔科蘇生科	Efficacy of high-frequency spinal cord stimulation for fibromyalgia syndrome in two cases: case reports	JA Clin Rep. 2023 Oct 21;9(1):68. doi: 10.1186/s40981-023-	Original Article
304	Morizane S, Nakane K, Tanaka T, et al.	泌尿器科学	Comparison of perioperative outcomes and complications between intracorporeal, extracorporeal, and hybrid ileal conduit urinary diversion	Int J Clin Oncol. 2024 Jan;29(1):64–71. doi: 10.1007/s10147-023-	Original Article
305	Liu S, Mochizuki M, Suzuki Y, et al.	薬理学	Dietary red wine supplementation restores T-cell mitochondrial respiration and regulates T-lineage differentiation in denervation-induced muscle atrophy	J Nutr Biochem. 2024 Feb;124:109508. doi: 10.1016/j.jnutbio.2023.109508.	Original Article
306	Takahashi K, Iwamura T, Hiratsuka Y, et al.	地域救急医療学講座	A Gluteus Medius muscle Biopsy to Confirm Amyloid Transthyretin Deposition in Wild-type Transthyretin Cardiac Amyloidosis: A Report of Two Cases	Intern Med. 2023 Oct 27. doi: 10.2169/internalmedicine.2723-001.	Original Article
307	Yano A, Liu S, Suzuki Y, et al.	産科婦人科学	Single-cell transcriptomic architecture and cellular communication circuits of parametrial adipose tissue in pregnant mice	Life Sci. 2023 Dec 1;334:122214. doi: 10.1016/j.lfs.2023.122214.	Original Article

308	Kawamoto R, Kikuchi A, Ninomiya D, et al.	地域医療学	The Presence of a Physician Role Model and the Career Preference of Medical Students Are Associated With Rural Self-efficacy	Cureus. 2023 Sep 29;15(9):e46174. doi: 10.7759/cureus.46174.	Original Article
309	Okubo Y, Kuwabara Y, Sato S, et al.	地域小児・周産期学	Real-world compliance and determinants for sublingual allergen immunotherapy in children and parents	Allergy. 2024 Feb;79(2):523-525. doi: 10.1111/all.15938. Epub 2023 Nov 2.	Original Article
310	Nishikubo-Tanaka K, Asayama R, Kochi K, et al.	疫学・公衆衛生学	Oral Intake Difficulty and Aspiration Pneumonia Assessment Using High-Resolution Manometry	Laryngoscope. 2023 Nov 2. doi: 10.1002/lary.31155. Online ahead of print.	Original Article
311	Inoue, A., H. Watanabe, et al.	診療科 脳神経外科	Role of amide proton transfer imaging in maximizing tumor resection in malignant glioma: a possibility to take the place of (11)C-methionine positron emission tomography/computed tomography	Neurosurg Rev 46(1): 294.	Original Article
312	Uetani T, Inaba S, Higashi H, et al.	放射線医学	Voronoi Diagram-Guided Septal Ablation for Patients With Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy	Circ Cardiovasc Imaging. 2023 Jun;16(6):e014895. doi: 10.1161/CIRCIMAGING.122.	Original Article
313	Miyazaki S, Maruyama K, Tomooka K, et al.	糖尿病内科学	The association between masticatory ability and lower Timed Up & Go Test performance among community-dwelling Japanese aging population	Osteoporos Sarcopenia. 2023 Sep;9(3):94-98. doi: 10.1016/j.afos.2023.08.001.	Original Article
314	Omori H, Matsuo H, Fujimoto S, et al.	中央診療施設 睡眠医療センター	Determination of Sleep-Disordered Breathing by artificial intelligence-enabled quantitative computed tomography using near-infrared spectroscopy as reference	Atherosclerosis. 2023 Dec;386:117363. doi: 10.1016/j.atherosclerosis.2023.11.014.	Original Article
315	Shide K, Takenaka K, Kitanaka A, et al.	血液・免疫・感染症内科学	Real-world clinical characteristics of post-essential thrombocythemia and post-polycythemia vera myelofibrosis	Ann Hematol. 2024 Jan;103(1):97-103. doi: 10.1007/s00277-023-0237-9.	Original Article
316	Fujimura T, Yoshino K, Nakamura M, et al.	皮膚科学	Efficacy and safety of TMS014 in combination with paclitaxel in the treatment of paclitaxel-resistant cutaneous squamous carcinoma: Phase II study protocol	Exp Dermatol. 2024 Jan;33(1):e14976. doi: 10.1111/exd.14976. Epub 2023 Nov 2.	Original Article
317	Takenaka K, Fuji S, Matsukawa T, et al.	血液・免疫・感染症内科学	Outcomes of allogeneic hematopoietic cell transplantation under letermovir prophylaxis for cytomegalovirus infection	Ann Hematol. 2024 Jan;103(1):285-296. doi: 10.1007/s00277-023-0237-9.	Original Article
318	Kashiwagi H, Kuwana M, Murata M, et al.	輸血・細胞治療部	Reference guide for the diagnosis of adult primary immune thrombocytopenia, 2023 edition	Int J Hematol. 2024 Jan;119(1):1-13. doi: 10.1007/s12185-023-0237-9.	Original Article
319	Nakamura Y, Hirooka M, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Survival Improvements in Advanced Hepatocellular Carcinoma with Sequential Therapy by Era	Cancers (Basel). 2023 Nov 6;15(21):5298. doi: 10.3390/cancers15215298.	Original Article
320	Li M, Nishimura T, Takeuchi Y, et al.	先端医療創生センター	FXRD3 functionally demarcates an ancestral breast cancer stem cell subpopulation with features of drug-tolerant persisters	J Clin Invest. 2023 Nov 15;133(22):e166666. doi: 10.1172/JCI166666.	Original Article
321	Inoue T, Endo T, Muto J, et al.	中央診療施設 脊椎センター	Shorter survival time of adolescents and young adult patients than older adults with spinal cord glioblastoma: a multicenter study	J Neurosurg Spine. 2023 Nov 17;40(2):196-205. doi: 10.3171/2023.9.SPINE23642.	Original Article
322	Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Comparative analysis of the therapeutic outcomes of atezolizumab plus bevacizumab and lenvatinib for hepatocellular carcinoma patients aged 80 years and older	Hepatol Res. 2023 Nov 20. doi: 10.1111/hepr.13991. Online ahead of print.	Original Article
323	Shiokawa D, Sakai H, Koizumi M, et al.	先端医療創生センター	Elevated stress response marks deeply quiescent reserve cells of gastric chief cells	Commun Biol. 2023 Nov 20;6(1):1183. doi: 10.1038/s42003-023-0237-9.	Original Article
324	Hatanaka T, Kakizaki S, Hiraoka A, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Comparing the impact of atezolizumab plus bevacizumab and lenvatinib on the liver function in hepatocellular carcinoma patients: A mixed-effects regression model	Cancer Med. 2023 Dec;12(24):21680-21693. doi: 10.1002/cam4.6726.	Original Article
325	Eda Hiro A, Okamura T, Arai T, et al.	地域健康システム看護学	What happens if your colleague was the first person to notice that you have young-onset dementia?	Geriatr Gerontol Int. 2024 Jan;24(1):176-178. doi: 10.1111/ggi.14733. Epub 2023 Nov 2.	Original Article
326	Rossari F, Tada T, Suda G, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	α -FAtE: A new predictive score of response to atezolizumab plus bevacizumab for unresectable hepatocellular carcinoma	Int J Cancer. 2024 Mar 15;154(6):1043-1056. doi: 10.1002/ijc.34799. Epub 2023 Nov 2.	Original Article
327	Katsura M, Fukuma S, Kuriyama A, et al.	救急航空医療学講座	Association of Contrast Extravasation Grade With Massive Transfusion in Pediatric Blunt Liver and Spleen Injuries: A Multicenter Retrospective Cohort Study	J Pediatr Surg. 2024 Mar;59(3):500-508. doi: 10.1016/j.jpedsurg.2023.10.010.	Original Article
328	Lee JW, Lee IH, Watanabe H, et al.	(PROS) 病態生理解析部門	Centrosome clustering control in osteoclasts through CCR5-mediated signaling	Sci Rep. 2023 Nov 27;13(1):20813. doi: 10.1038/s41598-023-0237-9.	Original Article
329	Sakai S, Kutsuna T, Kono K, et al.	整形外科	Femoral head translation in borderline and definite dysplastic hips during weight-bearing: 2D/3D image registration analysis	J Exp Orthop. 2023 Nov 29;10(1):126. doi: 10.1186/s40634-023-0237-9.	Original Article
330	Miyae N, Yabe H, Nagai M.	診療科 臨床薬理神経内科	Concomitant use of magnesium oxide significantly decreases absorption of levodopa preparations in patients with Parkinson's disease	Clin Park Relat Disord. 2023 Oct 31;9:100227. doi: 10.1016/j.prdoa.2023.100227.	Original Article
331	Makita K, Hamamoto Y, Kanzaki H, et al.	診療科 放射線科	Impact of digital positron emission tomography/computed tomography on the delineation of clinical target volume in advanced lung cancer	Mol Clin Oncol. 2023 Nov 6;19(6):102. doi: 10.3892/mco.2023.2698.	Original Article
332	Toda K, Ako J, Hirayama A, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Outcomes of Veno-Arterial Extracorporeal Membrane Oxygenation With Percutaneous Left Ventricular Unloading in Fulminant Myocarditis	ASAIO J. 2023 Nov 23. doi: 10.1097/MAT.0000000000002104. Online ahead of print.	Original Article
333	Sakamoto K, Ogawa K, Tamura K, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Diagnostic value of quantification of cell-free DNA for suspected gallbladder cancer	JGH Open. 2023 Sep 29;7(11):748-754. doi: 10.1002/jgh3.12977.	Original Article
334	Yagi S, Furukawa S, Miyake T, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Aging is Associated With Constipation in Japanese Patients With Ulcerative Colitis: A Post Hoc Analysis	Gerontol Geriatr Med. 2023 Nov 27;9:23337214231215637.	Original Article
335	Nagaoka T, Osumi H, Ueno T, et al.	肝胆膵・乳腺外科学	Morphological response and tumor shrinkage as predictive factors in metastatic colorectal cancer treated with first-line capecitabine, oxaliplatin, and bevacizumab	Int J Clin Oncol. 2023 Sep;28(9):1191-1199. doi: 10.1007/s10147-023-0237-9.	Original Article

336	Akazawa Y, Higaki T, Takata H, et al.	地域小児・周産期学	Atrial septal defect closure via left subclavian vein: a novel technique using a steerable sheath	Cardiovasc Interv Ther. 2023 Dec 3. doi: 10.1007/s12928-023-	Original Article
337	Tamura M, Ishikawa R, Nakanishi Y, et al.	分子病態医学	Comparative analysis of Pmx expression and the distribution of neuronal somata in the trigeminal ganglion in lamprey and shark: insights into the homology of the trigeminal ganglion	Zoological Lett. 2023 Dec 5;9(1):23. doi: 10.1186/s40851-023-	Original Article
338	Hayashi M, Shiraishi K, Yoshida S, et al.	皮膚科学	Cutaneous arteritis combined with antiphospholipid syndrome associated with the use of immune checkpoint inhibitors in a patient with a metastatic lung cancer	J Dermatol. 2023 Dec 8. doi: 10.1111/1346-8138.17063. Online ahead of print.	Original Article
339	Tanaka K, Okubo H, Miyake Y, et al.	疫学・公衆衛生学	Coffee and caffeine intake reduces risk of ulcerative colitis: a case-control study in Japan	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Dec 10. doi: 10.1111/jgh.16439. Online	Original Article
340	Doi M, Nakagawa T, Asano M.	法医学	A practical workflow for forensic species identification using direct sequencing of real-time PCR products	Mol Biol Rep. 2023 Dec 13;51(1):17. doi: 10.1007/s11033-023-	Original Article
341	Kunkeaw N, Nguitragool W, Takashima E, et al.	(PROS) 寄生虫病原学部門	A Pvs25 mRNA vaccine induces complete and durable transmission-blocking immunity to Plasmodium vivax	NPJ Vaccines. 2023 Dec 14;8(1):187. doi: 10.1038/s41541-023-	Original Article
342	Yamamoto Y, Tanabe Y, Kurata A, et al.	地域救急医療学講座	Feasibility of four-dimensional similarity filter for radiation dose reduction in dynamic myocardial computed tomography perfusion	Front Radiol. 2023 Dec 1;3:1214521. doi: 10.3389/fradi.2023.1214521.	Original Article
343	Eguchi S, Umehita K, Soejima Y, et al.	肝胆臓・乳腺外科学	An Analysis of 10,000 Cases of Living Donor Liver Transplantation in Japan: Special Reference to the Graft-Versus-Recipient Weight Ratio and Donor Area	Ann Surg. 2024 Jan 1;279(1):94-103. doi: 10.1097/SLA.0000000000000000	Original Article
344	Goda H, Nakashiro KI, Sano Y, et al.	診療科 歯科口腔外科・矯正歯科	KRT15 and KRT19 for differential diagnosis between metastatic lung carcinoma from oral squamous cell carcinoma and lung squamous cell carcinoma	Sci Rep. 2023 Dec 18;13(1):22626. doi: 10.1038/s41598-023-	Original Article
345	Fujiwara K, Maekawa M, Iimori Y, et al.	(PROS) 細胞増殖・腫瘍制御部門	The crucial role of single-stranded DNA binding in enhancing sensitivity to DNA-damaging agents for Schlafen 11 and Schlafen 12	iScience. 2023 Nov 23;26(12):108529. doi: 10.1016/j.isci.2023.108529.	Original Article
346	Nagasaka M, Inoue Y, Nagao Y, et al.	分子病態医学	SET8 is a novel negative regulator of TGF-β signaling in a methylation-independent manner	Sci Rep. 2023 Dec 18;13(1):22877. doi: 10.1038/s41598-023-	Original Article
347	Hoshino S, Manya H, Imae R, et al.	医化学・細胞生物学	Endogenous reductase activities for the generation of ribitol-phosphate, a CDP-ribitol precursor, in mammals	J Biochem. 2023 Dec 23;mvad115. doi: 10.1093/jb/mvad115. Online	Original Article
348	Sunago K, Abe M, Yoshida O, et al.	消化器・内分泌・代謝内科学	Clinical and Pathological Features of Immune Checkpoint Inhibitor-induced Liver Injury in Comparison with Drug-induced Liver Injury and Autoimmune Hepatitis	J Gastrointest Liver Dis. 2023 Dec 22;32(4):488-496. doi: 10.15403/jgld-5045.	Original Article
349	Nakamura N, Hasebe S, Yamanaka S, et al.	臨床腫瘍学	Treatments and prognostic factors for bone and soft tissue sarcoma in non-urban areas in Japan	Int J Clin Oncol. 2023 Dec 28. doi: 10.1007/s10147-023-02453-4. Online ahead	Original Article
350	Liu S, Takemasa E, Suzuki Y, Mogi M.	薬理学	Exploring an immortal Turritopsis sp. as a less conventional natural system for study of aging	Biochem Biophys Rep. 2023 Dec 20;37:101613. doi: 10.1016/j.bbrep.2023.101613	Original Article
351	Yutaka Kato, Takahiro Fukazawa, Keiji Tanimoto, et al.	医科学研究支援部門	Achaete-scute family bHLH transcription factor 2 activation promotes hepatoblastoma progression	Cancer Sci. 2024 Mar;115(3):847-858.	Original Article
352	Ishimura D, Morino T, Murakami Y, et al.	整形外科	Examining the Association between the Extent of Anterior Longitudinal Ligament Ossification Progression and Comorbidities in Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis	Cureus. 2023 Dec 30;15(12):e51357.	Original Article
353	Tozawa A, Mori H, Ao M, et al.	皮膚科学	Reconstruction methods for and cosmetic evaluation of external nasal tumour resections: flap versus graft	Eur J Dermatol. 2023 Oct 1;33(5):524-529. doi: 10.1684/ejd.2023.4561.	Original Article
354	Nagao S, Fujiwara K, Yamamoto K, et al.	産科婦人科学	Intraperitoneal Carboplatin for Ovarian Cancer - A Phase 2/3 Trial	NEJM Evid. 2023 May;2(5):EVIDOa2200225. doi: 10.1056/evid.2023.0000000000000000	Original Article
355	Shuhei Yoshida, Aoi Ikedo, Yuta Yanagihara, et al.	心臓血管・呼吸器外科学	Bmi1 suppresses inflammatory arthritis-associated bone loss in mice through inhibition of TNF-α-mediated osteoclastogenesis	Journal of Bone and Mineral Research	Original Article
356	Yasunori Abe, Masahiro Okada, Keiko Tanaka, et al.	診療科 耳鼻咽喉科	The Association Between Dehydration and the Prognosis of Sudden Sensorineural Hearing Loss	Otology & Neurotology Open 3(4):p e041, December 2023.	Original Article

計356件

1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
~					

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準拠すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 手順書の主な内容 研究者等の責務等、病院長の責務等、倫理審査委員会、研究の適正な実施等、 研究の信頼性確保、重篤な有害事象への対応に関する手順、個人情報等、 研究実施に関する窓口	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
・ 規定の主な内容 利益相反管理の対象、利益相反委員会、利益相反相談室、自己申告書の提出等の手続き	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1回
・ 研修の主な内容 プロトコール作成時に知っておきたい統計事項について	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

第一内科【血液内科】【膠原病・リウマチ内科】【感染症内科】

第一内科の専門領域は、血液、膠原病・リウマチ、感染症である。カンファレンスやセミナーを頻回に開催し、内科学会総合内科専門医、血液学会専門医、リウマチ学会専門医、感染症学会専門医を取得できるように、研修・指導を行っている。また、最近社会的ニーズが非常に高い臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医の育成にも努力している。

第二内科【循環器内科】【呼吸器内科】【腎臓内科】

当科に所属する日本内科学会総合内科専門医、日本循環学会専門医、日本呼吸器学会専門医、日本腎臓専門医、日本老年病専門医、日本臨床遺伝専門医、日本アレルギー学会専門医、日本不整脈学会専門医、日本高血圧学会専門医が血管機能解析、腎生検、血液浄化療法、肺癌化学療法、経気管支鏡的肺生検・吸引針生検、冠動脈形成術、心臓再同期療法、心筋焼灼療法等の高度医療を指導し、専門医の育成を行っている。

第三内科【消化器内科】【肝臓内科】【内分泌代謝内科】

この領域は、第三内科が研修を担当する。消化器病として消化管・肝・胆・膵領域、甲状腺・副腎皮質などの内分泌領域、糖尿病をはじめとする糖代謝、脂質代謝、尿酸代謝、金属代謝などの代謝領域、および栄養学の研修を指導した。研修では各々の領域の患者に対して先端的な診療、検査に触れるとともに、カンファレンスを通して理解を深め、目標を持ち自律的意欲的に研修、習得する医師の養成を目指している。当科のスタッフは日本内科学会指導医、日本消化器病学会指導医、日本肝臓学会指導医、日本超音波学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本糖尿病学会指導医、日本内分泌学会指導医、日本アレルギー学会指導医、日本病態栄養学会専門医、NST稼働施設責任者等の各種指導資格を有しており、各領域の専門研修による専門医の育成とともに、内科を幅広く柔軟に診療できる内科医の育成を目指して研修・指導を行っている。

脳神経内科【老年・神経内科】

神経内科、老年病、脳卒中、認知症などの専門医が、神経疾患、脳卒中や認知症の診療を教育した。入院診療では、免疫性神経疾患や変性疾患などを主体として、神経学的診察、末梢神経・中枢神経の電気生理検査、針筋電図や超音波検査(頸部血管、経頭蓋、経食道)などの専門手技の研修を行った。また、認知症診療では、愛媛県認知症疾患医療センターやもの忘れ外来診療を中心に、薬物治療や介護保険の利用法、その他の社会支援制度利用や生活指導の方法などの教育を行っている。

糖尿病内科・臨床検査医学【糖尿病内科】

糖尿病専門医・指導医、内科専門医・指導医による専門的かつ総合的な研修を実施している。具体的には、1型糖尿病の診断・管理、急性代謝異常の診断・管理、2型糖尿病の診断・管理、その他特定の型(2次性)糖尿病の診断・管理、糖尿病合併妊娠及び妊娠糖尿病の診断・管理、周術期の血糖管理、持続皮下インスリン注入療法(CSII)を用いた血糖管理、持続血糖測定(CGM)を用いた血糖管理、ならびに糖尿病合併症の診断・治療・管理・予防教育を行っている。

臨床薬理神経内科【薬物療法・神経内科】

脳神経疾患の診断・治療・教育研修とともに、特に難治性神経疾患の治療薬の研究・開発・研修を行っている。また、臨床研究に必要な手法の研究開発と基盤整備、および法務上必要な研修、指導を行っている。研修後に総合内科専門医、神経内科専門医、認知症専門医、頭痛専門医、臨床薬理専門医を取得している。

【精神科】

大学病院及び関連病院にて研修を行っている。後期研修以降は、それぞれのサブスペシャリティを決定し、その分野で研鑽をつみ、精神科医としての技能や知識を習得する。また、下記の項目にも重点をおく。

1. 児童思春期、青年期、老年期のそれぞれの年代の症例、また器質性、機能性、反応性の各

精神障害の症例すべての臨床経験を獲得するよう主治医としてかかわる。

2. 臨床研究として、学会発表を行う。
3. 国内・国際学会、教室内外の勉強会に参加する。
4. クロザピン投与、修正型電気けいれん療法、光トポグラフィーなど極めて専門性の高い検査・治療に携わる。

また、臨床経験5年後には、精神保健指定医を取得し、日本精神神経学会専門医の獲得ができるよう環境を整えている。

小児科【小児科】

後期研修1年目より専門医の取得を目指し小児の各分野の高度医療を実践する。特に新生児の管理・治療、小児がんの造血細胞移植などの高度医療、循環器疾患のインターベンション治療を含めた高度医療、難治性神経疾患の治療、遺伝性疾患の遺伝カウンセリングなどの他、感染症、内分泌・代謝、アレルギー、腎、膠原病などの幅広い小児科の分野の研修を行っている。また研修期間中は予防接種、健診などの予防医療についても研修を行っている。

消化器腫瘍外科【消化器腫瘍外科】

消化器（主に消化管）癌に対する外科的治療（開腹、内視鏡、ロボット支援手術）を系統的に学び、更に化学療法、放射線治療などの集学的治療による治療戦略を学ぶことができる臨床研修を行う。外科専門医のみならず内視鏡外科技術認定医を目指した高度な手術技術を指導する。ドライラボ、アニマルラボ、シミュレータ、カダバーによる習熟度に応じた手術指導も定期的に行われ、スキルアップを図る体制を用意している。

肝胆膵・乳腺移植外科【肝臓外科】 【胆のう外科】 【膵臓外科】 【乳腺外科】 【移植外科】

肝臓、胆のう、膵臓疾患について、画像診断から治療方針の決定、外科治療など消化器外科専門医並びに消化器病専門医及び肝胆膵外科高度専門医を取得できるように、研修、指導を行っている。

心臓血管・呼吸器外科【心臓血管外科】 【呼吸器外科】

1. 心臓血管外科においては、外科専門医、心臓血管外科専門医の資格の取得に必要な、経験、技術、知識、人間性を習得することを目標として、将来、専門医として社会貢献できる医師を目指す研修を行っている。
2. 呼吸器外科においては、外科専門医、呼吸器外科専門医の取得が可能。呼吸器外科疾患の適切な診断能力と治療方針はもちろん、呼吸器センターの一員として、あらゆる状況において応用可能な能力を身につける研修を行っている。

脳神経外科【脳神経外科】

日本脳神経外科学会研修プログラムに則って、研修指導医の下で、脳神経外科の診断と治療に必要な知識と基本的技術を習得させるため、基本診療科の一つとして、愛媛大学と関連連携施設で研修をすすめる。当施設では脳卒中センター、脊椎センター、手術手技研修センターにおいて、脳卒中の急性期治療（脳血管内治療を含む）、脊椎・脊髄疾患の診療、手術に必要な微小解剖のトレーニングを中心としている。脳腫瘍・脳血管疾患、脊椎。脊髄の主要な疾患の他に、小児脳神経外科、機能神経外科、感染症などの田崎な疾患群全てを研修可能である。それによって、脳神経外科専門医取得にあたっての、十分な臨床経験を積める環境が整っている。

整形外科【整形外科】

運動器疾患全般に関して、科学的知識と高い社会的倫理観を備えた医師を養成すべく、進歩する医学知識と最新の医療技術を研鑽させた。特に以下の3点に重点を置いた教育を行っている。

- 1, 高齢者のQOLを支える医療
- 2, エビデンスに基づく幅広い治療方針
- 3, 水準の高い治療で早期の社会復帰をサポート

さらに、整形外科専門医習得に必要な臨床症例の経験と論文作成・学術発表の指導も行っている。

皮膚科【皮膚科】 【形成外科】

皮膚科学会、形成外科学会の研修施設認定を受けている。皮膚科では湿疹や感染症などの日常的疾患から、皮膚がん、自己免疫性疾患、重症薬疹、先天性疾患などの希少疾患までを対象とした総括的かつ専門性の高い研修を行っている。必要研修期間終了時には専門医の取得が可能である。形成外科では小児の先天性疾患からマイクロサージャリーによる再建手術まで、広範囲かつ高度な専門的な技術を習得できる研修を行っている。いずれも必要研修期間終了時には専門医の取得が可能であり、その後さらに皮膚腫瘍外科専門医、レーザー専門医、頭蓋顎顔面外科専門医などの取得も可能である。

泌尿器科【泌尿器科】

副腎、尿路、男性生殖器の診断、治療に関する研修を行う。効率的に泌尿器科医としての研修を受け、10年間の研修を修了すれば、泌尿器科医として独り立ちできるように県下基幹病院と協力して独自の研修システムを整備している。その中で当科では、腎や副腎、膀胱などの鏡視下手術、ロボットを用いた前立腺手術、各種開腹手術、尿路結石や膀胱癌に対しての内視鏡的手術、婦人科泌尿器科手術、慢性腎不全に導入から腎移植までの研修を行っている。また、尿路上皮癌や前立腺癌に対する抗癌化学療法や放射線治療なども、全国的にもリーダー的存在で、専門性の高い研修を行っている。

眼科【眼科】

日本眼科学会の研修プログラム基幹研修施設として眼科指導医のもとで、眼科学の進歩に応じて、眼科医の知識と医療技術を高め、すぐれた眼科医を養成するための指導を行っている。研修プログラムでは、外来患者および年間1000例以上の手術症例を中心に、眼科一般の診断と治療に必要な知識と基本的技術を取得させる内容となっている。また、高度な医療技術、特に難易度の高い手術のための知識やその実行には、頭頸部のより高度な解剖学的知識が要求されるため、御遺体を用いて以下の涙道手術手技研修を行っている。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科【耳鼻咽喉科】

日本耳鼻咽喉科学会の研修施設認定を受けており、耳鼻咽喉科学ならびにその関連領域における医学の進歩に応じて、耳鼻咽喉科医の知識と医療技術を高め、すぐれた耳鼻咽喉科医の養成を図った。研修プログラムには、耳、鼻・副鼻腔、口腔咽喉頭、頭頸部の各領域における十分な専門性を有する指導医をおき、年間 500 例以上の手術症例を中心に研修を行った。人工内耳などの最先端耳鼻咽喉科医療の指導体制も充実している。

放射線科【放射線診断分野】【放射線治療分野】

1. 診断専門医は、画像診断（X 線、CT、MRI、超音波等）、核医学、インターベンションラジオロジー（IVR）の専門的知識と診療技術を習得し、この知識と技術に基づいた検査の選択・指示・実施・管理等が出来るようにする。
2. 放射線治療専門医は、悪性腫瘍および一部の良性疾患に関して、放射線治療の効果、照射術式とその計画、有害事象、治療前中後の管理などについての専門知識と診療技術を駆使した適正な放射線治療が行えるようにする。

産婦人科【周産期医学分野】【婦人科腫瘍分野】【女性医学分野】【生殖医療分野】

日本産科婦人科学会専門医指導医のもと、上記 4 領域において患者を担当する医療者チームの一員として診断・治療に携わる。4 領域に関する研修ガイドラインに基づいて臨床に必要な基本知識・産婦人科疾患に対する検査・診断・治療を以下の項目を目標に修得する。

1. 周産期医学分野：母体合併症妊娠における母児の問題点および管理法、超音波検査を用いた胎児の推定体重や血流測定を含めた胎児の元気度の評価や構造異常の評価に関して修得する。分娩管理については、分娩進行の評価につき研修し、分娩介助および帝王切開の適応・手技についても修得する。
2. 婦人科腫瘍分野：婦人科疾患における超音波検査・CT 検査・MRI などの画像診断を用いた診断学の修得を行う。内診による腫瘍の進展度の評価やコルポスコーピーによる子宮頸部病変の評価について研修する。開腹術・腹腔鏡下の婦人科手術手技を理解し、基本的手技および周術期管理

の実際について修得する。

3. 女性医学分野：女性の内分泌疾患に対する診断・管理やホルモン補充療法、更年期障害に対するアプローチについて研修する。

4. 生殖医療分野：不妊症の検査・診断および生殖補助技術*以外の排卵誘発法やタイミング法などの基本的な治療について研修する。(*:生殖補助技術については、他施設において研修する。)

麻酔科【麻酔科蘇生科】

臨床の現場において、手術における全身麻酔や区域麻酔、集中治療管理、痛みの治療の研修指導を行い、さらに下記の研修を通して、より高度な医療技術を身につけるよう指導する。

1. 高機能シミュレータを用いた全身麻酔手技の習得
2. 危機的状況を想定したシナリオトレーニング
3. 緩和ケア医療の研修

リハビリテーション部【リハビリテーション科】

日本リハビリテーション医学会専門医の指導の下、以下の項目を目標とした教育プログラムを行っている。

1. 診断学：リハビリテーションを行う上で必要な、各種画像検査・電気生理学的検査・病理診断・超音波検査などを、評価・施行できる。運動障害や高次脳機能障害だけでなく、嚥下障害、心肺機能障害、排泄障害の評価といった、関連領域も評価ができる。
2. 治療：全身状態の管理ができる。障害評価に基づく治療計画が立てられる。各種リハビリテーション（理学療法・作業療法など）に加え、義肢装具の処方・ブロック療法・薬物治療・生活指導などができる。

救急科【救急科】

専攻医には、以下の3つの学習方法で専門研修を行う。

1. 臨床現場での学習：経験豊富な指導医が中心となり救急科専門医や他領域の専門医とも協働して、専攻医に広く臨床現場での学習を提供する。

- 1) 救急診療や手術での実地修練(on-the-job training)
- 2) 診療科におけるカンファレンスおよび関連診療科との合同カンファレンス
- 3) 抄読会・勉強会への参加
- 4) 臨床現場でのシミュレーションシステムを利用した、知識・技能の習得

2. 臨床現場を離れた学習：国内外の標準的治療および先進的・研究的治療を学習するために、救急医学に関連する学術集会、セミナー、講演会および JATEC、JPTEC、ICLS コースなどの off-the-job training course に積極的に参加する。救命処置法の習得のみならず、インストラクターコースへ参加できるように配慮し、その指導法を学ぶ。また、研修施設もしくは日本救急医学会等が開催する認定された法制・倫理・安全に関する講習にそれぞれ少なくとも 1 回は参加する。

3. 自己学習専門研修期間中の疾患や病態の経験値の不足を補うために、日本救急医学会等が準備する「救急診療指針」、e-Learning などを活用した学習を病院内や自宅で利用できる機会を提供する。

研修プログラムの実際と特徴としては、本研修プログラムは、各専攻医の希望を考慮し、個々の基本モジュールの内容を吟味した上で、基幹施設・連携施設のいずれの施設からの開始に対しても対応できるように設計された研修コースである。本研修プログラムによる救急科専門医取得後には、集中治療、外傷、熱傷などの救急科関連領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修や、リサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動を選択することが可能。プログラム期間中に当大学病院等で研修を行いながら愛媛大学大学院医学系研究科への社会人大学院進学を認めている。また本研修プログラム管理委員会は、基幹研修施設である愛媛大学医学部附属病院総合臨床研修センターと協力し、大学卒業後 2 年以内の初期研修医の希望に応じて、将来、救急科を目指すための救急医療に重点を置いた初期研修プログラム作成にもかかわっ

ている。

歯科口腔外科・矯正歯科【歯科口腔外科】

外来における初診患者の問診、初診診察、診断、治療の口腔外科疾患一連の流れ、および手術手技難易度分類の中等度までにおける外来外科処置の執刀および術後の follow を行っている。また、病棟においては入院から退院までの口腔癌、顎変形症、炎症、外傷、嚢胞性疾患患者等の患者管理および中等度相当までの執刀を指導医の元、経験する。臨床外に関しては、口腔外科関連論文の抄読会を担当し、学術的理解にも励んでいる。

病理診断科・病理部【病理科】

病理専門医は、病理学総論と諸臓器の疾患に関する病理学的知見に基づいて、医療の根幹である病理診断（病理解剖、手術・生検標本診断、細胞診）を行い、臨床医との相互討論を通じて医療の質を担保し、高度先進医療、地域医療の推進に寄与する。本院では、「患者に学び患者に還元する医療」の姿勢で、医療倫理、医療安全を実施し、社会的ニーズに応じた病理専門医を育成する。病理専門研修では、日本病理学会の「専門研修手帳」に記された基準を満たすよう、知識・技能・態度の指導を行う。病理解剖については、視聴覚教材とマンツーマン指導による手技の修得・肉眼所見と病理組織標本検鏡・診断書作成、全例 CPC を行う。手術・生検標本の診断と細胞診断は、業務マニュアルによる切り出し手技や報告書作成の標準化と、指導医によるマンツーマン指導・全例検閲を行う。臨床科との症例検討会での発表討論を日常的に行い、愛媛県病理研究会、中四国支部会、日本病理学会総会での症例報告を指導する。基礎の病理学講座との連携のもとに、分子病理学的研究手法の研鑽を奨励する。病理診断学の修練のみならず、専門医取得後のキャリア形成に留意し、後進の指導にあたる人材育成を目指す。

睡眠医療センター【睡眠医療】

睡眠障害の診断・治療について、専門的研修を実施する。日本睡眠学会認定医療機関であり、年間 200 例以上の終夜睡眠ポリグラフィ実施を基盤とした睡眠障害の生理学的診断法、ならびに睡眠

覚醒メカニズムに即した治療手法について、学会認定医が研修を担当する。国際学会での発表、論文指導も行う。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	38	人
-------------	----	---

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
竹中 克斗	第一内科	教授	33年	
山之内 純	輸血・細胞治療部	准教授	28年	血液
薬師神 芳洋	腫瘍センター	教授	36年	腫瘍内科
池田 俊太郎	循環器内科	教授	31年	
山口 修	呼吸器内科	教授	29年	循環器・呼吸器・高血圧内科学
日浅 陽一	第三内科	教授	33年	消化器・内分泌・代謝内科学
大八木 保政	脳神経内科	教授	39年	神経内科・老年病
大澤 春彦	糖尿病内科・臨床検査医学	教授	36年	
永井 将弘	臨床薬理神経内科	准教授	35年	
上野 修一	精神科	教授	39年	
江口 真理子	小児科	教授	33年	
檜垣 高史	地域小児・周産期	教授	36年	
田内 久道	感染制御部	教授	34年	
押切 太郎	消化管腫瘍外科	教授	29年	

榎田 祐三	肝臓・胆のう・膵臓・移植外科	教授	24年	消化器外科、肝胆膵・移植外科
泉谷 裕則	心臓血管・呼吸器外科	教授	36年	心臓血管外科
佐野 由文	心臓血管・呼吸器外科	教授	39年	呼吸器外科
國枝 武治	脳神経外科	教授	30年	脳神経外科
高尾 正樹	整形外科	教授	26年	
藤澤 康弘	皮膚科・形成外科	教授	26年	
雑賀 隆史	泌尿器科	教授	37年	
白石 敦	眼科	教授	38年	
羽藤 直人	耳鼻咽喉科	教授	35年	耳鼻咽喉科
城戸 輝仁	放射線科	教授	24年	放射線診断分野
杉山 隆	産婦人科	教授	37年	周産期・女性医学分野
松原 圭一	産婦人科	教授	37年	周産期医学分野
西原 佑	麻酔科蘇生科	教授	19年	
佐藤 格夫	救急科	教授	28年	
内田 大亮	歯科口腔外科・矯正歯科	教授	29年	
北澤 理子	病理診断科・病理部	特命教授	29年	
岡 靖哲	睡眠医療センター	准教授	31年	睡眠医療

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべ

- てのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- ・ 研修の主な内容：「ISO15189内部監査者養成セミナー」
- ・ 研修の期間・実施回数：5月18日（土）・1回
- ・ 研修の参加人数：8名

- ・ 研修の主な内容：「国公立大学病院診療放射線技術者研修」
- ・ 研修の期間・実施回数：2023年10月16日～20日 5日間
- ・ 研修の参加人数：1名

- ・ 研修の主な内容：「医療安全セミナー：安全な医療機器の使用法」
- ・ 研修の期間・実施回数：2023年5月9日～6月30日 対面1回およびe-learning
- ・ 研修の参加人数：84名

- ・ 研修の主な内容：「医療機器安全管理講習会」
- ・ 研修の期間・実施回数：2023年9月7日～2024年3月7日 対面5回およびオンデマンド配信
- ・ 研修の参加人数：56名

- ・ 研修の主な内容：病棟看護師研修（経静脈栄養について）
- ・ 研修の期間・実施回数：2024年1月11日
- ・ 研修の参加人数：21名

- ・ 研修の主な内容：病棟看護師研修（抗がん剤の薬効・副作用について）

・研修の期間・実施回数：2023年7月27日

・研修の参加人数：10名

・研修の主な内容：病棟看護師研修（1号館6階病棟で使用する抗がん剤の特徴的な副作用や注意点について）

・研修の期間・実施回数：2023年7月25日

・研修の参加人数：10名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容：「第36回放射性医薬品取り扱いガイドライン講習会」

・研修の期間・実施回数：2023年9月1日～9月30日

・研修の参加人数：2名

・研修の主な内容：「診療放射線技師の業務拡大に伴う厚生労働大臣指定による実技研修」

・研修の期間・実施回数：2023年9月～2024年2月 3回

・研修の参加人数：11名

・研修の主な内容：2023年度第1回医療安全に関する講演会「安全な医薬品の取り扱い」

・研修の期間・実施回数：2023年4月24日

・研修の参加人数：204名（e-learning1108名、DVD回覧62名）

・研修の主な内容：2023年度医療安全セミナー「薬剤の誤投与対策について」

- ・ 研修の期間・実施回数：2023年6月13日
- ・ 研修の参加人数：86名（e-learning1106名）

- ・ 研修の主な内容：令和5年度医療安全に関するワークショップ
- ・ 研修の期間・実施回数：2023年11月15日
- ・ 研修の参加人数：1名

- ・ 研修の主な内容：令和5年度国公立大学附属病院医療安全セミナー
- ・ 研修の期間・実施回数：2023年6月26日
- ・ 研修の参加人数：1名

- ・ 研修の主な内容：医薬品副作用被害救済制度に関するe-learning
- ・ 研修の期間・実施回数：2023年9月4日～10月31日
- ・ 研修の参加人数：979名

- ・ 研修の主な内容：第一種衛生管理者受験準備講習会
- ・ 研修の期間・実施回数：2023年7月24日～7月26日
- ・ 研修の参加人数：4名

- ・ 研修の主な内容：ISO15189（2022年度版以降説明会）
- ・ 研修の期間・実施回数：2024年1月27日
- ・ 研修の参加人数：39名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容：特定薬剤管理指導加算 2 算定を対象とした外来がん化学療法に

関する研修会（第5回）

- ・研修の期間・実施回数：2024年2月21日（Web形式）

- ・研修の参加人数： 120名

- ・研修の主な内容：令和5年度中予保健所リスクマネジメント研修会

- ・研修の期間・実施回数：2024年3月5日

- ・研修の参加人数：20名

- ・研修の主な内容：令和5年度愛媛県薬剤師会医療安全委員会 医薬品安全使用のための研修会

- ・研修の期間・実施回数：2024年2月7日

- ・研修の参加人数： 130名

- ・研修の主な内容： HIV感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業実地研修

- ・研修の期間・実施回数：2024年1月22日

- ・研修の参加人数： 2名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 杉山 隆	
管理担当者氏名	医療情報部長	木村 映善
	看護部長	崎田 智美
	薬剤部長	田中 守
	放射線部長	城戸 輝仁
	ME 機器センター長	泉谷 裕則
	総務課長	若宮 俊一
	医事課長	高木 剛造
	人事労務課長	米田 健
	研究協力課	中川 玲
	医療サービス課長	松尾 一恵

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	薬剤部
		手術記録	医療情報部
		看護記録	医療情報部
		検査所見記録	医療情報部
		エックス線写真	放射線部
		紹介状	医療情報部
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報部
		従業者数を明らかにする帳簿	人事労務課
		高度の医療の提供の実績	医事課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究協力課
		高度の医療の研修の実績	各診療科
		閲覧実績	総務課
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部		

				統計資料を作成・保管している。
規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療サービス課	指針については、医療安全管理マニュアルに掲載しており、全職員が院内情報ネットワークで閲覧可能である。変更等が必要な場合は、医療安全管理委員会にて審議を行っている。 医療安全管理委員会を月1回開催している。 安全管理のための職員研修は、年2回以上実施している。 。事故発生（ヒヤリハット含む）時には、各部署からインシデントレポートが提出され、各部署において事例の振り返り、カンファレンス等を行い改善に努めている。必要に応じて診療科を交えたインシデント事例検討会等を開催し、医療安全管理部を中心に内容の精査や再発防止策を提案し、医療安全管理委員会等にて報告や周知等を実施している。 。	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療サービス課		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療サービス課		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療サービス課		

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	医療サービス課	指針については、院内感染マニュアルに掲載しており、全職員が院内情報ネットワーク、病院HPで閲覧可能である。変更等が必要な場合は、院内感染対策委員会にて審議を行っている。院内感染対策委員会を月1回開催している。院内感染対策のための研修は、年2回以上実施している。 感染症が発生した場合は、各部署や細菌検査室から感染制御部に報告があり、現状確認のため現場（臨床）へ赴き、感染制御部が中心となって内容の精査や改善策を考え、事例に応じて院内感染対策委員会等にて対応を協議している。 医薬品安全管理責任者の配置等に関する書類は紙媒体でファイリングした上で保管している。 電子媒体または紙媒体にて保管。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	医療サービス課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医療サービス課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医療サービス課	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	ME 機器センター	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME 機器センター	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME 機器センター			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME 機器センター			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部、総務課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部、総務課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部、総務課
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報部、総務課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部、総務課
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課
		監査委員会の設置状況	総務課
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療サービス課
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療サービス課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部、総合診療サポートセンター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課
		職員研修の実施状況	医療サービス課、人事労務課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課		
			<p>医療安全管理責任者に、医療安全・危機対策担当の副病院長を配置している。</p> <p>専任の院内感染対策者に、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師を配置している。</p> <p>電子媒体または紙媒体にて保管。</p> <p>医療安全管理部門として、医療安全管理部を設置し、専従の医師、看護師、薬剤師を配置している。</p> <p>高難度新規医療技術の提供の適否等については、高難度新規医療技術評価部を設置し、適宜評価委員会を開催し決定している。</p> <p>未承認新規医薬品等については、未承認新規医薬品等評価部を設置し、使用条件や使用の適否等に関して、適宜評価委員会を開催し、決定している。</p> <p>電子媒体にて保管。</p> <p>入院患者が死亡した場合は、全死亡症例について死亡時スクリーニングシートを使用し、医療安全管理部への報告を義務付けている。</p> <p>他の特定機能病院と連携し、年1回ピアレビューを開催しており、相互立入り及び技術的助言について実施している。</p> <p>患者からの安全管理に係る相談等に応じるために、総合診療サポートセンターに窓口を設置し、医療メディエーター（看護師）を配置している。</p> <p>医療安全管理部では、高度な医療を提供するために必要な事項や死亡事例、インシデントの患者影</p>

				響度レベルの高い事例等が発生した場合など、関連するテーマについて、年4回程度職員研修を実施している。
--	--	--	--	--

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> ② 現状 <input checked="" type="radio"/>
閲覧責任者氏名	運営部長 仙波 文彦
閲覧担当者氏名	総務課長 若宮 俊一
閲覧の求めに応じる場所	総務課
閲覧の手続の概要 閲覧請求者は、国立大学法人愛媛大学情報公開取扱規程に基づき「法人文書開示請求」を提出し、承認の決定後、「開示の実施方法の申出書」に基づき閲覧する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 患者中心の医療の実践 2. チーム医療の実践 3. 医療安全に関する組織的取組み 4. インシデントの報告と情報の共有 5. 機能する医療事故防止対策 6. 適切な医療事故への対応 7. 患者相談の実施，指針等の閲覧 8. 医療安全管理教育・研修，啓発 9. その他の医療安全推進への対応 10. 医療安全管理マニュアルの作成・更新 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無（ 有 ） ・ 開催状況：年12回 ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療に係る安全管理のための指針の策定及び変更に関する事 2. 医療事故防止対策の検討及び研究に関する事 3. インシデントの分析及び再発防止策の検討に関する事 4. 医療事故調査制度に対応する死亡原因判定に関する事 5. 医療事故防止のための啓発，教育及び研修に関する事 6. 医療事故に対する対応策の策定に関する事 7. 患者及び家族等の被害者への対応に関する事 8. 関係公的機関への報告に関する事 9. 報道に関する事 10. その他，医療安全管理及び医療事故対策に関する事 	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 第1回：当院の医療安全管理体制について、安全な医薬品の取り扱い (R5/4/24日開催、e-learning 5/9～6/30、R6/2/5～3/8) 第2回：患者の安全を最優先に考えるチームワークトレーニング (R5/7/5、8/31、9/25 開催) 第3回：せん妄患者への対応 (R5/10/26 開催、e-learning 11/13～12/28、R6/2/5～3/8) 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（有） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全ラウンド：年2回計画的に実施 <ul style="list-style-type: none"> →病棟や外来診療科を対象に、医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士等がチームとなり、安全管理体制や誤認防止対策、医薬品や医療機器の適切な使用・管理方法等についてラウンドを実施している。 (第1回：R5/5/9～6/28 実施、第2回：R5/10/11～12/26 実施) 2. インシデント報告後の現場ラウンド、ヒアリング（随時） <ul style="list-style-type: none"> →インシデント報告後、医療安全管理部職員が内容を確認し、必要に応じて現場ラウンドやヒアリングを実施し、インシデント報告会等にて内容の分析や再発防止策について検討を行っている。 3. 医療安全シンポジウム：年1回医療現場からの公募方式で実施 <ul style="list-style-type: none"> →医療安全に関するテーマ（連絡、共有等）を決め、各部署にて取り組んだ改善事項等について発表し、情報共有を図っている。 (R5/11/28 実施) 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会その他院内の組織に関する基本的事項 3. 院内感染対策のための従業者に対する研修に関する基本指針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本指針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本指針 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本指針 7. その他院内感染対策の推進のための基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染の調査、予防対策に関すること 2. 院内感染防止の実施、監視及び指導に関する活動 3. 院内感染発生時の措置に関すること 4. 職員の院内感染の教育に関すること 5. その他院内感染防止に関すること 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> 第1回 感染対策の基本・COVID-19 5類移行について (講演会：令和5年5月1日 e-learning：令和5年6月1日～6月16日) 第2回 抗菌薬適正使用に向けたこれまでとこれからの取り組み・TDMのあれこれ (講演会：令和5年9月11日 e-learning：令和5年9月19日～10月10日) 第3回 感染症でお困りのことはありませんか？～ICTとAST～・まssだそこにいる (かもしれない)結核～今そこにある危機 (講演会：令和6年2月1日 e-learning：令和6年2月7日～2月26日) 	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

ICT 会議において事例を検討し、問題点の分析を実施している。また、その結果を含めて院内感染対策委員会へ報告し、重要な事例については病院運営委員会及び病院連絡協議会に報告している。

研修会には、参加者アンケートから研修会の要望を調査し、次年度の研修計画の参考としている。

週に1回院内ラウンドし、感染対策についての確認を行うと共に各セクションの責任者(病棟医長・看護師長等)へサーベイランスデータを元に資料を提供し、改善事項をフィードバックしている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度第1回医療安全に関する講演会 「安全な医薬品の取扱い」 令和5年度医療安全セミナー 「薬剤の誤投与対策について」 令和5年度医薬品副作用被害救済制度に関するe-learning 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書として「医薬品安全管理手順書」を作成 (平成19年7月1日策定、令和5年12月14日改訂)。 医薬品安全手順書に基づく業務の各部署実施状況の確認は、医療安全管理部と薬剤部が協働して行う年2回の医療安全ラウンドにおいて行い、業務改善が必要な事項について指導し、改善を図っている。医療安全ラウンドでの各部署における確認結果は、医療安全管理部会議、医療安全管理委員会、リスクマネジャー会議で報告を行い、院内での情報共有を行っている。さらに、薬剤部で毎月開催している医薬品安全管理カンファレンスにおいても医療安全報告を行い、薬剤師間での情報共有を図っている。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： <ul style="list-style-type: none"> 未承認薬：播種性アデノウイルス感染症に対するvistideを用いた治療 適応外使用：ドナーに対するHLA特異的抗体を有する造血細胞移植患者に対して、抗体価の低下を目的とした移植前リツキシマブ投与 禁忌：精神症状の改善のための糖尿病患者に対するクエチアピンの使用 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ●調剤時以外での禁忌該当薬剤の確認体制 <ul style="list-style-type: none"> 薬剤部薬品情報管理室において、処方薬剤に対して禁忌病名が登録されている入院患者情報を抽出している。抽出された情報に基づき病棟担当薬剤師が担当医に禁忌該当薬剤に対する疑義照会を行い、当該薬剤処方継続の可否の確認、必要に応じて処方提案を行っている。また、疑義照会の結果、既に終了している病名であった場合は病名整理を依頼し、適切に医薬品が使用できるよう努めている。また、これらの病名に関する禁忌の情報には毎月医事課にも報告しており、医事課からも病名整理を依頼している。 ●医療安全管理委員会への医薬品安全管理報告体制 <ul style="list-style-type: none"> 医薬品安全管理体制を担っている部門(薬剤部)における医薬品の安全使用に係る業務を医療安全管理委員会へ報告している。内容は、院内副作用報告件数および医薬品安全性情報報告件数、院内院外疑義照会件数、プレアボイド報告件数、禁忌該当薬剤の確認数等である。医療安全管 	

理委員会は医薬品安全管理体制の部門を監査し、必要に応じて意見することとしている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年41回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 新規医療機器導入時 2. 使用方法、保守点検に関して 3. 有用性や安全性に関して 4. 不具合等発生時の対応に関して 5. 学会、研修会への出席 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 : 有り ・ 機器ごとの保守点検の主な内容 : 定期点検と日常点検、不良対応点検 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例 (あれば) : <ol style="list-style-type: none"> 1) SeQuent Please Neo ドラッグ イルレーティング バルーンカテーテル【適応外使用】第二内科1件 ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療機器の使用等についてインシデントが発生した場合は、インシデント検討会議、リスクマネジャー会議にて事例を分析し、改善策等を立案している。また、立案した改善策については医療安全管理委員会にて報告し承認を得た後、リスクマネジャー会議やME機器センター発信のインフォメーションにおいて院内に周知している。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有
<p>・ 責任者の資格（医師）</p> <p>・ 医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>愛媛大学医学部附属病院副病院長に関する規定</p> <p>第3条3</p> <p>病院長は、医療安全を担当する副病院長を医療法施行規則第9条の20の2第1項第1号に規定する医療安全管理責任者に指名し、医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括させる。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3名）
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・ 医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>薬品情報管理室において医薬品に関する情報（イエローレター、ブルーレター、回収・出荷停止、適正使用のお願い、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品安全対策情報、PMDA 医療安全情報、日本医療機能評価機構医療安全情報、添付文書改訂、PMDA からの公知申請情報・適応外情報）を一元的に収集し、院内メーリングリストや院内イントラネット、電子カルテ掲示板を利用し周知している。また、DI ニュース、プレアボイドニュース、医薬品安全使用ニュース、薬事委員会において決定した新規採用・削除薬一覧表（New Face）を作成し、メーリングリストおよび紙媒体等を用いて院内へ周知している。</p> <p>特に重要な情報（イエローレター、ブルーレター、その他薬品情報管理室が重要と判断した内容）については、上記の周知に加えてデータウェアハウスを用いて抽出した該当薬品使用中の全患者を対象とした適正使用のモニタリング、処方医に対する電子カルテでの個別メールによる情報提供もを行っている。</p> <p>・ 未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>院内において未承認、適応外あるいは禁忌薬（以後、未承認新規医薬品等）を新たに使用する場合には、未承認新規医薬品等評価部に必要書類を提出する。書類とは①未承認新規医薬品等 申</p>	

請・報告書式、②患者向け説明文書、③患者同意書、④患者同意撤回書、⑤未承認新規医薬品等を使用する根拠となるエビデンス（文献等）、⑥医薬品を用いる場合は当該医薬品の添付文書であり、未承認新規医薬品等評価部は申請内容に関して未承認新規医薬品等評価委員会に意見を求めた上で使用の可否を決定する。なお、医学倫理委員会の審査が必要と判断された場合には、その審査の結果を以って使用可否の判断を行う。また、承認された未承認新規医薬品等に関しては未承認新規医薬品等評価部で実施報告書や適正使用モニタリング等の管理を行う。

また、薬剤部において薬剤師が調剤時に当該薬品が未承認新規医薬品等に該当すると認識した場合は、担当医へ疑義照会を行い、妥当性の確認や処方提案を行っている。結果に関しては診療録へ記録し、必要に応じて医薬品安全管理責任者へ報告している。これらの未承認新規医薬品等に係る疑義照会情報は薬品情報管理室で収集し、院内の医療安全管理委員会へ報告する体制をとっている。

・ 担当者の指名の有無（有）

・ 担当者の所属・職種：

（所属：未承認新規医薬品等評価部， 職種 薬剤師（副薬剤部長））

（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師（薬品情報管理室室長））

（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）

（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有

・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 （ 有 ）

・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：確認方法→各リスクマネージャーを通して確認

指導内容→説明内容， 説明手順， 説明方法， 成立要件， 説明同意書， 診療録への記載， 責任者の配置

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有

・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

毎月、10件のカルテを選出し多職種による診療記録監査を実施している。監査結果は、記載上の注意事項等コメントを付け、診療科にフィードバックしている。監査結果からあがった課題等は診療記

録管理委員会で審議し、必要に応じて院内周知を行っている。年1回、全体報告として病院運営委員会で報告、共有している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況

有

・所属職員：専従3名、専任1名、兼任16名

うち医師：専従1名、専任1名、兼任8名

うち薬剤師：専従1名、兼任1名

うち看護師：専従1名、兼任3名

(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

1. 報告があったインシデントのモニタリング、分析及び影響レベルの判定に関する事
2. インシデント審議委員会及びインシデント調査委員会に関する事
3. インシデントごとの解決策及び再発防止策の企画・立案に関する事
4. 医療安全体制システム及びマニュアルの見直しに関する事
5. 医療安全管理委員会で決定した事項についての周知の確認及びそれに必要な指導に関する事
6. 安全管理に関する教育・研修等の実施に関する事
7. 医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成・保存等の運営に関する事
8. 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認及び必要な指導に関する事。
9. 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び必要な指導に関する事
10. 事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び必要な指導に関する事
11. 他の委員会、患者相談窓口等他部門及びリスクマネージャー等との連絡調整に関する事
12. 医療事故防止等に係る情報提供に関する事
13. その他医療の質の向上及び安全管理に関する事

・医療に係る安全の確保に資する診療の状況を把握するため、医療安全指標16項目（がん患者の周術期口腔機能管理実施率など）について定期的なモニタリングを実施しており、年次推移および他病院（国立大学附属病院など43病院）との比較データ・分析結果を医療安全管理委員会等で報告・検討している。

・当院が医療の質指標として公表している「リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率」等を踏まえ、医療安全に資する診療内容についてのモニタリングを平時から行っている。

・従事者の医療安全に対する認識に関しては、医療安全に関する講演会やセミナーの受講状況やアンケート結果を毎回集計するなど平時からモニタリングを実施しており、その結果は医療安全管理委員会等で報告・分析している。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（6件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・活動の主な内容：
高難度新規医療技術を用いた医療の適正な提供を目的として、高難度新規医療技術の審査を行い、適否等の決定を行う。また、承認した高難度新規医療技術には、定期的な報告を義務付け、実施された全ての症例について、医療の安全性、適正性等を確認・評価する。有害事象及び死亡事例が発生した場合には、実施状況を確認した上で、必要に応じて対策等を講じる。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（42件）、及び許可件数（42件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有）
- ・活動の主な内容：
未承認新規医薬品等を用いた適正な医療の提供を目的として、未承認新規医薬品等の審査を行い、適否等の決定を行う。また、承認した未承認新規医薬品等には、定期的な報告を義務付け、

使用状況をモニタリングする。有害事象及び死亡事例が発生した場合には、未承認新規医薬品等が適正に使用されていたか全例確認する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 138 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 229 件
- ・ 上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容
患者影響レベル 3b 以上のインシデントの分析及び再発防止策の検討。死亡事例検討会の結果報告確認

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・ 他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：旭川医科大学病院））
- ・ 他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：京都大学医学部附属病院））
- ・ 技術的助言の実施状況
医療安全管理マニュアルを電子化と紙媒体の2通りで運用しており、紙媒体での差し替えの労力や紙の経費削減を考慮し、電子化に一本化することを助言いただき、令和6年1月より紙媒体を廃止、電子化のみの運用とした。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・ 体制の確保状況
総合診療サポートセンターが患者からの相談窓口となっている。個室の面談室9室、オープンな相談ブースを4ヶ所設置し、対応している。中でも、医療安全に係る相談については、総合診療サポートセンターのメディエーターが主に対応し、医療サービス課・医療安全管理部が連携できる体制をとっている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

1. 新規採用者へのオリエンテーション
2. 医療安全に関する講演会（3回）
3. 医療安全セミナー（9回）

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、公益財団法人特定機能評価機構主催の「2023年度特定機能病院管理者研修（継続）」を受講した。

（注）前年度の実績を記載すること

⑭ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2022年2月に、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価のうち、主たる機能種別「一般病院3」及び副機能種別「精神科病院」を受審し、2022年8月19日付けで認定を受けた。

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

上記受審による審査結果報告書の改善要望事項の該当については、院内で共有するとともに、外部からも審査結果報告書の内容を確認出来るように、医学部附属病院ホームページのトップページに日本医療機関評価機構ホームページへのリンクを設置している。

・評価を踏まえ講じた措置

審査結果報告書により、評価判定結果が「B」であったセクションに関して、関係部署にて改善策

を検討し、改善状況および計画等を「改善状況報告書」として作成し、取りまとめて院内で共有した。また、評価判定結果が「C」であったセクションに関しては、院内で改善策を継続的に実践し、これについて評価機構における確認審査を受審した結果、「条件付解除」となった。現在、改善審査を受審申請中である。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師免許を有している者 ・ 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者 ・ 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者 ・ 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有している者 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 愛媛大学ホームページに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 愛媛大学HPに掲載 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
八尋 秀典	理事(教育担当)	○	学長が指名する理事	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
羽藤 直人	医学系研究科長		医学系研究科長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
竹中 克斗	医学系研究科医学専攻長		医学系研究科医学専攻長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
大澤 春彦	医学部附属病院副病院長(橋渡し研究推進担当)		学長が指名する副病院長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
崎田 智美	医学部附属病院看護部長		医学部附属病院看護部長	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
大熊 伸定	弁護士		学外有識者: 弁護士として、法律について豊富な知見を有している。	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
菅 隆章	愛媛県保健福祉部長		学外有識者: 愛媛県の保健医療に係る責任者として、地域の医療政	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無

			策に関する豊富な経験と高い識見を有している。	
横山 ぬい	(株)エス・ピー・シー		学外有識者：愛媛大学経営協議会の委員であり、メディア事業を通じて、地域活性化について豊富な経験と高い識見を有している。	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 運営方針、中期計画、予算及び決算その他病院の運営に関する重要事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 愛媛大学医学部内職員サイトに資料・議事要旨を掲載 ・合議体に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無) ・公表の方法 愛媛大学ホームページに掲載 ・外部有識者からの意見聴取の有無 (有・(無)) 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
杉山 隆	○	医師	病院長、周産母子センター長
竹中 克斗		医師	副病院長(総務・教育担当) 第一内科長、造血細胞移植センター長
雑賀 隆史		医師	副病院長(診療担当) 泌尿器科長、手術部長、高難度新規医療技術評価部長
山口 修		医師	副病院長(経営・再開発担当)、第二内科長
鈴木 純		医師	副病院長(医療安全・危機対策担当)、医療安全管理部長
崎田 智美		医師	副病院長(患者サービス担当)、看護部長
大澤 春彦		医師	副病院長(橋渡し研究推進担当)、糖尿病内科・臨床検査医学科長、先端医療創生センター長
日浅 陽一		医師	第三内科長
大八木 保政		医師	脳神経内科長
永井 将弘		医師	臨床薬理神経内科長、臨床研究支援センター長
川本 龍一		医師	総合診療科長
上野 修一		医師	精神科長
江口 真理子		医師	小児科長、臨床遺伝医療部長
押切 太郎		医師	消化器腫瘍外科長、低侵襲がん治療センター長
楳田 祐三		医師	肝臓・胆のう・膵臓・移植外科長、臓器・組織移植センター長

泉谷 裕則		医師	心臓血管・呼吸器外科長、ME 機器センター長
國枝 武治		医師	脳神経外科長、てんかんセンター長
高尾 正樹		医師	整形外科長、リハビリセンター部長、人工関節センター長
藤澤 康弘		医師	皮膚科長
森 秀樹		医師	形成外科長
白石 敦		医師	眼科長、細胞プロセッシングセンター長
山田 啓之		医師	耳鼻咽喉科長
城戸 輝仁		医師	病院長補佐（医療の質・働き方改善担当）、放射線科長、放射線部長
松元 隆		医師	産婦人科長
西原 佑		医師	麻酔科蘇生科長
内田 大亮		歯科医師	歯科口腔外科・矯正歯科長、材料部長
佐藤 格夫		医師	病院長補佐（災害担当）、救急科長、救急部長
山之内 純		医師	輸血部・細胞治療部長
高崎 康史		医師	集中治療部長
北澤 理子		医師	病理部長
木村 映善		医師	病院長補佐（医療 DX 担当）、医療情報部長
池田 宜央		医師	光学医療診療部長
菊川 忠彦		医師	透析治療部長
渡邊 英昭		医師	脳卒中センター長
西村 隆		医師	循環器病センター長
利光 久美子		管理栄養士	栄養部長
伊賀瀬 道也		医師	抗加齢・予防医療センター長
田内 久道		医師	病院長補佐（感染症担当）、感染制御部長
薬師神 芳洋		医師	腫瘍センター長
藤井 知美		医師	緩和ケアセンター長
徳本 良雄		医師	肝疾患診療相談センター長
重川 誠二		医師	脊椎センター長
川口 直人		医師	PETセンター長
佐野 由文		医師	呼吸器センター長
打田 俊司		医師	小児総合医療センター長
坂根 由梨		医師	屈折矯正センター長
亀井 義明		医師	乳腺センター長
岡 靖哲		医師	睡眠医療センター長
伊賀 淳一		医師	認知症疾患医療センター長
本田 弘文		医師	放射線治療品質保証室長
堀内 史枝		医師	子どものこころセンター長
飛鷹 範明		薬剤師	未承認新規医薬品等評価部長
竹下 英次		医師	炎症性腸疾患センター
日野 雅之		医師	痛みセンター長
檜垣 高史		医師	移行期・成人先天性心疾患センター
田中 守		薬剤師	薬剤部長、臨床研究クオリティマネジメント部長
大元 謙二		診療放射線技師	診療支援部長
熊木 天児		医師	総合臨床研修センター長
廣岡 昌史		医師	病院長補佐（地域医療担当）、総合診療サポート

			センター長
松浦 文三		医師	間脳・下垂体疾患センター長
仙波 文彦		事務職員	医学部運営部長
羽藤 直人		医師	医学系研究科長（医学部長）
小林 大介		教員	病院長特別補佐

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（・無）
- ・ 公表の方法
愛媛大学ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容
人事権限・予算執行権限
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
【職名】副院長（総務・教育担当/診療担当/経営・再開発担当/医療安全・危機対策担当/
患者サービス担当/橋渡し研究推進担当）
病院長補佐（災害担当/医療の質・働き方改善担当/医療DX担当/感染症担当/地域
医
療担当）
病院長特別補佐

【役割】病院長の職務を補佐し、病院長から指示された重要な事項を処理する。
【職名】（副院長のうち総務・教育担当）
【役割】病院長が不在又は事故があるときは、その職務を代理する。
【職名】（副院長のうち医療安全・危機対策担当）
【役割】医療安全管理責任者として医療安全管理部、医療安全管理委員会、医薬品安全管理
責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
厚労省委託事業の特定機能病院管理者養成研修に4名参加している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p style="padding-left: 20px;">次の事項について審議する。</p> <p style="padding-left: 40px;">(1) 病院の医療安全に係る業務執行状況の監査に関すること。</p> <p style="padding-left: 40px;">(2) 安全管理状況及び改善状況に関すること。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無 ((有)・無)</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p style="padding-left: 20px;">愛媛大学ホームページに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
中西 徳彦	愛媛県立中央病院	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・無 <input type="radio"/>	1
大熊 伸定	弁護士法人松山中央弁護士事務所		法律に関する識見を有する者	有・(無)	1
河野 和博	愛媛県難病等患者団体連絡協議会／愛媛県腎臓病患者連絡協議会		医療を受ける者	有・(無)	2
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

専門部署として学長直轄の監査室を設けるとともに、監事及び会計監査人と連携して監査を実施している。

また、監事は本院の「規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体」に該当する会議に出席しており、意見を述べることができる。

・ 専門部署の設置の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の整備の有無 (有 ・ 無)

・ 内部規程の公表の有無 (有 ・ 無)

・ 公表の方法
愛媛大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 国立大学法人法に基づき、役員会・経営協議会を設置し、病院の業務・管理運営及び経営に関する重要事項を審議・報告している。 ・ 会議体の実施状況（ 年 回 ） 役員会：22回 経営協議会：5回 ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ）（ 年 回 ） 役員会：18回 経営協議会：5回 ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 ） ・ 公表の方法 愛媛大学ホームページに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定め <input type="radio"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 <p>愛媛大学教職員向けポータルサイト内に「相談窓口」のページを設け、様々な事案毎の相談窓口及び連絡先等を掲載している。その中に、医療安全管理の適正な実施に関する情報提供を受け付ける相談窓口の設置について掲載しており、加えて、本件について事務連絡メールを全教職員に送付し周知を図っている。</p>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>本院の目的・目標、果たすべき役割及び実績等をまとめた冊子「医学部／附属病院概要」を毎年作成・発行するとともに、電子BOOKとしてオリジナルホームページにも掲載している。</p> <p>また、DPCデータによる病院指標も公表し、当院の特徴や急性期医療の現状を理解していただくよう情報発信に努めている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>中央診療施設において、複数診療科等を組み合わせたセンターによる診察を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 周産母子センター (産婦人科、小児科)2. 小児医療総合センター (小児科、心臓血管・呼吸器外科)3. 呼吸器センター (第二内科、心臓血管・呼吸器外科)4. 脊椎センター (整形外科、脳神経外科)5. 睡眠センター (第二内科、耳鼻咽喉科)6. 循環器病センター (第二内科、心臓血管・呼吸器外科)7. 緩和ケアセンター (腫瘍センター、麻酔科蘇生科)8. 認知症疾患医療センター (精神科、臨床薬理神経内科、脳神経内科)	

9. 子どものこころセンター（精神科、小児科）

10. 炎症性腸疾患（IBD）センター（第三内科、消化器腫瘍外科）

11. 移行期・成人先天性疾患センター（小児科・第二内科、心臓血管・呼吸器外科）

12. てんかんセンター（小児科、精神科、脳神経内科、臨床薬理神経内科、脳神経外科）

13. 間脳・下垂体疾患医療センター（第三内科、小児科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科）